

FUJITSU Printer

VSP2750C プリンタ装置

取扱説明書

安全な使用のために

本マニュアルの取り扱いについて

本マニュアルには、本装置を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。本装置をご使用になる前に熟読してください。特に、『安全上のご注意』をよく読み、理解されたうえでご使用ください。また、使用中は、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っております。本装置をご使用する際は、本マニュアルの説明に従ってください。

● お問い合わせ

- 本マニュアルを無断で他に転載しないようお願いします。
- 本マニュアルは予告なしに変更されることがあります。

は じ め に

FUJITSU Printer VSP2750C プリンタ装置は、富士通メインフレーム、PRIMERGY 6000、SPARC Servers、PRIMEQUEST、PRIMERGY に加え Windows アプリケーションから印刷することが可能な VSP（Virtual System Printer）の卓上型のシリアルインパクトプリンタです。

本マニュアルは、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

本マニュアルの内容についてよくご理解いただいたうえでご使用ください。特に、オペレータの方は「第 3 章 機能と設定」をご一読のうえご使用ください。

2022 年 2 月

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、きわめて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続をしないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、日本国外でのご使用はできません。

部品故障に伴う交換を行う場合、保守員により設定情報の反映を行います。お客様にて設定された内容等、完全に反映できない場合があります。その際は設定情報のご確認、再設定をお願いいたします。またファームウェアについても、ご了承をいただいたうえで最新版を適用させていただく場合があります。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。

本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（(R)、TM）を付記していません。

※Oracle Solarisを、本書では『Solaris』、『Solarisオペレーティングシステム』、『Solaris Operating System』、『Solaris OS』と記載することがあります。

※「PRIMERGY 6000」には、「FUJITSU Cloud Service for オフコン」の環境も含まれます。

● 警告表示マークについて

本マニュアルではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
 高温注意	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。
 発火注意	発火する危険性について記述していることを示します。
 接触禁止	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。

【本書で使用している表記について】

各OS製品を以下のように略記している場合があります。

製品名	略称			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Essentials	Windows Server			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Essentials				
Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Essentials				
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Foundation				
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Foundation				
Windows(R) 10 Education 64ビット版 Windows(R) 10 Enterprise 64ビット版 Windows(R) 10 Pro 64ビット版 Windows(R) 10 Home 64ビット版 Windows(R) 10 Education Windows(R) 10 Enterprise Windows(R) 10 Pro Windows(R) 10 Home			Windows	
Windows(R) 8.1 Enterprise 64ビット版 Windows(R) 8.1 Pro 64ビット版 Windows(R) 8.1 64ビット版 Windows(R) 8.1 Enterprise Windows(R) 8.1 Pro Windows(R) 8.1				
Oracle Solaris	Solaris			
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 8	RHEL 8	Red Hat Enterprise Linux または RHEL		
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 7	RHEL 7			
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6	RHEL 6			

安全上のご注意

● プリンタ設置および移動時のご注意



- プリンタの上または近くに「花瓶・植木鉢・コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。
- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。
また、添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- 電源コンセントは平行 2 ピンアース極付きのタイプを使用してください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



- 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。



- オプション機器の取り付けや取りはずしを行う場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。
- オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
感電・火災または故障の原因となります。

注意



- プリンタの開口部（通風孔など）をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



- プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。LAN ケーブルもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- LAN ケーブルの抜き差しは、必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。
電源を切らずに行うと、プリンタが故障する原因となることがあります。

● プリンタ使用時のご注意

 警告



- ・異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理は担当営業および保守員にご依頼ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ・プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ・カバーをはずした状態で電源プラグをコンセントに差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・プリンタ本体のカバーは、必要な場合を除いて取りはずさないでください。内部の点検、修理は担当営業および保守員にご依頼ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
- ・プリンタをお客様自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

警告



- 万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して担当営業または保守員に修理を依頼してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、担当営業または保守員にご連絡ください。
そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、担当営業または保守員にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- 電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

注意



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。
- プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。
けがの原因となることがあります。

注意



- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。
- 使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- 長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 近くで雷が起きたときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。



- 使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。



- プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。
けがの原因となることがあります。
- LAN ケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触れないでください。
けがやプリンタの破壊の原因となることがあります。
- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。
- ギヤカバーを取り付けて、ギヤの露出部分に触れないでください。
けがの原因となることがあります。

注意



- プリンタが動作しているときは、トップカバーを開けないでください。
カバーオープンを検知しても動作が停止せず、正しい印字結果を得られない場合があります。



- 連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタからはずれることがありますので注意してください。
- 用紙厚に対して手動用紙厚調整値を適正状態で取り扱ってください。
- リボンカセットは、指定の純正品をお奨めします。
富士通プリンタは、純正のリボンカセット使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。
非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。
なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。
非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。
- 安定した印字品質を維持するために、インクリボンは購入より 1 年以内での使用をお奨めします。
購入から 1 年を過ぎたインクリボンを使用されますと、印字汚れ、カスレ等が発生する可能性があります。
- リボンカセットは、使用を続けると印字が薄くなります。そのまま使い続けるとリボンの布地がケバ立ち、繊維クズが発生することがあります。このような現象が見られたら早目にリボンカセットを交換してください。
なお、プリンタの内部やローラ部に繊維クズがたまっている場合は、印字品質に影響を与える場合があるため、定期的に清掃してください。
- リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。
リボンがロックして回転できなくなります。
- リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンがからまったり、リボンの巻取りがロックすることがあります。
- 使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。

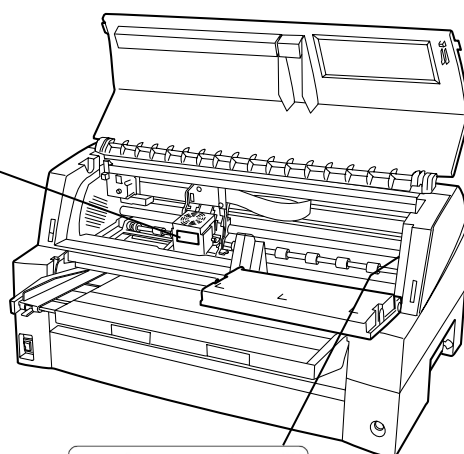
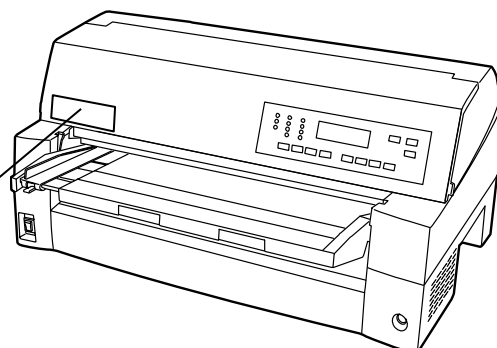
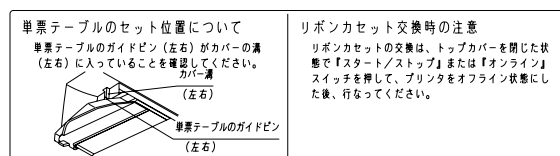


- プリンタを廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理をしてください。

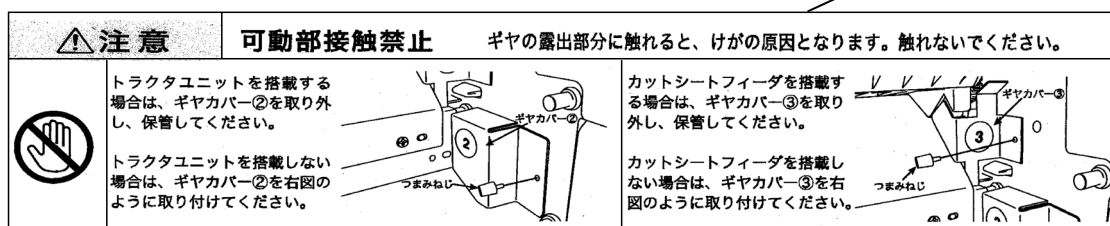
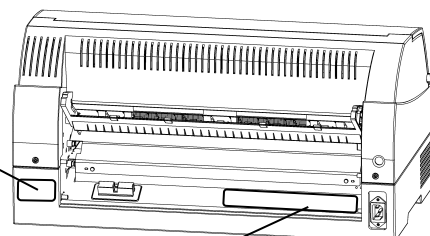
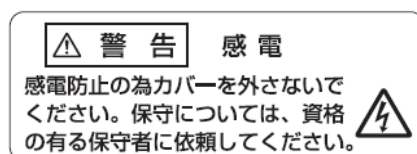
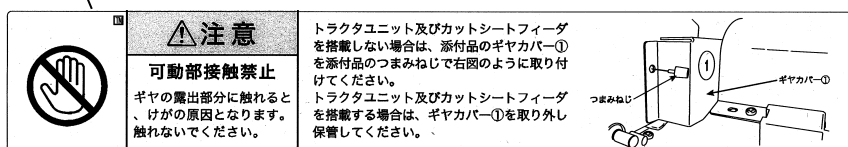
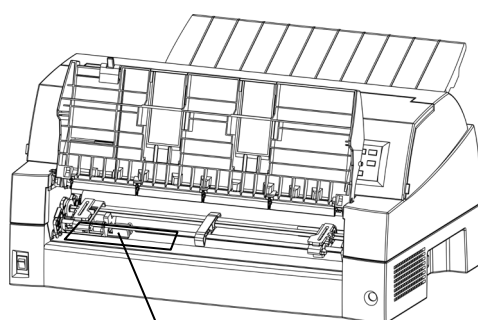
● 警告、注意のラベル位置

本製品には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための警告ラベル及び注意ラベルがあります。表示に従って安全にお使いください。

なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



右フレーム
奥に貼り付け



目 次

安全な使用のために		
は じ め に	i	
安全上のご注意	v	
第1章 概 要	1	
1.1 装置概要	1	
1.2 接続形態	2	
1.3 各部の名称とはたらき	5	
1.3.1 各部の名称	5	
1.3.2 各部のはたらき	6	
1.4 仕 様	7	
1.4.1 基本仕様	7	
1.4.2 F66XXエミュレーション 機能仕様	9	
1.4.3 F69XXエミュレーション 機能仕様	10	
1.5 オプションの概要	11	
1.6 Windows環境で使用する ソフトウェア	12	
1.7 Unix(Solaris)/ Linux(RHEL)環境で 使用するソフトウェア	12	
1.8 機能面・運用面における注意事項	13	
第2章 準 備	24	
2.1 製品の確認	24	
2.2 使用上のお願い	25	
2.2.1 設置について	25	
2.2.2 電源について	25	
2.2.3 使用方法について	26	
2.2.4 用紙について	26	
2.3 輸送用固定材の取りはずし	27	
2.4 単票テーブルのセット	28	
2.5 単票テーブルの取り扱いについて	29	
2.6 リアスタックの取り付け	31	
2.7 LANケーブルの接続	32	
2.8 電源コードの接続	33	
2.9 リボンカセットを取り付ける	34	
2.10 カットシートフィードを 取り付ける	37	
2.10.1 プリンタ前部に取り付ける	37	
2.10.2 プリンタ後部に取り付ける	40	
2.11 カットシートフィードを 取りはずす	42	
2.12 トラクタユニットの位置を決める	43	
2.12.1 トラクタユニットの 着脱について	44	
2.13 電源の投入と切断	48	
2.13.1 電源を入れる	48	
2.13.2 電源を切る	49	
第3章 機能と設定	50	
3.1 操作パネルの配置と機能	50	
3.1.1 操作パネルの配置	50	
3.1.2 操作パネルの機能	50	
3.2 セットアップ	54	
3.2.1 セットアップの手順	54	
3.2.2 セットアップの構成	56	
3.2.3 セットアップの設定内容	59	
3.3 装置立ち上げと印刷設定	65	
3.3.1 装置立ち上げ	65	
3.3.2 印刷設定（機能モード）	66	
3.4 LAN接続	68	
3.4.1 LAN接続するための 基本設定	68	
3.4.2 LAN接続環境ごとの 設定内容	69	
3.4.3 ゲートウェイについての 補足	76	
第4章 用紙のセット	78	
4.1 用紙をセットする	78	
4.1.1 連続帳票用紙をセットする （前トラクタ給紙の場合）	78	
4.1.2 連続帳票用紙をセットする （後トラクタ給紙の場合）	83	
4.1.3 単票用紙をセットする （単票セットフリーオン時）	88	

4.1.4	単票用紙をセットする (単票セットフリーオフ時) ..91	第7章	用紙について 130
4.1.5	単票用紙をセットする (カットシートフィーダを 取り付けた場合)93	7.1	連続帳票用紙 130
4.2	用紙厚を調整する96	7.1.1	一般用紙 (前・後トラクタ) 134
4.3	印字開始位置について98	7.1.2	はがき用紙 (前トラクタ) .. 135
4.4	連続帳票用紙をカット位置に送る 100	7.1.3	封筒用紙 (前トラクタ) 136
第5章	リボンカセットの交換 102	7.1.4	タック用紙 (前・後トラクタ) 138
5.1	仕 様 102	7.1.5	宅配伝票 (前トラクタ) 140
5.2	リボンカセットの交換 103	7.2	手差しで使用する単票用紙 141
5.3	サブカセットの交換 105	7.2.1	一般用紙 141
5.4	消耗品の廃却について 107	7.2.2	用紙のとり方法 143
第6章	異常発生時の操作 108	7.2.3	はがき 143
6.1	用紙づまりのとき 108	7.2.4	封筒 144
6.1.1	連続帳票用紙が つまったとき 108	7.2.5	宅配伝票 145
6.1.2	単票用紙がつまったとき 111	7.3	カットシートフィーダ (オプション) で 使用する単票用紙 146
6.1.3	リアスタッカ部に用紙が つまったとき 113	7.3.1	一般用紙 146
6.1.4	カットシートフィーダから吸入 した用紙がつまったとき 115	7.3.2	用紙のとり方法 147
6.2	プリンタがうまく動かないとき 118	7.3.3	はがき 147
6.2.1	電源投入時の不具合 118	7.3.4	封筒 148
6.2.2	単票用紙吸入時の不具合 119	7.4	とじ穴の開け方 149
6.2.3	連帳用紙吸入時の不具合 120	7.5	プレプリント用紙を 使用するとき 149
6.2.4	印字中の問題点 121	7.6	用紙の形状について 151
6.2.5	印字結果の問題点 122	7.7	取り扱い上のご注意 152
6.2.6	カットシートフィーダ 使用時の不具合 124	第8章	清 掃 153
6.3	おもなエラーメッセージ (LCD表示) 125	第9章	設置諸元 154
6.3.1	カバーオープン 125	9.1	設置仕様 154
6.3.2	プログラムエラー 125	9.2	外観図 155
6.3.3	手差し用紙除去待ち 126	9.3	保守スペース 157
6.3.4	セレクトミス 126		
6.3.5	POCエラー 127		
6.3.6	パターンタイムアウト 127		
6.3.7	上位装置電源断 127		
6.3.8	LAN二重アドレスエラー 128		
6.3.9	メカ系の異常 128		
6.3.10	ハードウェアの異常 129		

第10章 付 録	158
10.1 メッセージ一覧	158
10.1.1 オフライン系	158
10.1.2 セットアップ系	159
10.1.3 コントローラ系エラー	162
10.1.4 メカ系エラー	164
10.2 文字コード	166
10.3 PrintWalker/EMのご紹介	171
10.4 カスタマバーコードの印刷条件	174
10.5 定期交換部品/24時間 運用について	176
10.5.1 定期交換部品について	176
10.5.2 24時間運用について	176

安 全 デ ー タ シ ー ト

第1章 概 要

1.1 装置概要

本装置は、富士通メインフレーム、SPARC Servers、PRIMEQUEST、PRIMERGY に加え、Windows パソコンのアプリケーションからの印刷が可能なネットワークプリンタ装置です。また、オプションの拡張出力機構を使用すれば、PRIMERGY 6000 からの印刷が可能になります。LAN 接続された複数のクライアントサーバ混在のシステム環境において、それぞれのシステムのプリンタ装置として共有できます。

複写印刷の多い伝票業務に最適なプリンタ装置であり、連続帳票・単票・複写伝票の印刷はもちろんのこと、はがき・封筒・タック紙への印刷も可能です。また、単票セットフリー機能を使用することで手差し口のどの位置からでも用紙を吸入することができるようになり、手差し単票給紙が便利になります。この場合、吸入動作時には斜行補正機能と印字位置調整機能が動作するため、常に用紙の左端から一定の位置で印字を開始することができます。

本装置の外観を図 1.1 に示します。

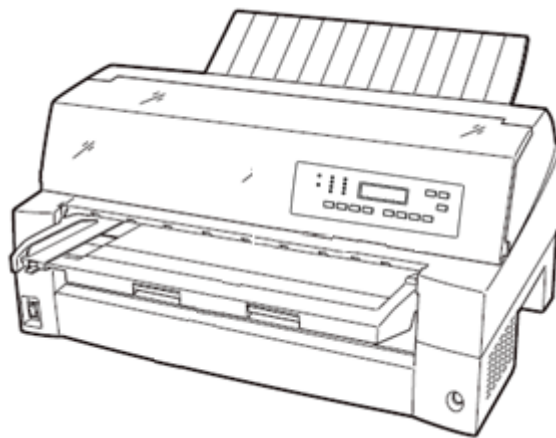


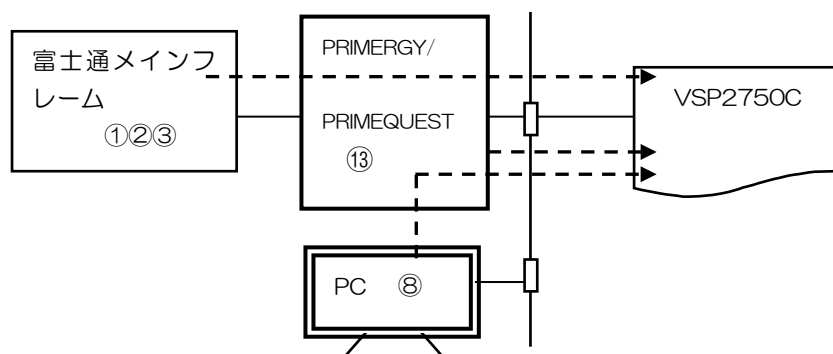
図 1.1 外 観

1.2 接続形態

本装置は、複数の異なるシステムと接続できます。それぞれのシステムとの接続形態について説明します。

「設定」の番号は、「3.4.1 LAN 接続するための基本設定」の表の項番に対応します。

(1) Windows Server 接続

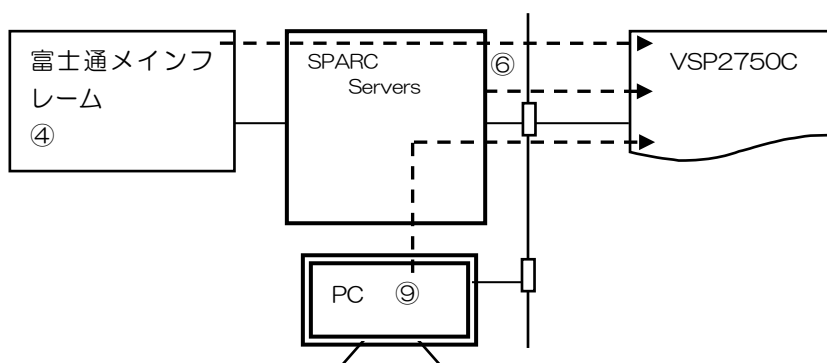


ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			モデル名	サポートサーバ/伝送経路	
富士通メインフレーム	PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注 1)	HOST PRINT DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝 送 経 路：DS-LINK	②
		HOST PRINT TCP/IP	66XX	サポートサーバ：HOST PRINT 伝 送 経 路：TCP/IP	①
		HOST PRINT PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	③
PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注 1)	—	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑬

クライアント	サーバ		プリンタ		設定
			モデル名	サポートサーバ/伝送経路	
PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注 1)	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑧

注 1) PRIMEQUEST 500/400 シリーズでは対応していません。

(2) UNIX(Solaris)サーバ(SPARC Servers)接続

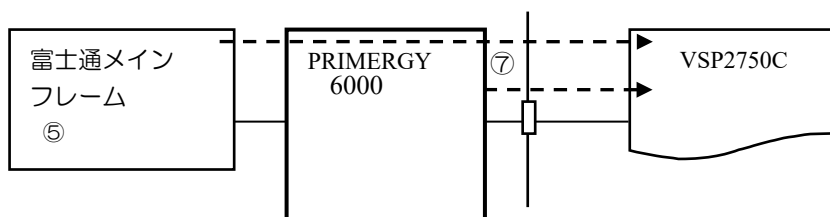


ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			プリンタ	サポートサーバ/伝送経路	
富士通メインフレーム	SPARC Servers 注 1)	PrintWalker /BPC Interstage ListWorks TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	④
SPARC Servers	—	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑥

クライアント	サーバ		プリンタ		設定
			プリンタ	サポートサーバ/伝送経路	
PC/	SPARC Servers	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑨

注 1) 富士通メインフレームホスト連携のサポート OS は、Solaris 10 までです。

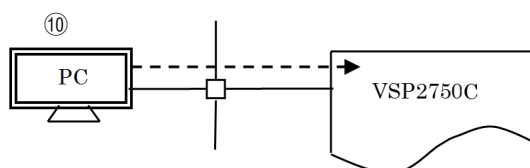
(3) PRIMERGY 6000 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			ミドルウェア	サポートサーバ/伝送経路	
GS	PRIMERGY 6000	LAN プリンタ制御オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ: PrintWalker 伝 送 経 路: TCP/IP	⑤
PRIMERGY 6000	—	LAN プリンタ制御オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ: PrintWalker 伝 送 経 路: TCP/IP	⑦

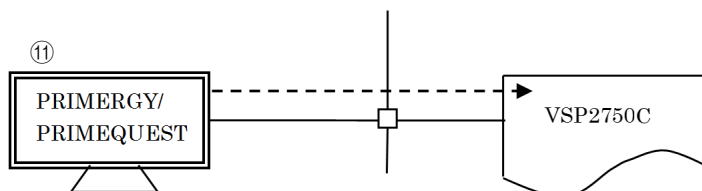
注 1) 本接続形態時は拡張出力機構オプションが必須となります。

(4) PC 接続



ホスト		プリンタ		設定
		ミドルウェア	サポートサーバ/伝送経路	
PC	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ: PrintWalker 伝 送 経 路: TCP/IP	⑩

(5) Linux 接続

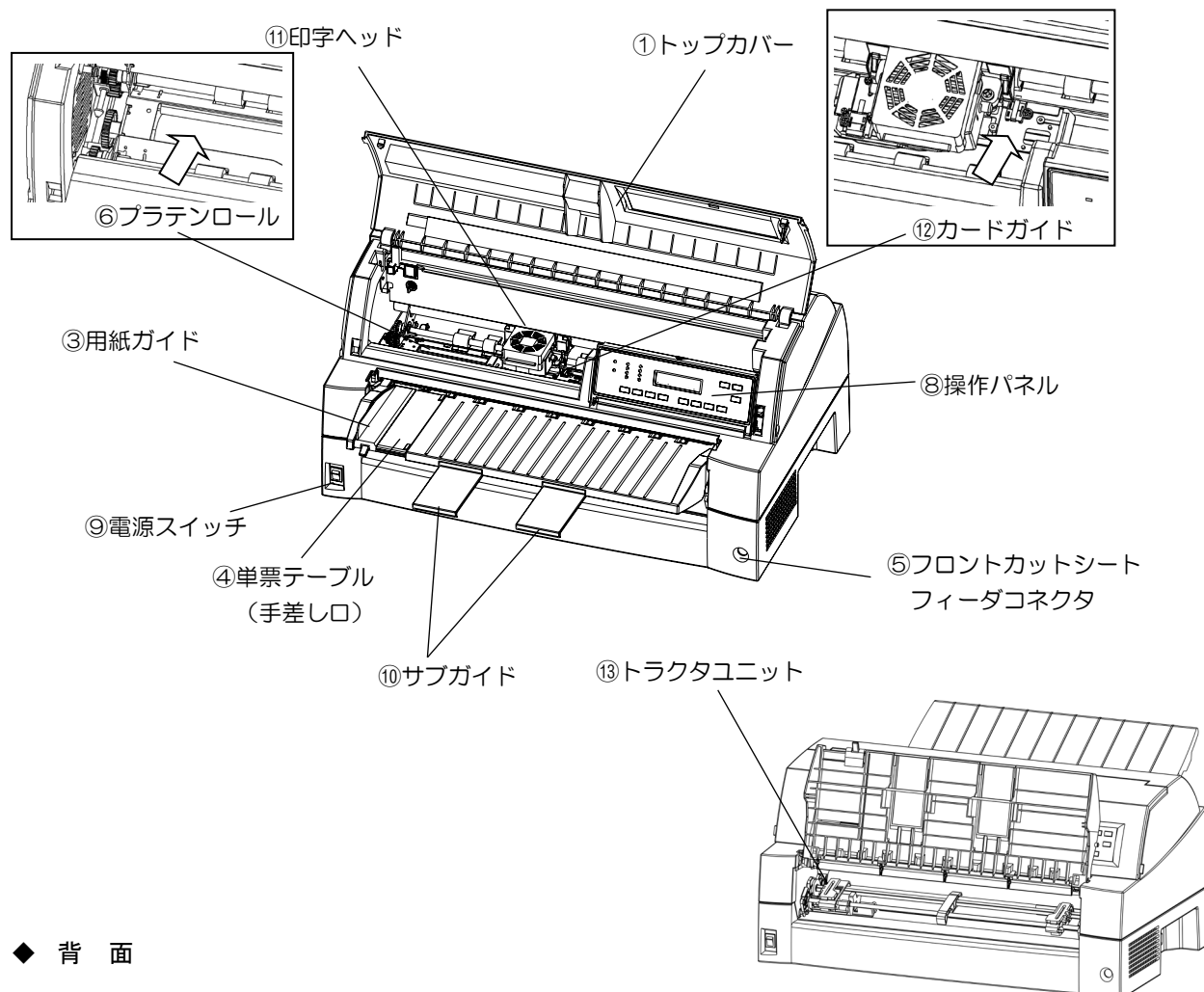


ホスト		プリンタ		設定
		ミドルウェア	サポートサーバ/伝送経路	
PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/LXE TCP/IP	66XX	サポートサーバ: PrintWalker 伝 送 経 路: TCP/IP	⑪

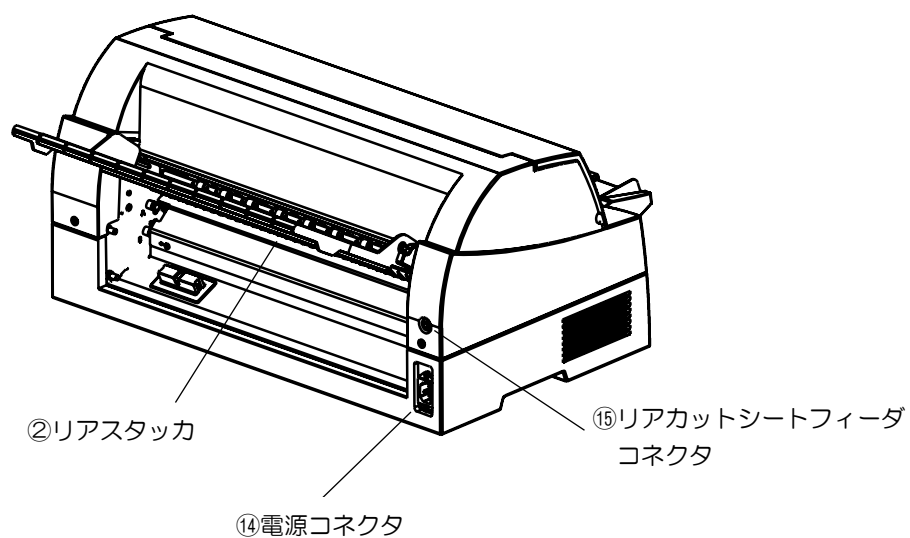
1.3 各部の名称とはたらき

1.3.1 各部の名称

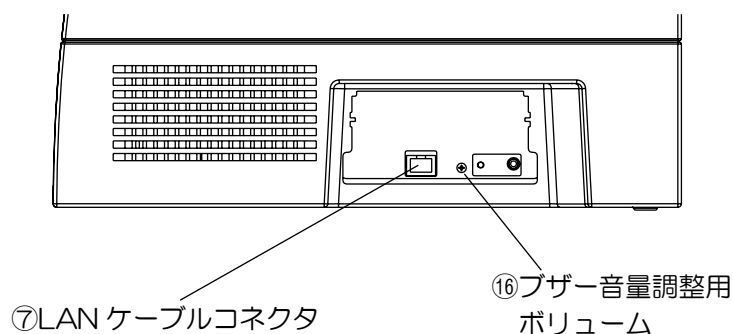
◆ 正面



◆ 背面



◆ 右側面



1.3.2 各部のはたらき

各 部 の 名 称	は た ら き
① トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れないように保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。印字中にトップカバーを開けるとプリンタは印字をすぐに停止します。引き続き印字を行う場合は、トップカバーを閉じてください。
② リアスタッカ	単票用紙をスタックします。
③ 用紙ガイド	単票セットフリーオフに設定した場合、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーオンに設定した場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
④ 単票テーブル (手差し口)	単票用紙を手差し口に入挿するときのガイドです。単票用紙は1枚ずつ挿入します。
⑤ フロントカットシートフィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑥ プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
⑦ LAN ケーブルコネクタ	LAN ケーブルをここに接続して、プリンタとネットワークをつなぎます。
⑧ 操作パネル	プリンタの状態を示すランプや液晶ディスプレイ、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。(詳細は、「3.1.2 操作パネルの機能」を参照)
⑨ 電源スイッチ	「I」側を押すと電源が入り、「O」側を押すと電源が切れます。
⑩ サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙が単票テーブルから落ちないようにするものです。
⑪ 印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫ カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬ トラクタユニット	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。プリンタの前部または後部に取り付けることができます。
⑭ 電源コネクタ	添付の電源コードを接続します。
⑮ リアカットシートフィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑯ ブザー音量調整用ボリューム	保守時以外は操作しないでください。

— お願い —

- 印字中は、トップカバーを開けないでください。
- 万が一、トップカバーを開けた場合、印字中であっても印字ヘッドはすぐに停止しますが、印字ヘッドが高温になっている可能性があるため、絶対に印字ヘッドに触れないでください。

1.4 仕 様

本装置の仕様について説明します。

1.4.1 基本仕様

本装置の基本仕様を表 1.1 に示します。

表 1.1 基本仕様

項 目		仕 様
印字方式		インパクトドットマトリックス方式
ドット数		24 ドット（ピン径 0.21mm）
解像度		160dpi（縦）×160dpi（横）
用紙厚調整		自動／手動 切換可能
用紙送り方式	単票	手挿入口からの手動給紙 カットシートフィーダからの自動給紙（オプション）
	連帳	押し込みトラクタ方式
用 紙 注 1)	単票	種類 : 上質紙、再生紙、官製はがき、封筒、タック紙、複写紙 [手差し給紙（単票セットフリー機能を使用する場合）] 用紙幅 : 100mm～364mm 用紙長 : 70mm～364mm 坪量 : 52～157g/m ² （連量：45～135kg） [手差し給紙（単票セットフリー機能を使用しない場合）] 用紙幅 : 55mm～420mm 用紙長 : 70mm～420mm 坪量 : 52～157g/m ² （連量：45～135kg） [自動給紙（オプション：前給紙の場合）] 用紙幅 : 100mm～420mm（複写紙使用時は 182mm～420mm） 用紙長 : 70mm～420mm 坪量 : 52～157g/m ² （連量：45～135kg） [自動給紙（オプション：後給紙の場合）] 用紙幅 : 100mm～420mm（複写紙使用時は 182mm～420mm） 用紙長 : 100mm～420mm 坪量 : 52～157g/m ² （連量：45～135kg）
	連帳	種類 : 送り穴付き折り畳み用紙（上質紙、再生紙、タック紙、複写紙） 用紙幅 : 101.6mm～406.4mm（4～16 インチ） 折り畳み長さ：前連帳 101.6mm 以上（4 インチ以上） 後連帳 127mm 以上（5 インチ以上） 坪量 : 51～81g/m ² （連量：45～70kg）
印字速度（漢字） 注 2)	通常	複写 3 枚まで : 146 字／秒（高複写モード時：135 字／秒） 複写 4 枚以降 : 135 字／秒（高複写モード時：112 字／秒）
		複写 3 枚まで : 292 字／秒（高複写モード時：270 字／秒） 複写 4 枚以降 : 270 字／秒（高複写モード時：224 字／秒）
	高速	複写 3 枚まで : 292 字／秒（高複写モード時：270 字／秒） 複写 4 枚以降 : 270 字／秒（高複写モード時：224 字／秒）
		複写 3 枚まで : 292 字／秒（高複写モード時：270 字／秒） 複写 4 枚以降 : 270 字／秒（高複写モード時：224 字／秒）
複写枚数 注 1)	オリジナル＋7 枚（通常モード） オリジナル＋8 枚（高複写モード）	
給 紙	約 120 枚（一般紙、坪量 64g/m ² 、1P 用紙） 約 25 枚（複写用紙、坪量 40g/m ² 、5P 用紙） 約 40 枚（官製はがき） ※カットシートフィーダ装着時	
排 紙	最大 120 枚（一般紙、坪量 64g/m ² 、1P 用紙）	
プリンタ寿命 注 3)	750 万行または 5 年の早いほう	
印字ヘッド寿命 注 3)	5 億打／ピン（通常モード）、3 億打／ピン（高複写モード）	
消耗品寿命	インクリボン：1500 万字（ANK ドラフト文字）	
インターフェース	LAN（Ethernet 1000Base-TX、100Base-TX、10Base-T）	
LAN プロトコル	TCP/IP（IPv4）、DS-LINK	
エミュレーション 注 4)	JEF（F66XX、F69XX）	

- 注 1) 複写用紙に印字する場合、複写枚数によって連量が制限されます。詳細は「第 7 章 用紙について」を参照してください。
- 注 2) 接続の本体装置、ネットワークの状況または印刷内容によっては印刷速度が低下する場合があります。
- 注 3) プリンタまたは印字ヘッドが寿命になると、電源投入後の最初のオンライン状態で、「スタート」ランプが約 10 秒間点滅します。(担当営業または保守員に連絡してください)
- 注 4) エミュレーションにおける JEF (F69XX) は、拡張出力機構オプションが必須となります。

1.4.2 F66XX エミュレーション機能仕様

本装置のF66XX エミュレーション機能仕様を表 1.2 に示します。

表 1.2 F66XX エミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
印刷文字種	・明朝体 2 バイト文字：JIS 非漢字、第 1 水準／第 2 水準漢字、半角、書式文字 1 バイト文字：ANK 4 セット ・ゴシック体 未サポート
印字桁数	・漢字 : 90 桁（文字ピッチ 3/20 インチ時） ・ANK : 136 桁（文字ピッチ 1/10 インチ時）
文字間隔	・漢字 : 1/5、1/6、3/20 インチ ・ANK : 1/10、1/12、1/13.3、1/15 インチ
文字拡大	長体、平体、倍角、ラベル文字（3～32 倍）
行間隔	3、4、6、8 行／インチ
イメージ印刷 （注 1）	データ形式：非圧縮、MH 形式 イメージ切り出し
図形印刷	文字、線、円、面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注 2）	種類：NW-7、標準 JAN、短縮 JAN、CODE 3 of 9、 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流系 カスタマバーコード（注 3）

注 1) Windows アプリケーションからの印刷では、デバイスフォントを指定する以外はイメージデータとなります。

プリンタドライバでイメージ圧縮を指定する場合は、拡張出力機構オプションが必要となります。

Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は、イメージデータとして印刷されるため、運用に先立ち十分な読み取りテストを実施してください。

イメージ切り出しは、Windows アプリケーションからのイメージ印刷で発生する文字崩れを改善するための印刷方式です。詳細は「1.8 機能面・運用面における注意事項」の（22）項を参照してください。

注 2) ラベル文字、範囲指定バーコード（4 方向への回転が可能、物流標準／物流拡張、カスタマバーコード）およびグラフ、イメージ印刷機能使用時には、拡張出力機構オプションが必要となります。

バーコード印刷は、運用前に十分な読み取りテストを実施してください。

また、インクリボンは新しいものを使用してください。

注 3) カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです。

BAR 高さ(最大)：2.2 ドット

BAR 幅 : 3 ドット / SPACE 幅：4 ドット

横書きのみサポート

カスタマバーコードは範囲指定バーコードのみ可能です。

カスタマバーコードは富士通メインフレームからの印刷時のみサポートしています。

カスタマバーコード印刷時は、拡張出力機構オプション VSPBEX2 が必須です。

1.4.3 F69XX エミュレーション機能仕様

本装置のF69XX エミュレーション機能仕様を表 1.3 に示します。

表 1.3 F69XX エミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
印刷文字種	• 明朝体 2 バイト文字：JIS 非漢字、第 1 水準／第 2 水準漢字、半角、書式文字 1 バイト文字：ANK 4 セット（ソフトの指定により OCR-B フォント切り換え可能） • ゴシック体 2 バイト文字：JIS 非漢字、第 1 水準／第 2 水準漢字、半角、書式文字 1 バイト文字：ANK 4 セット（ソフトの指定により OCR-B フォント切り換え可能）
印字桁数	• 漢字 : 90 桁（文字ピッチ 3/20 インチ時） • ANK : 136 桁（文字ピッチ 1/10 インチ時）
文字間隔	• 漢字 : 1/5、3/20 インチ • ANK : 1/10、1/12 インチ
文字拡大	長体、平体、倍角、ラベル文字
行間隔	6、8、12 行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH 形式
図形印刷	文字、線、円、面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注 2）	種類：NW-7、標準 JAN、短縮 JAN、CODE 3 of 9、 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5

注 1）本エミュレーション機能を使用する場合は、拡張出力機構オプションが必要となります。

注 2）バーコード印刷は、運用前に十分な読み取りテストを実施してください。

またインクリボンは新しいものを使用してください。

1.5 オプションの概要

本プリンタには、次のオプションがあります。取り付けたオプションのそれぞれのオペレーション時における用紙の搬送方向については、ページ下部の一覧表を参照してください。

◆ カットシートフィーダ（VSP2750BC）

単票用紙を1枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。

◆ セカンドトラクタ（VSP2740BT）

連続帳票用紙をセットする装置です。プリンタに標準添付されているトラクタ同様にプリンタの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。セカンドトラクタを追加することにより、同時に2種類の連続帳票用紙をセットすることができます。セカンドトラクタの取り扱いについては、「2.12 トラクタユニットの位置を決める」を参照してください。

◆ 拡張出力機構（VSPBEX2）

富士通メインフレーム連携時において、ラベル文字、範囲指定バーコード（4方向への回転が可能、物流標準／物流拡張、カスタマバーコードは範囲指定バーコードでのみ可能など）の印刷および図形、イメージ印刷機能を使用するために必要なオプションです。

PRIMERGY 6000 連携時の必須オプションです。

Windows のプリンタドライバでイメージデータ圧縮を指定するときに必要なオプションです。

装置への取り付けは担当保守員にご依頼ください。

 警告	 感電	オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。
---	---	--

給紙組み合わせ	オプション	連帳用紙の搬送方向		単票用紙の搬送方向		
		前トラクタ	後トラクタ	手差し給紙	前自動給紙	後自動給紙
トラクタ（後） スタッカ	——	——	後→前	前→前 前→後	——	——
トラクタ（前） スタッカ	——	前→後	——	前→前 前→後	——	——
トラクタ セカンドトラクタ スタッカ	VSP2740BT ——	前→後	後→前	前→前 前→後	——	——
トラクタ（後） カットシートフィーダ（前） スタッカ	VSP2750BC ——	——	後→前	前→前 前→後	前→前 前→後	——
トラクタ（後） カットシートフィーダ（後） スタッカ	VSP2750BC ——	——	後→前	前→前 前→後	——	後→前 後→後
トラクタ（前） カットシートフィーダ（後） スタッカ	VSP2750BC ——	前→後	——	前→前 前→後	——	後→前 後→後
トラクタ セカンドトラクタ カットシートフィーダ（後） スタッカ	VSP2740BT VSP2750BC ——	前→後	後→前	前→前 前→後	——	後→前 後→後
トラクタ カットシートフィーダ（前） カットシートフィーダ（後） スタッカ	VSP2750BC VSP2750BC ——	——	後→前	前→前 前→後	前→前 前→後	後→前 後→後

※ 単票用紙印刷の場合

- 1) 前スタッカへの排出時は1枚ごとの抜き取りとなります。（連続スタック不可）
- 2) 後ろスタッカへの排出時は、120枚までとなります。
- 3) カットシートフィーダを前後に搭載しても、前側が無くなれば自動的に後ろ側から給紙するような連続動作は行いません。

1.6 Windows 環境で使用するソフトウェア

本装置には、ネットワーク環境で信頼性の高い印刷と高度な機能を実現するため、以下の関連ソフトウェアが標準添付されています。Windows ネットワーク環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。

これらソフトウェアは、装置添付のソフトウェア CD-ROM (PrintWalker) に格納されています。

概要、機能、表示メッセージ、対応 OS およびインストール方法は、ソフトウェア CD-ROM 内の各ソフトウェアの説明をご覧ください。

(1) PrintWalker/PM

VSP プリンタ装置への出力中に発生したエラー内容を表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

Windows 環境で印刷するためには、必須のソフトウェアです。

プリンタドライバをインストールする前に、本ソフトウェアをインストールする必要があります。

(2) VSP2750C プリンタドライバ

Windows パソコン/サーバから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです。

(3) VSP リクエスト

Windows サーバと本装置間で印刷資源のやり取りを行うソフトウェアです。

(4) PrintWalker/EM

VSP プリンタ装置の運用管理を行うソフトウェアです。

1.7 Unix(Solaris)/ Linux(RHEL) 環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPC は、Solaris 環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。

PrintWalker/LXE は、Linux 環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。

これらソフトウェアは、装置添付のソフトウェア CD-ROM (PrintWalker) に格納されています。

概要、機能、表示メッセージ、対応 OS およびインストール方法は、ソフトウェア CD-ROM 内の各ソフトウェアの説明をご覧ください。

(1) PrintWalker/BPC

VSP プリンタ装置への出力中に発生したエラー内容を Solaris サーバに表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

(2) PrintWalker/LXE

VSP プリンタ装置への出力中に発生したエラー内容を Linux サーバに表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

1.8 機能面・運用面における注意事項

(1) 本プリンタは、MS-DOS からの直接印刷には対応していません。

(2) SPARC Servers 接続

本装置は、JEF プリンタであり、SPARC Servers に接続されている既存プリンタとは互換の無い新しいプリンタであることに注意してください。

本装置は、SPARC Servers が既にサポートしている FM プリンタとは、解像度／文字サイズ／文字の形／指定可能な文字ピッチや行ピッチの値などが異なります。特に既設の FM のインパクトプリンタと併設する場合は注意が必要です。

- ANK、漢字のポイント指定はできません。ポイントを指定しても標準サイズ（10 ポイント相当）で印刷されます。
- ANK の文字ピッチは、10／12／13.3／15cpi が指定できます。これ以外の指定がされた場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
- 漢字の文字ピッチは、5／6／6.7cpi が指定できます。これ以外の指定がされた場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
- 行ピッチは 6／8lpi が指定できます。これ以外が指定された場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
- 漢字基準線指定はできません。常に下端に合わせて印刷されます。
- 上つき、下つき指定はできません。全角で印刷されます。
- ANK、漢字の縦書き指定はできません。横書きで印刷されます。
- 書体指定はできません。明朝体で印刷されます。
- 1 回の垂直タブで 1 改行します。
- 1 回の水平タブで ANK8 文字分を右ヘシフトします。

(3) PRIMERGY 6000 接続

- ① PRIMERGY 6000 と PC 端末の環境では互換機能をサポートしていますが、K1600 α シリーズ（SX/G）からの印刷はサポートしていません。
SX/G から印刷した場合はライタによって保留されます。
- ② 線画メディアサービスを使用したプログラムからの印刷はできません。
線画メディアサービスを使用したプログラムを実行した場合は、実行時にエラーになります。
- ③ リモートパワーオフ機能は、未サポートです。
- ④ 以下の点が SIF 接続のプリンタとは異なるため注意が必要です。（F6908HX1 との比較）
 - 1) 12lpi を指定した場合に次の制限があります。
 - 印字速度が遅くなります。
 - 強調印字（重ね打ち）ができません。
 - 2) ラベル文字の補間が行われません（書式文字で線がつながりません）。
また、ラベル文字のスムージングは行われません。
 - 3) バーコードの基本モジュール幅＝1 はサポートしていません。（基本モジュール幅＝2 で印刷）
バーコードは 1 行中に 14 項目まで有効です。
高速モードで印刷する場合は、バーコードも間引きされるため、読み取りは保証されません。
 - 4) イメージの拡大、縮小率が 1/8～8 倍のため、印字結果が表示ファイルの組み込みメディア項目の項目領域からはみ出る、または余白ができる場合があります。
 - 5) 線画データ印刷では、表示ファイルの組み込みメディア項目にてファイル名の指定のみ可能です。
- ⑤ PRIMERGY 6000 と連携するには、拡張出力機構（VSPBEX2）が必須となります。

- ⑥ 単票印刷において、プリンタ装置の手差し口からの吸入ができるのは、利用者プログラムからのインサータ印刷で手差し口を指定した直接印刷の時のみです。
利用者プログラムからのインサータ印刷で手差し口を指定した場合でも、ライタを経由したスプール印刷ではカットシートフィーダからの吸入となります。
よって単票用紙への印刷を行う場合は、カットシートフィーダオプション（VSP2750BC）の導入を推奨します。

(4) NMC 代替（HOST PRINT VSP サービス）による接続

NMC 代替（HOST PRINT VSP サービス）による接続を行うための設定を本プリンタに行った場合は、その接続形態の専用プリンタとしてのみ動作します。他の接続を行うためには設定の変更が必要となります。

(5) List Works ホスト受信サービス連携時の注意事項

セットアップ項目中の装置設定において、印字桁数設定を変更することにより、行の右端での折り返し位置が変化します。その結果、SPARC Servers の PrintWalker/BPC とプリンタとの間でページ概念に相違が発生し、リカバリページが乱れるおそれがあるため、注意が必要となります。

富士通メインフレーム上とプリンタの間で、行の折り返し位置の統一をとるようにしてください。

(6) JOB キャンセル時の注意事項

① NMC 代替（HOST PRINT VSP サービス）による接続

富士通メインフレーム上で JOB キャンセルを行った場合、プリンタは受信データを印刷後、その位置で止まります。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。【改ページ】スイッチを押すことにより、プリンタ装置内の行管理情報をページの先頭に戻してから用紙位置に設定してください。

1 ページ内に 6/8lpi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行い、その後【改ページ】スイッチを押すと、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。印刷途中でオフライン状態にした場合にも、次の印刷を開始する前に、【改ページ】スイッチを押し、用紙位置を再設定する必要があります。この時も同様に注意が必要です。

② Windows Server 上の HOST PRINT 帳票管理サービスを使用した PrintWalker/PM による接続（富士通メインフレーム連携の印刷）、または、SPARC Servers 上の CJMS を使用した PrintWalker/BPC による接続（富士通メインフレーム連携の印刷）

1) オンライン状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM および PrintWalker/BPC から JOB キャンセルを行った場合、プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し、改ページ動作を行った後に止まります。このため、次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます。

1 ページ内に 6/8lpi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行った場合、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。

2) オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル

PrintWalker/PM および PrintWalker/BPC から JOB キャンセルを行った場合、プリンタは受信データを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理情報もクリアされています。

1 ページ内に 6/8lpi が混在しているデータを印刷時にオフライン状態にし、【改ページ】スイッチを押すと、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。

- ③ Windows 上の PrintWalker/PM による接続、
Linux 上の PrintWalker/LXE による接続、
SPARC Servers 上の PrintWalker/BPC による接続 (SPARC Servers 上のアプリケーションからの印刷)、
または、PRIMERGY 6000 上の LAN プリンタ制御オプションによる接続
- 1) オンライン状態での JOB キャンセル
PrintWalker/PM、PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPC および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合、プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し、改ページ動作を行った後に止まります。このため、次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます。
 - 2) オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル
PrintWalker/PM、PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPC および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合、プリンタは受信データを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理機能もクリアされています。
- (7) 操作パネルの用紙選択ランプについて
操作パネルの用紙選択ランプは、【用紙選択】スイッチを押すことにより、順番に切り換わりますが、連帳／単票によって用紙パスが切り換わるタイミングは異なります。
連帳：【用紙選択】スイッチを押して単票から連帳に切り換わる時に用紙パスも切り換わります。
前連帳←→後連帳切り換え時も同様です。
単票：【用紙選択】スイッチを押して連帳から単票に切り換わる時に用紙パスも切り換わります。
前単票←→後単票切り換え時は、【スタート／ストップ】スイッチを押した後印刷を開始するために用紙を吸入する時に用紙パスが切り換わります。
電源投入時の用紙選択ランプは、電源切断前に使用していた用紙にて立ち上がります。
ただし、用紙パスの切り換えが終了する前に電源切断すると、その前に使用していた用紙にて立ち上がりますので注意してください。
- (8) 単票テーブル（手差し口）からの印刷について
手挿入口からの印刷は、下記の接続形態では指定することができませんので、注意が必要です。
- ① 富士通メインフレーム連携接続
 - ・ NMC 代替 (HOST PRINT VSP サービス) による接続
 - ・ Windows Server 上の HOST PRINT 帳票管理サービスを使用した PrintWalker/PM による接続
 - ・ SPARC Servers 上のホスト連携プレミアムを使用した PrintWalker/BPC による接続
 - ② SPARC Servers 連携接続
 - ・ Simple、COBOL からの PrintWalker/BPC による接続
(MeFt からの印刷では指定可能です。ただし、連帳指定での印刷時は除きます。)

(9) 富士通メインフレームから印刷時の注意事項

富士通メインフレームからの印刷時は、接続形態により印刷後の【改ページ】スイッチの動作に違いがあるため注意が必要です。

① NMC 代替 (HOST PRINT VSP サービス) による連携

- ・ LU タイプ 1
ホストからページ長／改行ピッチ情報が指定された場合、【改ページ】スイッチはその値に従って動作します。
- ・ LU タイプ 3
【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します。

② Windows Server 上の HOST PRINT 帳票管理サービスを使用した PrintWalker/PM による接続 (富士通メインフレーム連携の印刷)、または、SPARC Servers 上のホスト連携プレミアムを使用した PrintWalker/BPC による接続 (富士通メインフレーム連携の印刷)

【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します。

- ・ 紙送り量設定が「パネル」：プリンタ装置の設定値で動作
- ・ 紙送り量設定が「ホスト」：ホストから指定されたページ長で動作

(10) プリンタに標準装備していない文字を使用する場合

プリンタに標準装備していない文字を帳票で使用的場合は、印刷処理中にプリンタ側から文字フォント要求を通知し、上位装置から文字フォントのダウンロードが行われます。このため、性能が低下しますので運用に先立ち十分な確認が必要です。

[富士通メインフレーム連携、SPARC Servers 連携、PRIMERGY/PRIMEQUEST (共に Red Hat Enterprise Linux) 連携]

- ・ プリンタ内に標準装備している文字
JEF 非漢字、JEF 第一水準／第二水準、書式文字
- ・ 上位装置からダウンロードを行う文字
JEF 拡張非漢字／拡張漢字
ユーザ定義文字

[PRIMERGY 6000 連携]

- ・ プリンタ内に標準装備している文字
JEF 非漢字 (明朝体)、JEF 第一水準／第二水準 (明朝体)、書式文字
- ・ 上位装置からダウンロードを行う文字
JEF 拡張非漢字／拡張漢字 (明朝体)
JEF 非漢字 (ゴシック体)、JEF 第一水準／第二水準 (ゴシック体)
JEF 拡張非漢字／拡張漢字 (ゴシック体)
ユーザ定義文字

(11) LAN-WAN-LAN 環境で使用する場合

VSP はサーバとの接続を維持するため、VSP～サーバ間で定期パケットを送受信することによってポーリング処理やリトライ処理を行っています。

これらの定期パケットは VSP とサーバとの接続形態にもよりますが、約 30 秒間隔で送信されるものや、約 2～3 分間隔で送信されるもの等いくつか存在します。

そのため VSP～サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため、回線接続維持に課金される WAN 等が、VSP～サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費用が発生します。

上記の課金を防止するためには、VSP～対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク環境 (同一セグメント、専用線等) としてください。

なお、上記の定期パケットは 100～200 バイト程度であり、LAN トラフィックに大きな影響を及ぼすことはありません。

(12) 保護機能

- ① 印字デューティが高い場合、2 分割印字により、印字ヘッドおよび電源を保護します。
- ② 印字ヘッドの温度が規定値以上になると、2 分割印字により温度上昇を防止します。
- ③ メカエラー（モータ過電流、印字ヘッド過電流など）の発生後、その制御回路を停止してもエラーが継続する場合、メカへの電源供給を停止することにより、メカを保護します。
- ④ 安全のため、トップカバーを開けるとスペースモータの電源を切断します。印字中にはトップカバーを開けないでください。

(13) 印字制限条件

- ① 連続改行は、1 分間以上行わないでください。
- ② 5 桁（文字ピッチ 1/10 インチで 5 文字分）以下の連続印字またはスペース動作は、5 分間以上行わないでください。
- ③ 50%デューティ以上のパターンの連続印字は、1 分間以上行わないでください。
- ④ 横罫線等の特定ドットの連続印字は、1 分間以上行わないでください。
- ⑤ 単票テーブルを開いた状態で使用すると、用紙づまり吸入不良等の原因となりますので、単票テーブルを必ず閉じた状態で用紙を吸入してください。
- ⑥ 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認のうえ使用してください。
カットシートフィード使用時の逆改行動作では、改行乱れが発生する場合があります。
カットシートフィード使用時、累積で 1/3 インチ以上の逆改行動作はできません。
連帳用紙の 22 インチ以上の逆改行動作は用紙づまり、ガレが発生する場合があります。
- ⑦ 用紙厚に段差のある媒体（封筒、宅配伝票）を使用すると、印字汚れ、カスレ等が発生しやすくなりますので、十分確認のうえ使用してください。
自動紙厚検出機構（APTC）の故障の原因となることがありますので手動調整モードに切り換えて使用してください。

(14) 印字速度(高速モード)

高速モードは、印刷すべきドットを単純に間引いて、高速性を実現しています。
したがって通常モードと比較して、印字品質が粗くなりますので注意してください。
特に複写用紙に印刷する場合は、印刷濃度が低下しますので注意してください。
図形／イメージ印刷時は使用しないでください。
OCR、バーコード等の読み取りを行う場合は、十分確認のうえ使用してください。

(15) 印刷領域について

- ① 印刷領域外への印刷における印刷品質は保証できません。
- ② 印刷領域外へ印刷を行うと、印字ヘッド・カードガイドの損傷、紙づまり等プリンタ装置の故障の原因となるおそれがあります。
- ③ 下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、最終ページが重複印刷になることがありますので、印刷領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。
Windows 設定の「デバイスとプリンター」または「プリンターとスキャナー」設定画面の『プリントサーバー プロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。

(16) 印字ヘッド動作方向設定について

印字ヘッド動作方向の初期値は、両方向印字になっています。
このため、バーコード、図形、イメージなどを印刷する場合、正逆印字ズレが発生することがあります。
これらの印刷を行う場合は、セットアップの印字ヘッド動作方向設定で片方向印字に設定することを推奨します。

(17) 単票テーブル（手差し口）上の用紙取り扱いについて

- ① 手差し口から印刷を行う場合は、LCDに「テサシ ニ ヨウシ ラ セット」と表示されてから単票テーブルに用紙をセットしてください。
- ② 単票テーブルに排出された用紙は、すみやかに取り除いてください。
放置された場合、次の印刷開始時に「テサシ ヨウシ ノ ジョキョ」が表示されます。
- ③ 単票テーブル上には手差し口から印刷を行う場合以外、用紙を置かないでください。

(18) 連帳用紙セット時の注意

オンライン状態で連帳用紙をプリンタから引き抜いてしまった後に再セットする場合、用紙送りトラクタに用紙をセットしてからオフライン状態にし、【連帳セット・退避】スイッチを押して用紙を吸入してください。用紙送りトラクタに用紙をセットしただけの状態では印刷を行うと、用紙が正しく吸入されません。

この場合、【連帳セット・退避】スイッチを押して用紙を後退させてから、再度【連帳セット・退避】スイッチを押して印刷開始位置まで吸入する必要があります。

(19) プリンタドライバからの単票／連帳自動切替えについて

プリンタドライバの設定により、印刷起動時にプリンタの給紙口を単票／連帳間で切替えることが可能になります。

① 連帳から単票または他の連帳に切替える場合

現在選択されている連帳を用紙送りトラクタ位置まで退避させてから、給紙口の切替えを行います。22 インチ連帳を退避させても用紙送りトラクタ位置まで戻らない場合は、用紙づまりとなります。

注 1) 印刷済の用紙を切り取ってから、給紙口の切替えを行ってください。印刷済の用紙を切り取らない場合、上記記載のように退避時に用紙づまりとなる場合があります。用紙づまりとなった時は、印刷済の用紙を切り取った後、現在の給紙口のままオンライン状態にするか、使用する給紙口に【用紙選択】スイッチを押して切替えてからオンライン状態にする必要があります。

注 2) 連帳用紙に 22 インチ以内の印刷を行った後、印刷済の用紙を切り取らずに給紙口の切替えを行った場合、用紙退避にて用紙送りトラクタまで用紙が戻るため正常に切替えが行われます。退避された用紙をそのままにした状態にて、その後、用紙選択にて元の給紙口（連帳用紙）に切替えて印刷を行うと、前回の印刷済みの用紙に再度印刷されてしまいます。連帳用紙の印刷後に給紙口切り替えを行う場合、必ず、印刷済みの用紙を切り取ってください。

[単票／連帳自動切替えの使用例]

- 1) 連帳へ印刷する。
 - 2) 【スタート／ストップ】スイッチを押してオフライン状態にする。
 - 3) 【用紙カット】スイッチを押して横ミシン目を用紙カット位置に移動させる。
 - 4) 用紙を切り取る。
 - 5) 【用紙カット】スイッチを押して用紙を印刷開始位置に戻す。
 - 6) 【スタート／ストップ】スイッチを押してオンライン状態にする。
 - 7) 給紙口を切替える印刷データを起動する。
 - 8) 連帳を用紙送りトラクタ位置に退避し、給紙口の切替えを行ってから印刷を開始する。
- ② 単票から連続帳票に切替える場合
- 給紙口の切替えを行い、連帳を印刷開始位置まで吸入します。給紙口の切替え時に用紙パス内に単票が残っていた場合は、「テサシ ヨウシ ノ ジョキョ」が表示されますので、用紙パス内の用紙を取り除いてください。

(20) 単票から他の単票給紙口への切替えについて

用紙パス内に単票が残った状態で他の単票給紙口に切替えを行った場合、用紙パス内の用紙は排出されません。また、他の単票給紙口に切替えてもその給紙口からの吸入は行われず、用紙パス内の用紙に印刷されます。

印刷中に【スタート/ストップ】スイッチを押して印刷を停止させ、JOB のキャンセルを行った時は、用紙パス内にある用紙を【改ページ】スイッチを押し、排出してからオンライン状態にするよう注意してください。

(21) PrintWalker/PM の印刷ページ操作について

印刷中に【スタート/ストップ】スイッチを押して印刷を停止させ、PrintWalker/PM の【操作】ボタンを押してから印刷ページを操作した場合、プリンタは受信済のデータを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に以下の手順で用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理情報もクリアされます。

[用紙位置の再設定手順]

単票：【改ページ】スイッチを押して、用紙パス内の用紙を排出する。

連帳：【微調送り△/▽】スイッチを押して、印刷開始位置を調整する。

(22) Windows 印刷時の印刷品質と印刷時間について

本装置は、印字ヘッドが左右に移動して印字を行う方式のシリアルドットプリンタです。この方式では Windows アプリケーションからのイメージ印刷の場合、印字ヘッドの印刷方向（右→左、左→右）によるズレや改行乱れにより、若干の文字崩れが発生する場合があります。

この文字崩れは、Windows アプリケーションからのイメージデータを 24 ドット（印字ヘッドの縦方向最大印字ドット数）ずつ、黑白データにかかわらず順に印刷するため、文字が上下に分割されることにより発生します。

本装置は、このような文字崩れを無くすために、印字ヘッドの 1 回の移動で印字可能な文字（11 ポイント以下）は、分割しない制御を行い、きれいな印字を実現しています。

この印刷方式は、プリンタドライバの設定画面（〔印刷設定〕－〔詳細設定〕）において、デバイスフォントを<使用しない>に設定し、[空白イメージのスキップ]を<有効>に設定した場合に有効となります。

さらにプリンタドライバの設定画面において、[空白イメージのスキップ]を<有効>にして印字方向を<連続域片方向印字>に設定すると印字ヘッドの 1 回の移動で印字不可能な文字（11 ポイントを超える文字）や罫線などを印刷する場合は、印字ヘッドの 1 回の移動で印字できない部分のみ片方向印刷（右→左の繰り返しまたは左→右の繰り返し）を行い、大きな文字や罫線などもきれいに印刷することができます。

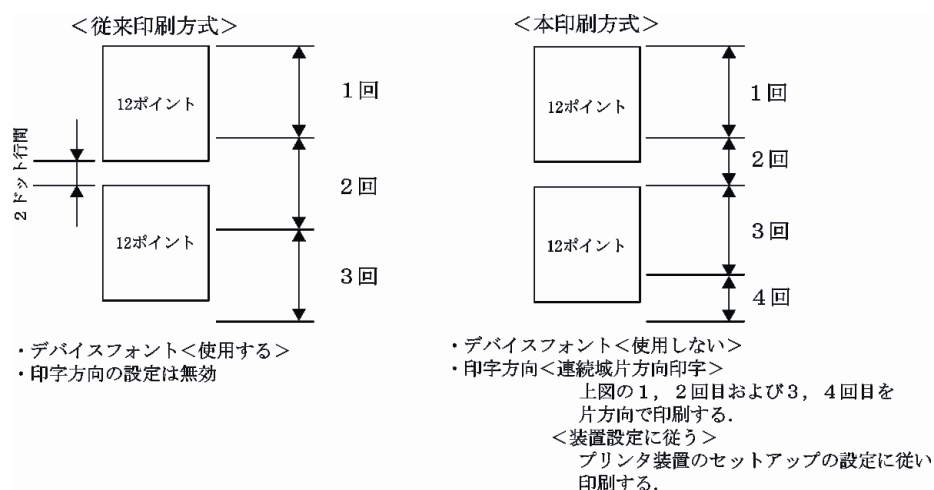
なお本方式では、よく使用されている文字サイズ（11 ポイント以下）での帳票印刷では従来方式よりも印刷時間は短くなりますが、印刷パターンによっては、従来方式よりも印刷時間が長くなる場合があります。

例えば 12 ポイント文字が 2 ドット分ほどの行間で配置されたパターンでは、従来方式では 3 回の印字ヘッド動作で終了していたものが、本方式では 4 回となり、印刷時間が長くなります。

このような場合において、印刷品質よりも印刷速度を優先される場合は、プリンタドライバの設定画面のデバイスフォントを<使用する>に設定してください。

デバイスフォントを<使用する>にすると、従来方式の印刷を行います。

なおこの場合は、<連続域片方向印字>の設定は無効となります。



(23) プリンタドライバからの印刷時における用紙長定義について

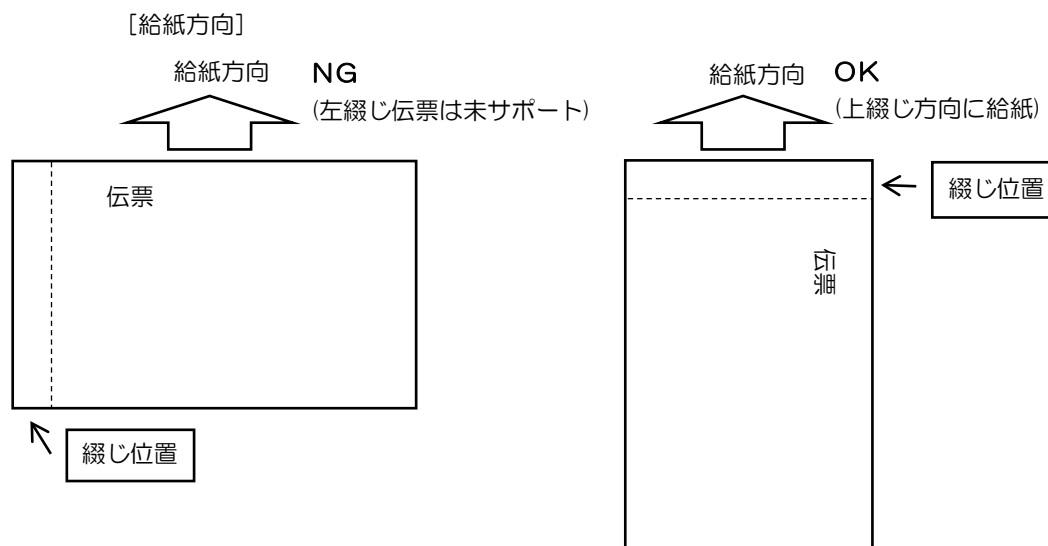
Windows のプリンタドライバからの印刷時は、用紙長を0.5 インチ単位で処理しますので、0.5 インチ単位で定義されていない場合は用紙送りの都合上、切り上げて動作します。

例：9.8 インチ→10.0 インチ

(24) 右90度回転印刷について（Windows プリンタドライバ経由の印刷）

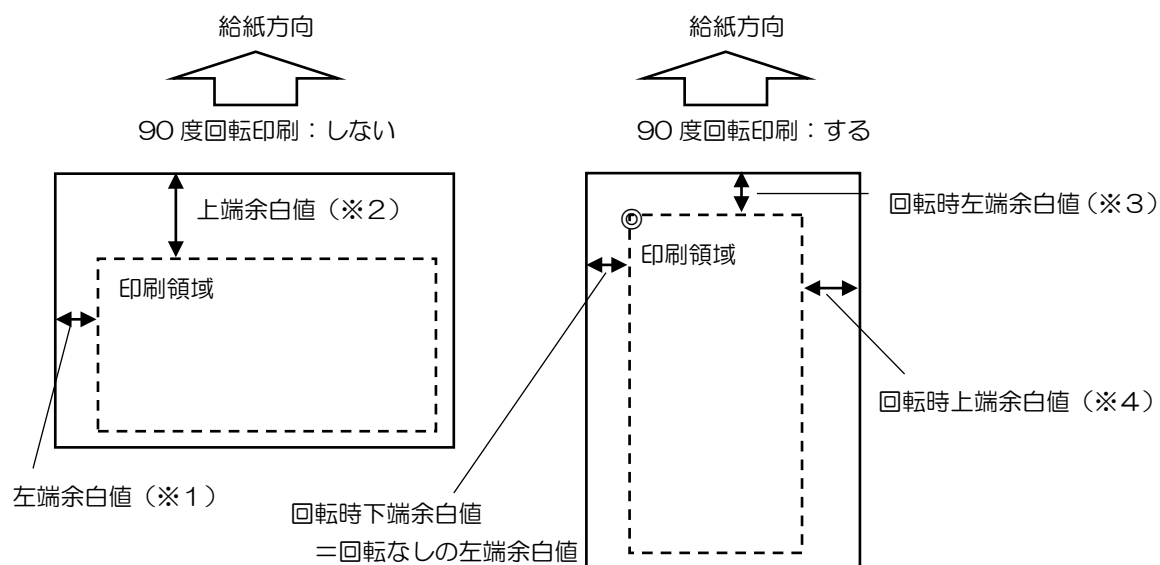
宅配便伝票のような左綴じの複写用紙の場合、本装置ではそのまま給紙すると機構上、印刷中に用紙づまりが発生しやすいため、用紙を右90度回転させ綴じ部分から給紙させて印刷します。このとき、プリンタドライバは印刷データを右90度回転させて印刷することができます。

なお、HOST PRINT 帳票管理サービスでの印刷の場合、本機能は利用できません。



[余白値について]

右90度回転印刷したときの余白値は以下になります。



余白値	使用するプリンタドライバ	
	FUJITSU VSP2750C	FUJITSU VSP2750C (VSP2851B 互換) FUJITSU VSP2750C (VSP2910H 互換)
回転なしの左端余白 (上図※1)	5.2mm (固定)	←
回転なしの上端余白 (上図※2)	プリンタ装置のセットアップの「ロード位置」に設定した値から1.9mmを引いた値。(注)	プリンタドライバの「単票上端余白」に設定した値から1.9mmを引いた値。(注) [設定可能な値] 5.0mm 7.6mm 10.2mm 装置設定値
回転ありの左端余白 (上図※3)	5.2mm (標準) プリンタドライバの「回転時単票左端余白」の設定により、2.0～38.0mmの範囲で調整可能。	←
回転ありの上端余白 (上図※4)	印刷領域を右に90度回転させて上図◎の位置を左上として展開。 回転時の上端余白値（横方向の印字位置）については、プリンタ装置の単票セットフリー機能をオフにして手動で調整。	←

注：プリンタドライバで設定する「単票上端余白」とは、用紙の上端から印刷文字（デバイスフォント）の中心までの距離です。用紙上端から印刷文字（印刷領域）の上端までの距離は、上端余白の値から1.9mmを引いた値となります。

[補足]

- ー 以下の場合には右90度回転印刷できません。
 連続紙（トラクタからの給紙）の場合
 デバイスフォントを使用する場合
- ー 印字ヘッドの印刷方向（右→左、左→右）によるズレや改行乱れ（正逆印字ズレ）が発生する場合があります。プリンタ装置のセットアップで印字ヘッド動作方向設定を片方向印字に設定することを推奨します。
- ー 印刷位置（余白量）は運用前に調整してください。
 給紙方向 : プリンタドライバの「回転時単票左端余白」の設定で調整
 印字ヘッドの印刷方向: 装置の単票セットフリー機能をオフにして調整
- ー 装置がサポートする用紙幅の最大値（420mm）に近い単票用紙をセットする場合、用紙をセットする位置の調整範囲が小さくなるため、十分な余白調整ができない場合があります。
- ー バーコード、OCR-Bなどの読み取り品質は、運用前に十分な読み取りテストを実施してください。
- ー 印刷範囲がプリンタ装置の保証している印刷領域をはみ出す場合があります。印刷領域外の部分については、印刷品質は保証できません。
 また、印刷範囲が用紙サイズ内に収まり切らず、装置側で用紙切れを検出する場合があります。

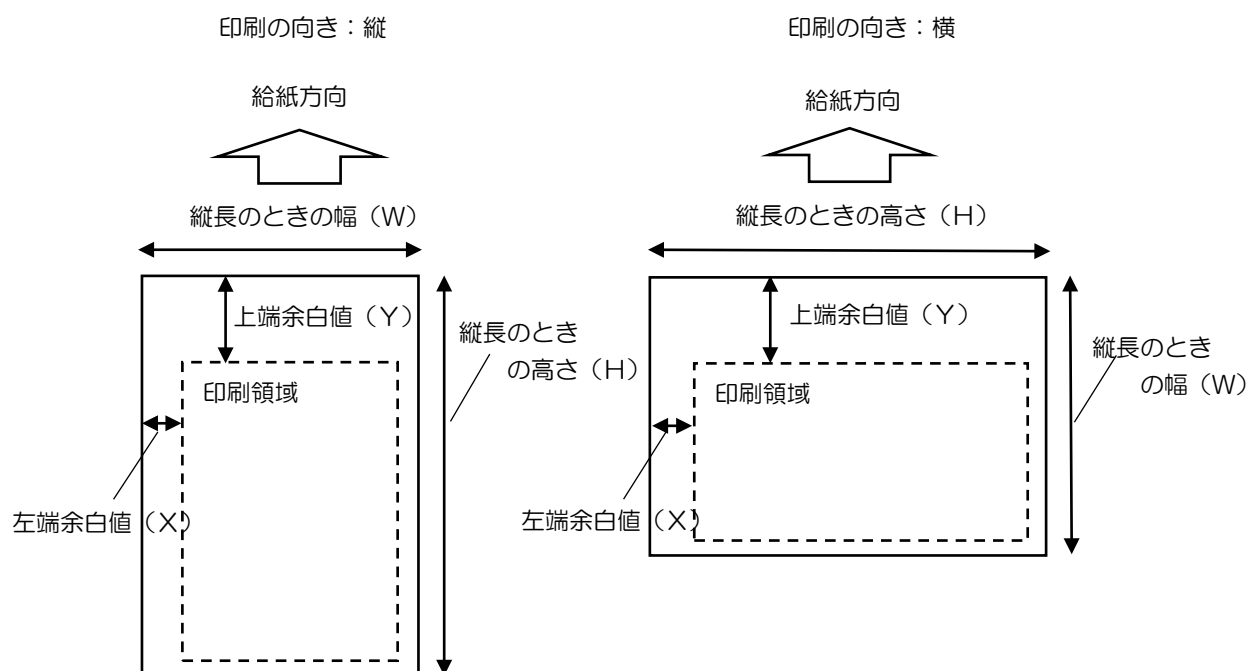
(25) 印刷の向き指定について（Windows プリンタドライバ経由の印刷）

アプリケーションから、「印刷の向き」に「横」の指定がされたとき（注）、プリンタドライバは用紙サイズの高さと幅を入れ替えることにより、縦長の用紙を横長の用紙（またはその逆）として印刷することができます。

注：アプリケーションによって表現が異なることがあります。

なお、HOST PRINT 帳票管理サービスでの印刷の場合、本機能は利用できません。

例）印刷の向きが「縦」/「横」のときの印刷領域と余白について

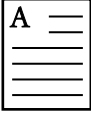
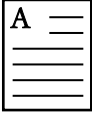
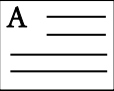
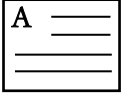
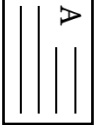


[補足]

- 印刷の向きを「横」にして印刷できるのは、単票用紙のみです。アプリケーションからの印刷において、連続紙（トラクタからの給紙）で印刷の向きを「横」にしても、その指定は無効となり「縦」で印刷されます。
- 印刷の向きを「横」にすることで、用紙の幅と高さは入れ替わりますが、上端、左端の余白は入れ替わりません。そのため、印刷領域は以下となります。
 印刷の向きが縦のときの印刷領域の幅 ≠ 印刷の向きが横のときの印刷領域の高さ
 印刷の向きが縦のときの印刷領域の高さ ≠ 印刷の向きが横のときの印刷領域の幅
 アプリケーションからの印刷では、プリンタドライバから用紙や印刷領域の幅・高さ、上端余白値、左端余白の値を取得して印刷データが生成されますので、通常は特に意識する必要はありませんが、帳票設計の際はご注意ください。

[横方向印刷と右90度回転印刷を組み合わせたときについて]

印刷の向き（縦／横）と、右90度回転印刷（しない／する）の指定内容により、装置への用紙のセット方法と印刷結果は以下のようになります。

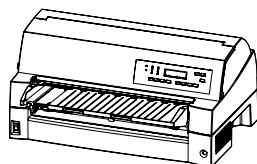
印刷の向き	右 90 度回転	用紙のセット方法と印刷結果
縦 	しない	縦方向で紙をセットする。 印刷データを縦長のままプリンタに送信。 
	する	横方向で紙をセットする。 印刷データを右 90 度回転して横長でプリンタに送信。 
横 	しない	横方向で紙をセットする。 印刷データを横長のままプリンタに送信。 
	する	縦方向で紙をセットする。 印刷データを右 90 度回転して縦長でプリンタに送信。 

第2章 準備

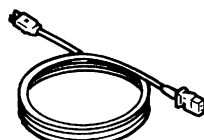
2.1 製品の確認

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。

なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



プリンタ本体



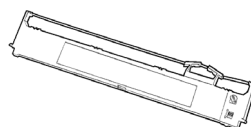
電源コード



つまみねじ



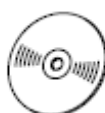
リアスタック



リボンカセット（黒、1 個）



ギヤカバー



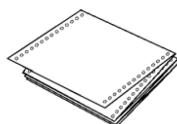
ソフトウェア CD-ROM（2 枚）
[PrintWalker、取扱説明書等]



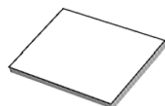
試験成績書



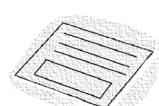
保証書



テスト用紙（各 10 シート）



インクリボン問合せラベル



安全上のご注意

お願い

- 本プリンタに LAN ケーブルは添付されていませんので、別途用意してください。なお、LAN ケーブルの購入方法、その他不明な点については、担当営業までお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。

2.2 使用上のお願い

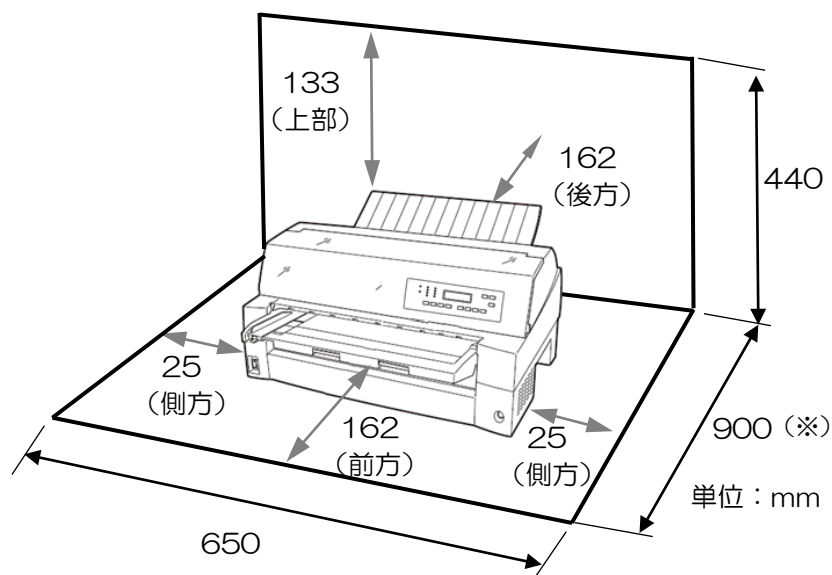
このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いいたします。不明な点については、担当営業および保守員にご相談ください。

2.2.1 設置について

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。

温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。

- ・周囲温度：5℃～35℃
- ・周囲湿度：20%～80%（結露しないこと）
- ・水平で安定した平面に設置してください。
- ・通風口をふさがないでください。
- ・振動のある場所には設置しないでください。
- ・落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
- ・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。



十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

※オプションのカットシートフィード実装時(前または後)は、前または後ろのスペースが増えます。

2.2.2 電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

- ・電源電圧：AC100V±10%
- ・電源周波数：50/60Hz +2%、-4%

2.2.3 使用方法について

▲ 注意	 一般的禁止 ・プリンタの上に物を置かないでください。 ・長時間プリンタを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。 ・万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。 入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。 ・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。 印字ヘッドやプラテンが傷みます。 ・プリンタが動作しているときは、トップカバーを開けないでください。 カバーオープンを検知して動作は停止しますが、正しい印字結果が得られなくなることがあります。
▲ 注意	 高温注意 ・印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで触らないでください。 火傷、けがのおそれがあります。
▲ 注意	 接触禁止 ・ケーブルコネクタ、印字ヘッドの金属部には触らないでください。 ・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。

2.2.4 用紙について

お使いになる用紙については、「第7章 用紙について」の内容を事前に確認してください。また、次のような用紙を使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙づまり、用紙折れ、印字ズレ等の印字品質への影響が出る可能性があります。また、印字ヘッドのピンが折れる等の故障の原因となる可能性もあります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホッチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙

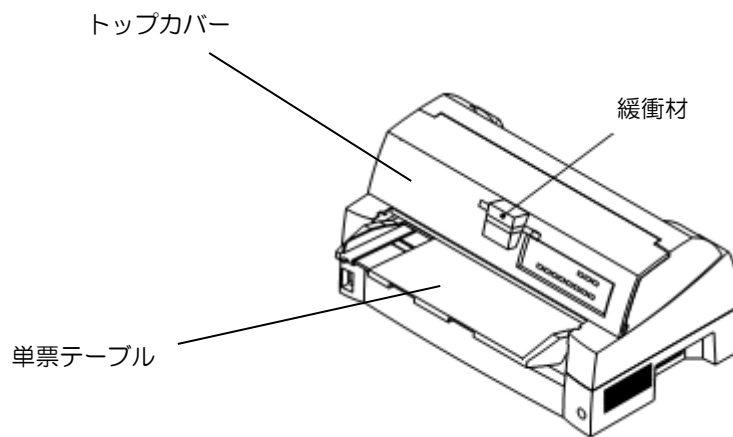
2.3 輸送用固定材の取りはずし

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取りはずしてください。

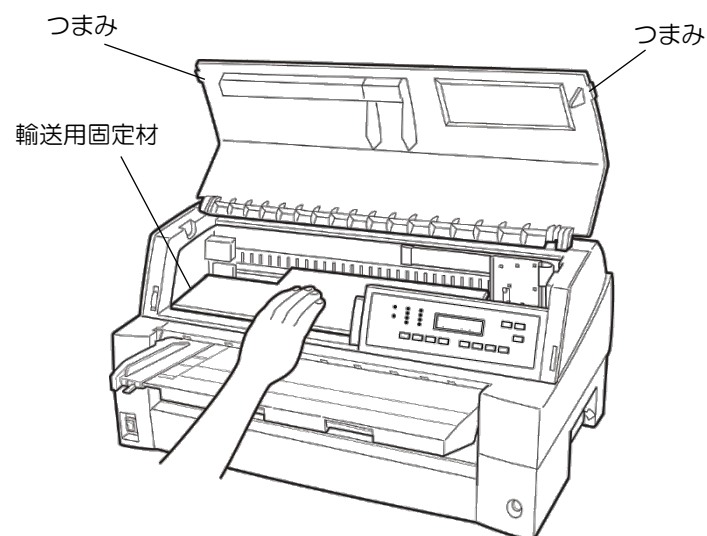
お願い

取りはずした輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

- 1 単票テーブルをトップカバー側へ倒し、トップカバーに貼られている緩衝材をはずす

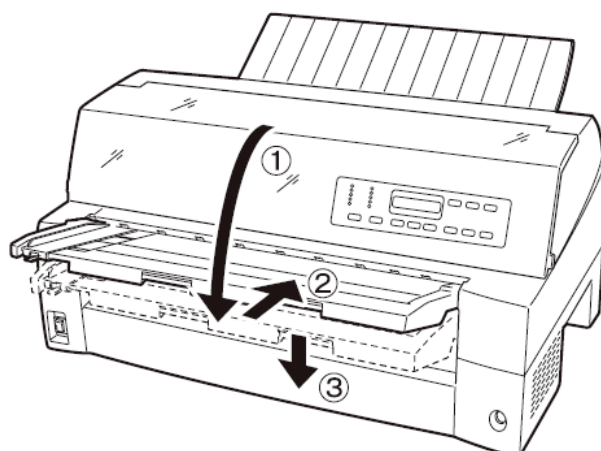


- 2 つまみを持ち上げながらトップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取る

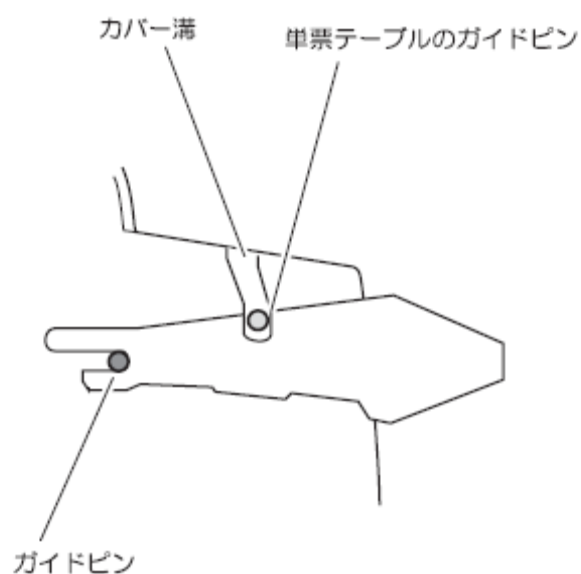


2.4 単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを倒した（①）のち、奥に押し込んで（②）セットします（③）。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



— お願い —

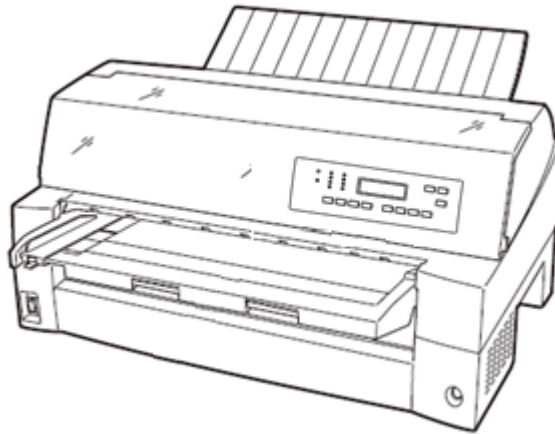
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態で放置しないでください。単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

2.5 単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタ給紙するとき、前トラクタユニットを着脱するときや、カットシートフィードをプリンタ前部に取り付けるときに、一旦開閉する必要があります。

◆ 通常時

通常は下図のような状態です。



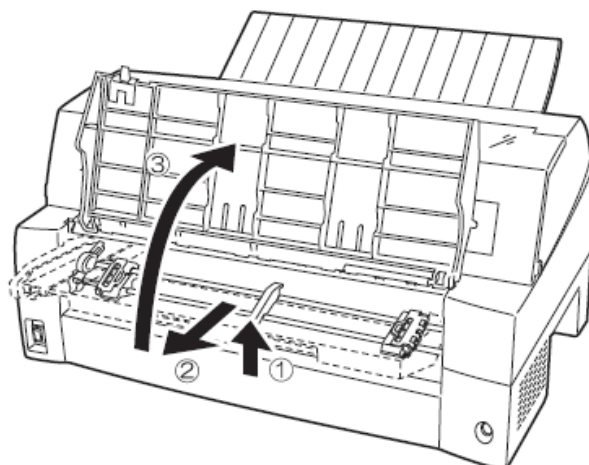
◆ 単票テーブルを開く時

「単票」ランプと「前給紙」ランプが点灯している状態で単票テーブルを持ち上げると、用紙吸入ローラが動作することがあります。これはプリンタ内のセンサが太陽光などを検出したためです。

注) 電源が入った状態で単票テーブルを開く時は、給紙口を「前単票」以外にしてから以下の操作を行ってください。

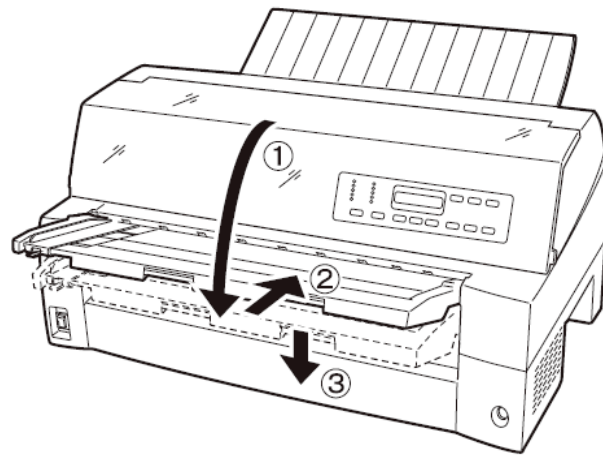
1 単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ(①)、手前に引いた後(②)、回転させて開きます(③)。



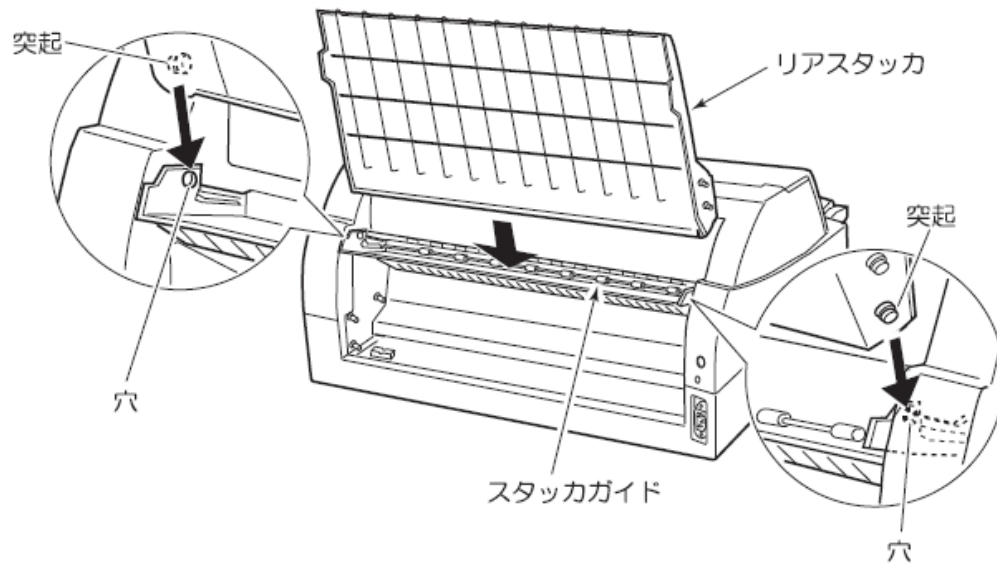
2 単票テーブルを閉じる

下図のように倒した(①)のち、奥に押し込んで(②)閉じます(③)。



2.6 リアスタッカの取り付け

下図のようにプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にリアスタッカ両側の突起をはめます。

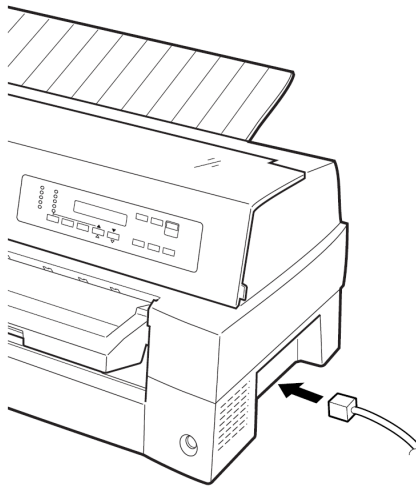


2.7 LANケーブルの接続

警告	感電 LANケーブルを抜き差しするときは、必ず本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。
------------------	--

LANケーブルの接続は、次の手順で行います。

- 1 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。
- 2 LANケーブルをプリンタに接続する
LANケーブルの一方を、プリンタ右側面のLANケーブル接続コネクタに差し込みます。



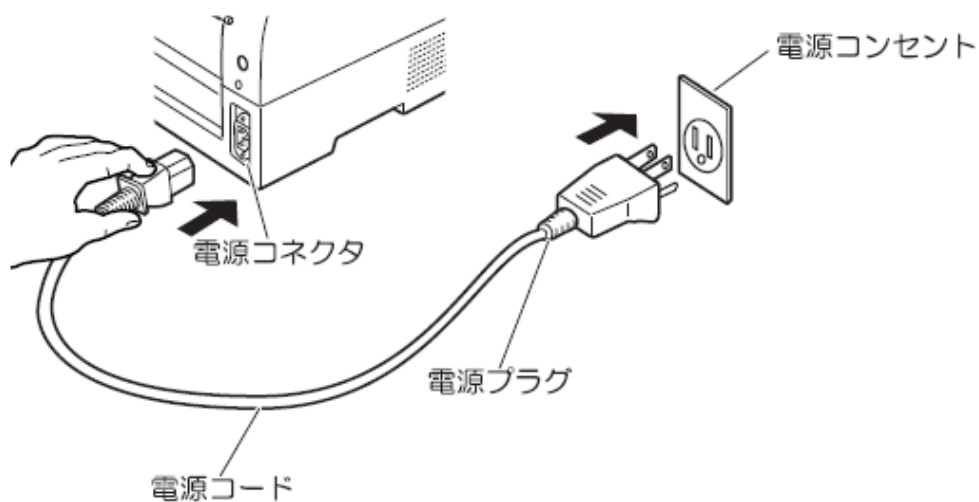
2.8 電源コードの接続

▲ 警告**感 電**

添付の電源コード以外は使用しないでください。コンセントは平行2ピンアース極付きのタイプを使用してください。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

- 1 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
- 2 プリンタに電源コードを差し込む
プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む
電源コンセントに接続します。

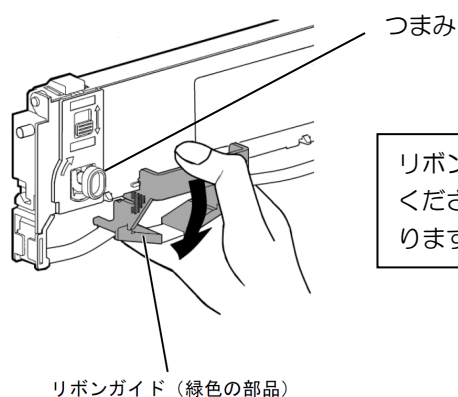
**お願い**

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。
延長コードを使用する場合、複数機器を接続しないでください。

2.9 リボンカセットを取り付ける

1 リボンカセットからリボンガイドをはずす

リボンカセットからリボンガイド（緑色の部品）をゆっくりとはずします。なお、リボンのよじれを避けるため、ガイドをはずす前にカセットのつまみを回したり、ガイドを急激に引き抜いたりしないようにご注意ください。



リボンを捻じらないように、リボンガイドを押さえてください。リボンが捻じられると印字不良の要因となります。

2 プリンタをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取りはずされていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。オフライン状態にすると印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。



ガイド

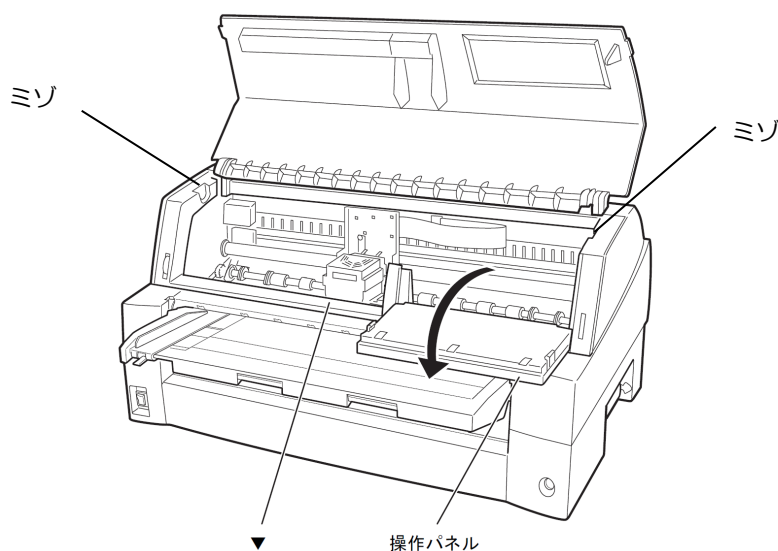
- トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。トップカバーを閉めて電源を投入してください。
- オフライン状態（「スタート」、「チェック」ランプ消灯）でない場合は、【スタート/ストップ】スイッチを押してください。

3 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

4 トップカバーを開ける

5 操作パネルを手前側に倒す



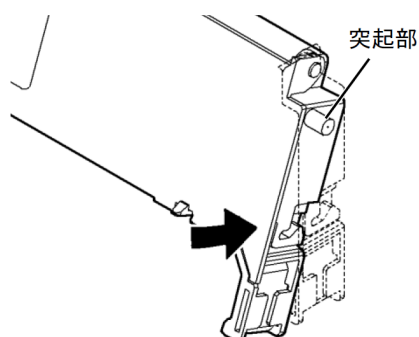
- 6 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンタ本体に▼刻印があります）にあることを確認する
 印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。

▲ 注意

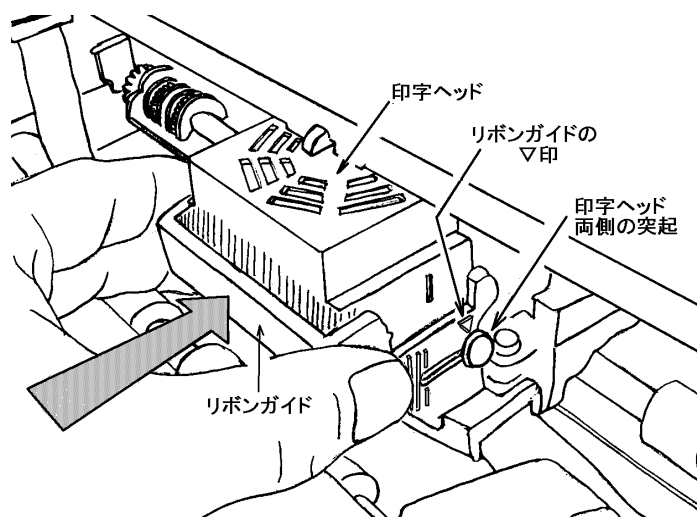


使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

- 7 リボンカセットを取り付ける
 リボンガイド（緑色の部品）を印字ヘッド手前の凹みに置きます。次にリボンカセット両端の突起部をプリンタ上部のミゾに入れ、カセットの左右の下部をカチッと音がするまで奥に押し込みます。



- 8 リボンガイドを取り付ける
 リボンを軽くたるませた状態で、リボンガイドの▽印部を印字ヘッド左右両端の丸い突起にしっかりとはめ込みます。この際リボンがよじれないようにご注意ください。

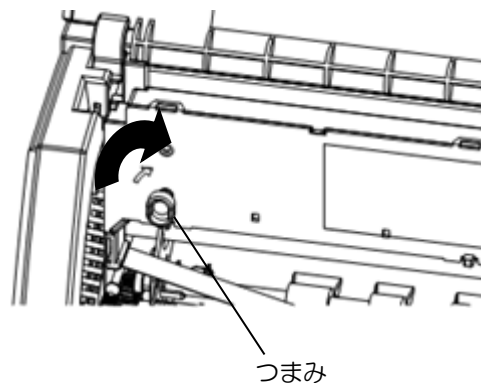


お願い

リボンカセット装着の前にリボンカセットのつまみは回さないでください。
 リボンを張った状態でリボンガイドを装着すると、リボンが折れたりよじれたりして、正常に送られなくなることがあります。

9 リボンのたるみを取る

リボンカセットのつまみを矢印の方向(時計回り)に回して、リボンのたるみを取ります。



10 操作パネルを元に戻す

11 トップカバーを閉める

2.10 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダは、プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。前後両方に取り付けることもできます。本プリンタでは、カットシートフィーダ（VSP2750BC）を使用できます。

警告



感電 カットシートフィーダを取り付けたり、取りはずしたりするときは、必ず本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

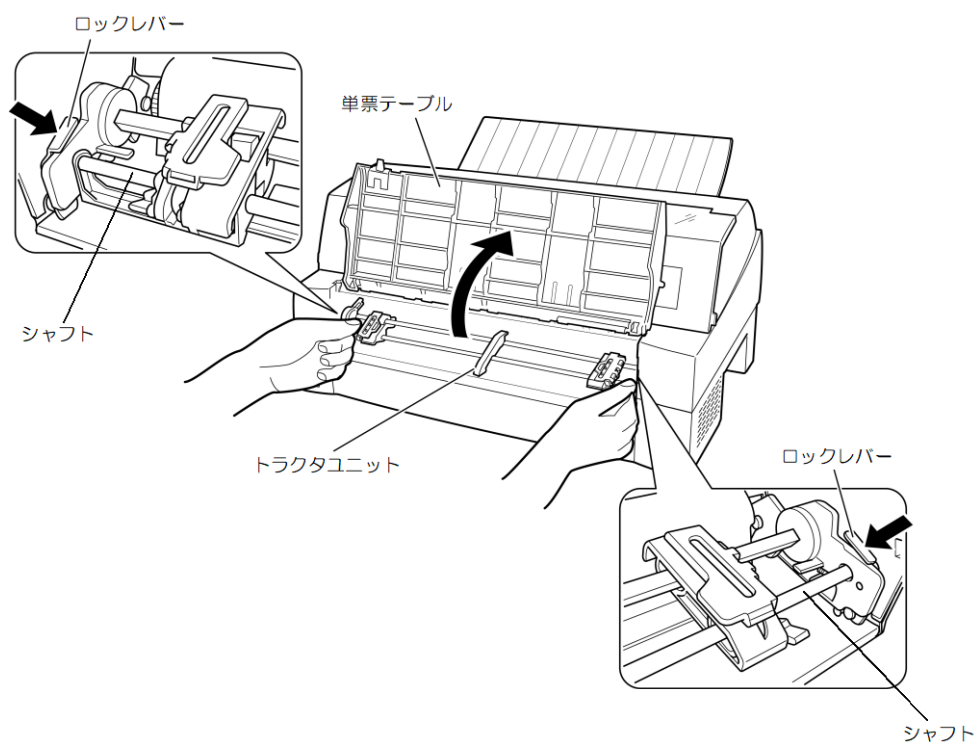


ガイド

- プリンタの前側にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタユニットは取り付けられません。取りはずしたトラクタユニットはプリンタの後方に取り付けられます。

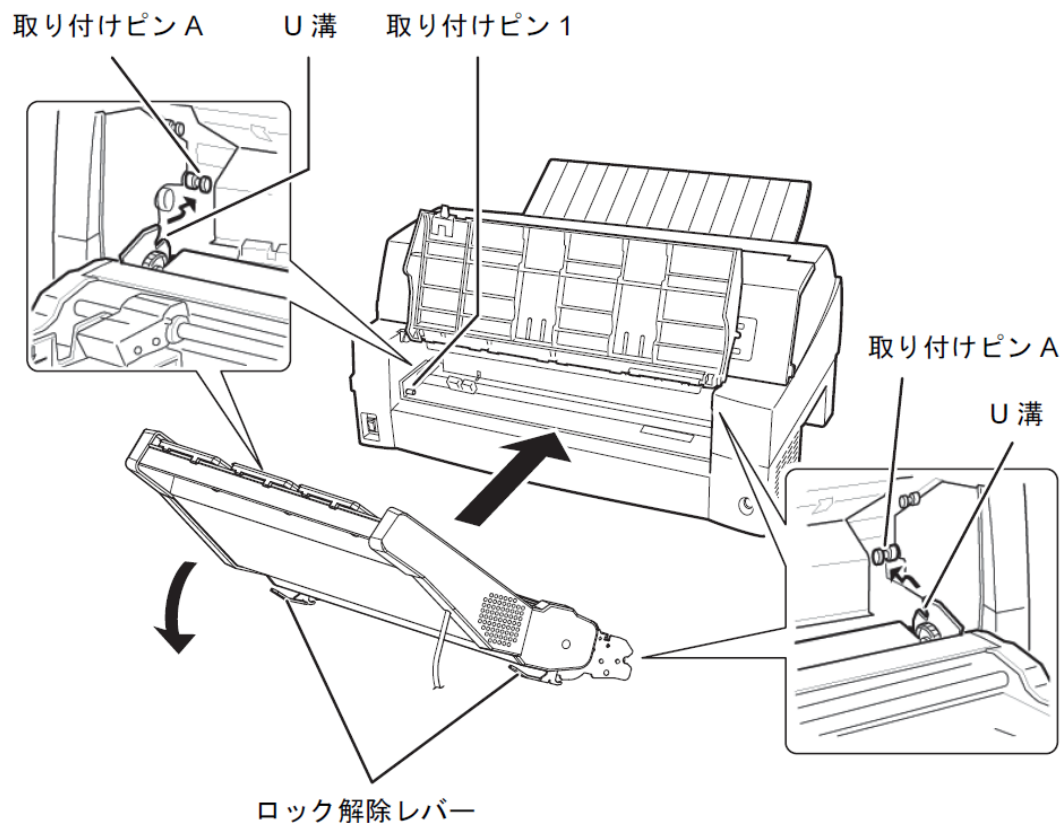
2.10.1 プリンタ前部に取り付ける

- 1 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。
- 2 トラクタユニットを取りはずす
単票テーブルを開いて、トラクタユニットの左右にあるロックレバーを押しながら、トラクタユニットを取りはずします。

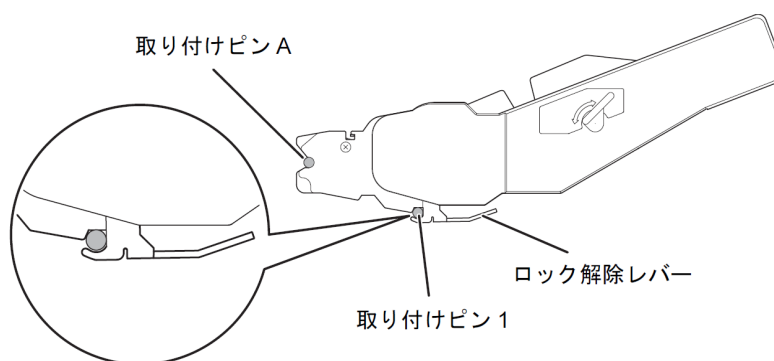


3 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側のロック解除レバーを指で押さえ、カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥にある取り付けピンAに差し込みます。ゆっくりと下ろし両側のレバーを離します。片側だけ取り付けが正しくできなかった場合は、再度ロック解除レバーを押さえて取り付け直してください。



図のように、取り付けピン1にカットシートフィーダのロック解除レバーが取り付けられたことを確認してください。

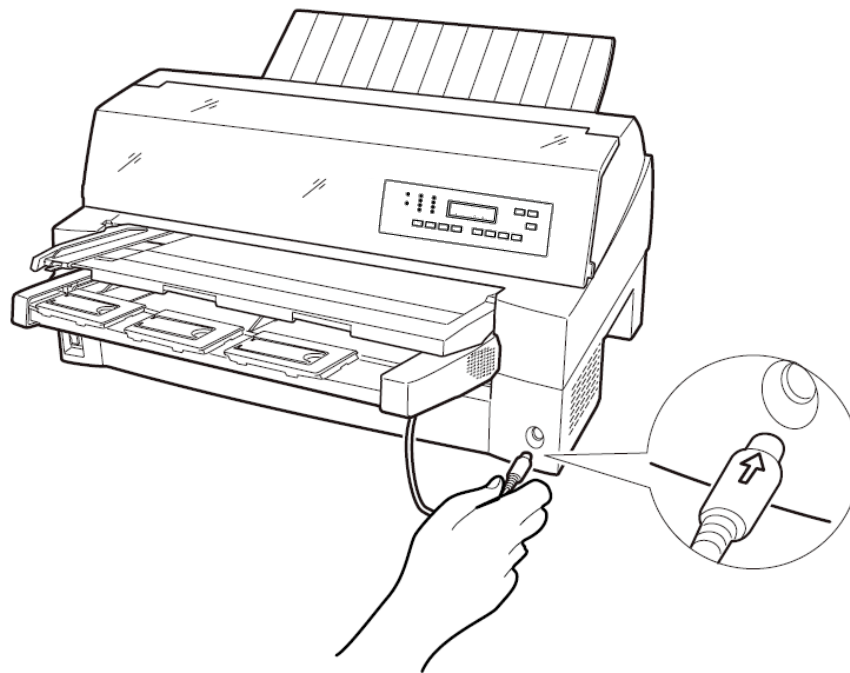


4 単票テーブルを元に戻す

確実に単票テーブルを戻してください。(「2.4 単票テーブルのセット」参照)
単票テーブルのセットが正しくないと、用紙づまりの原因となります。

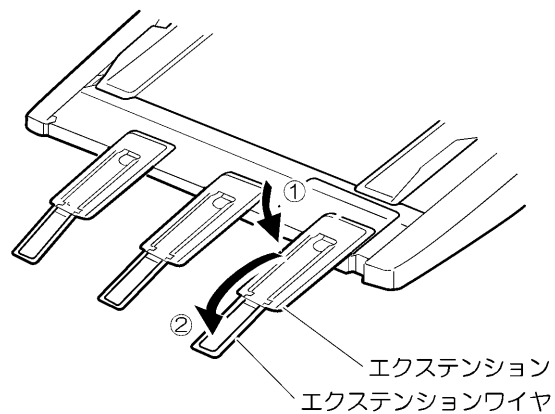
5 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるフロントカットシートフィーダコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



6 エクステンション、エクステンションワイヤをセットする

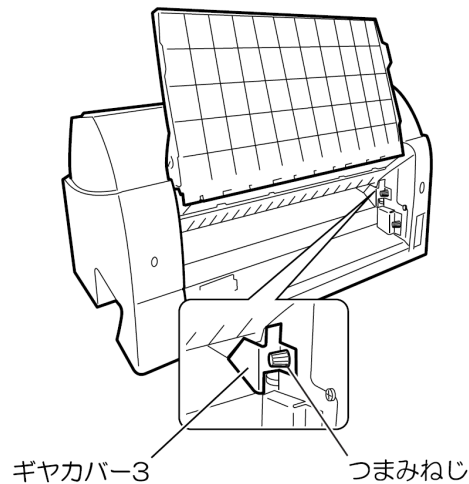
使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に開きます。



2.10.2 プリンタ後部に取り付ける

プリンタ後部は、カットシートフィーダとトラクタユニットの同時搭載が可能です。
 カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

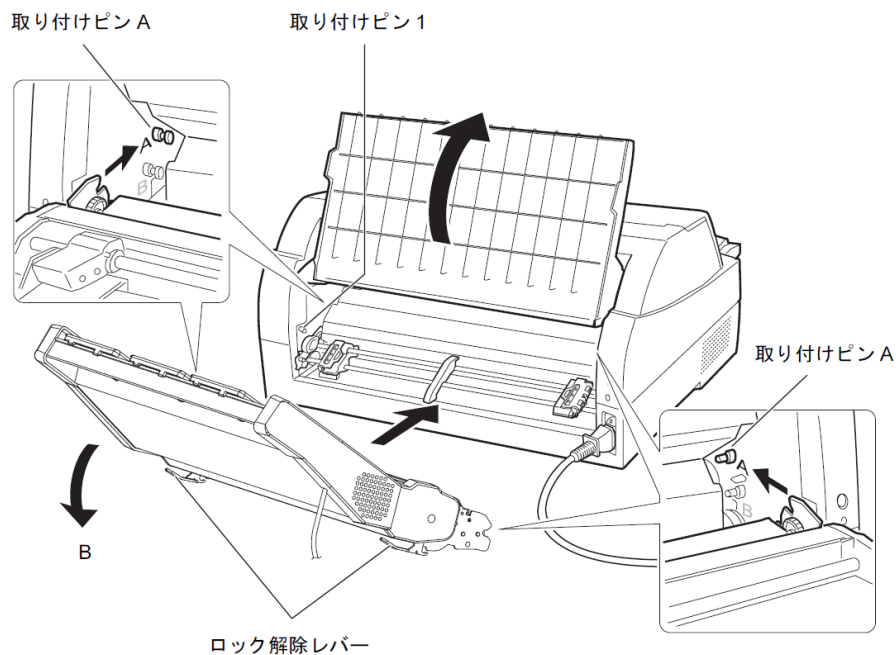
- 1 プリンタの電源を切る
 電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。
- 2 つまみねじをはずして、ギヤカバー3を取りはずします。



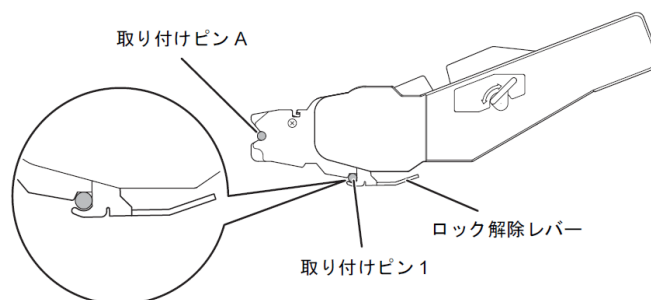
3 カットシートフィーダを取り付ける

リアスタッカを開きます。

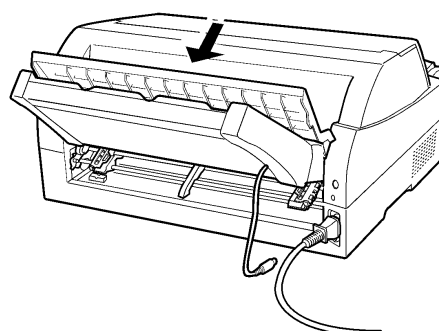
カットシートフィーダの両側のロック解除レバーを押さえて、カットシートフィーダの両側にある U 溝を、プリンタの奥にある取り付けピンに差し込みます。カットシートフィーダのラベル A をプリンタ側の刻印 A に合わせて差し込みます。そのまま取り付けピンを支点にして、矢印 B の方向に回転させるように下ろし、両側のロック解除レバーを離します。片側だけ取り付けが正しくできなかった場合は、再度ロック解除レバーを押さえて取り付け直してください。



図のように、取り付けピン 1 にカットシートフィーダのロック解除レバーが取り付けられたことを確認してください。

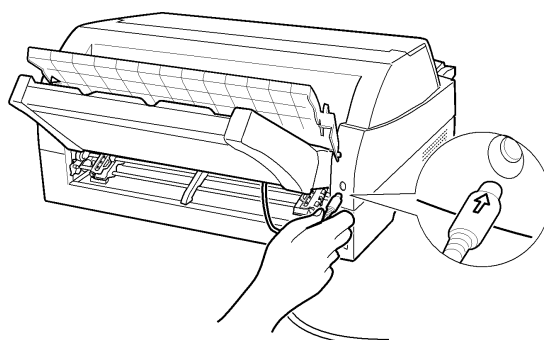


4 リアスタッカを閉じる



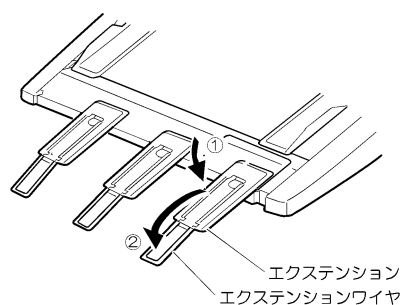
5 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面向かって右側にあるリアカットシートフィーダコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



6 エクステンション、エクステンションワイヤをセットする

使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に開きます。



2.11 カットシートフィーダを取りはずす

カットシートフィーダを取りはずすときは、ケーブルを抜いてから取りはずしてください。

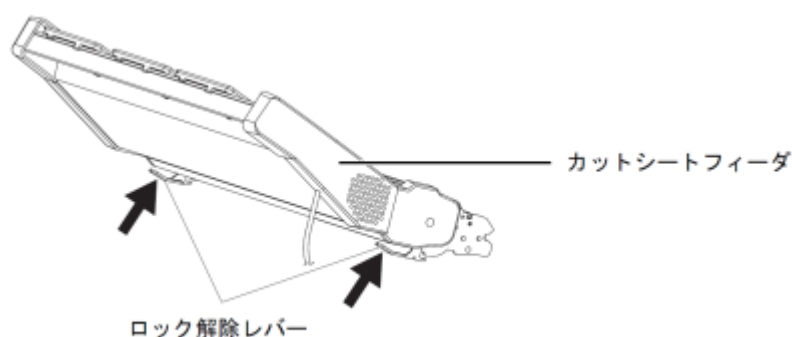
▲警告



感 電

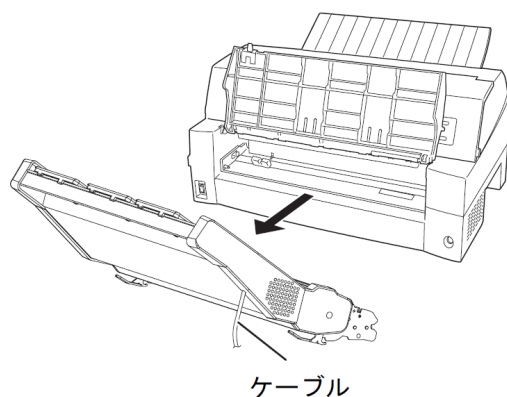
カットシートフィーダを取り付けたり、取りはずしたりするときは、必ず本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

- 1 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。
- 2 カットシートフィーダのケーブルを抜く
- 3 カットシートフィーダの両側のロック解除レバーを押さえる

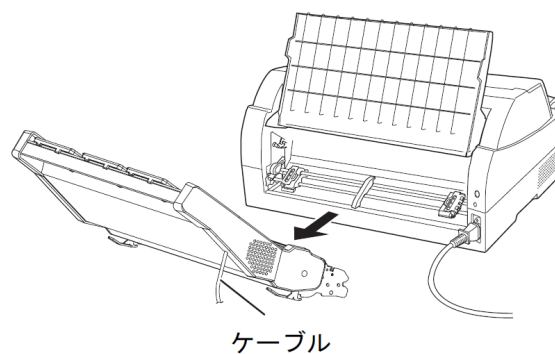


- 4 カットシートフィーダを取りはずす

■ プリンタ前部に取付けた場合



■ プリンタ後部に取付けた場合



※前部の場合は添付のギヤカバー1を取り付けます（P41「前側のトラクタユニットの場合」参照）

※後部の場合はカットシートフィーダを取り付けたときにはずしたギヤカバー3を取り付けます

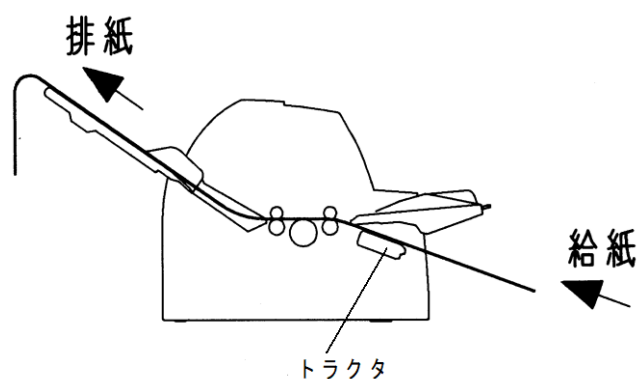
2.12 トラクタユニットの位置を決める



ガイド

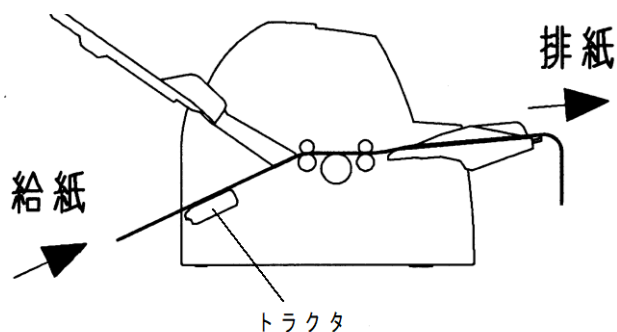
本プリンタは前後共通の着脱式トラクタを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクタの前後の位置を選択して使用できます。工場出荷時は前側に搭載されていますが、必要に応じて後ろに付け替えてご使用ください。なお、オプションのセカンドトラクタ（VSP2740BT）を追加すれば、前後にトラクタを取り付けて使用することができます。

◆ トラクタを前に搭載したときの給紙/排紙方向



手前側より連帳用紙を交換することができ、頻繁に用紙を交換する業務に適しています。

◆ トラクタを後ろに搭載したときの給紙/排紙方向



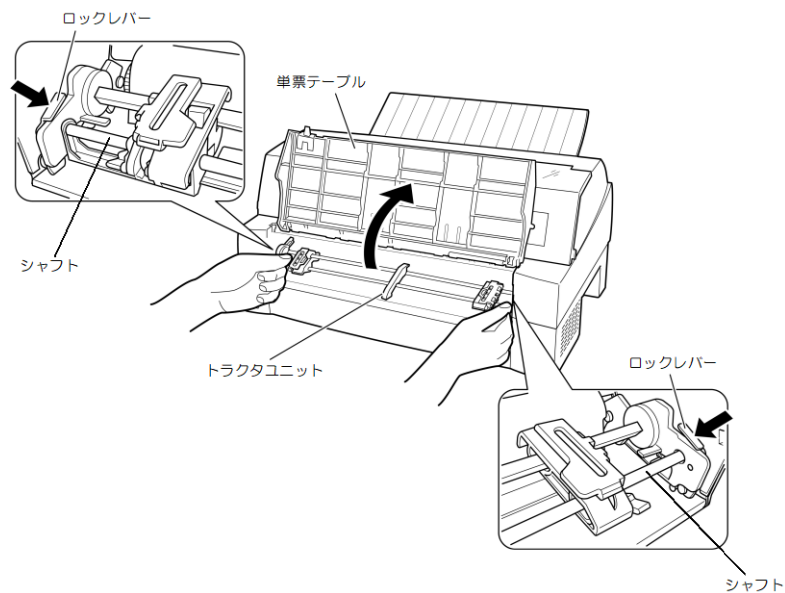
手前側で用紙のカットが行いやすく、頻繁に用紙をカットするような業務に適しています。用紙のカット方法は「4.4 連続帳票用紙をカット位置に送る」を参照してください。

2.12.1 トラクタユニットの着脱について

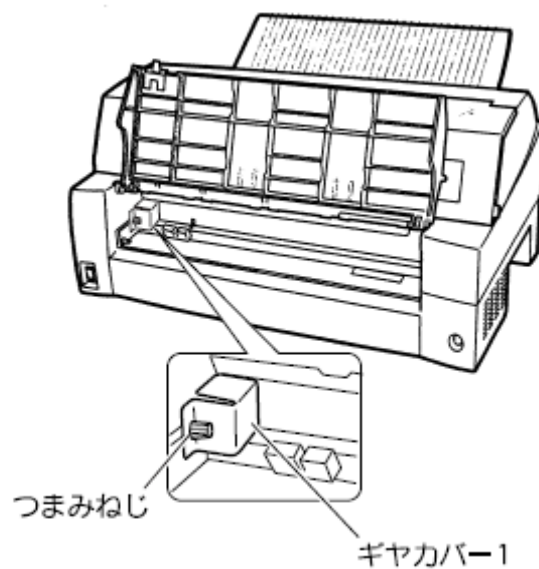
◆ 前側のトラクタユニットの場合

【取りはずし方】

- 1 単票テーブルを開く（「2.5 単票テーブルの取り扱いについて」参照）
- 2 トラクタユニットの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタユニットを上方に持ち上げてはずす

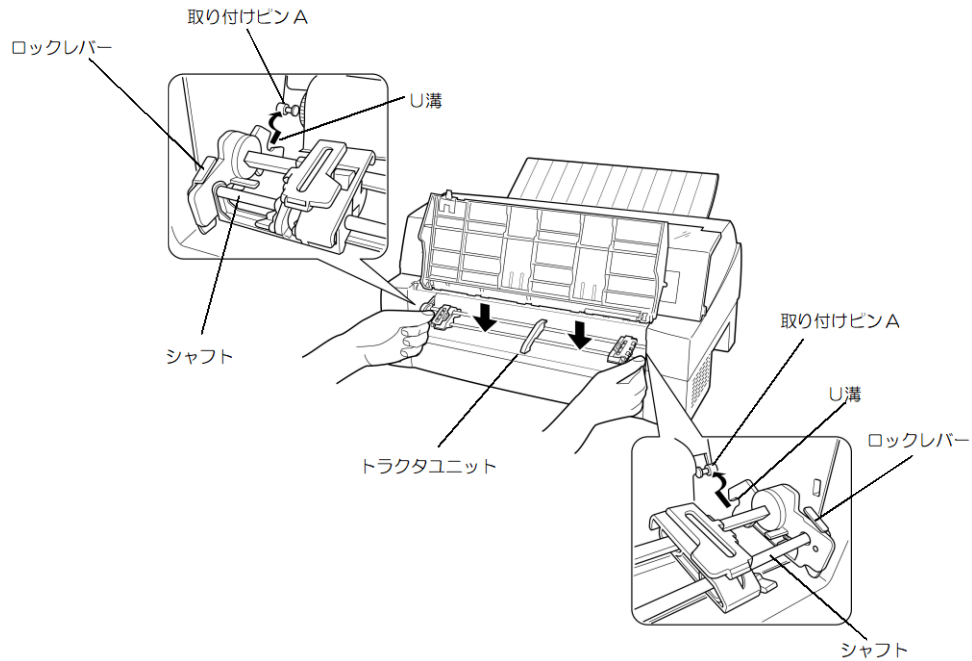


- 3 添付品のギヤカバー1をつまみねじで取り付ける

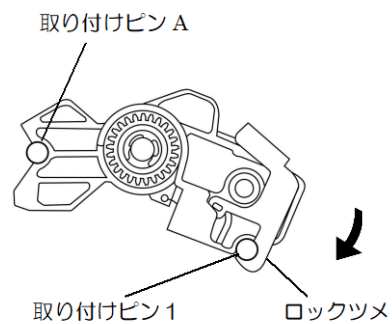


【取り付け方】

- 1 ギヤカバー1 が取り付けられている場合は、つまみねじをはずしてから取りはずす
(はずしたギヤカバーは大切に保管してください)
- 2 トラクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンAに合わせる
- 3 トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックする
(押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください)



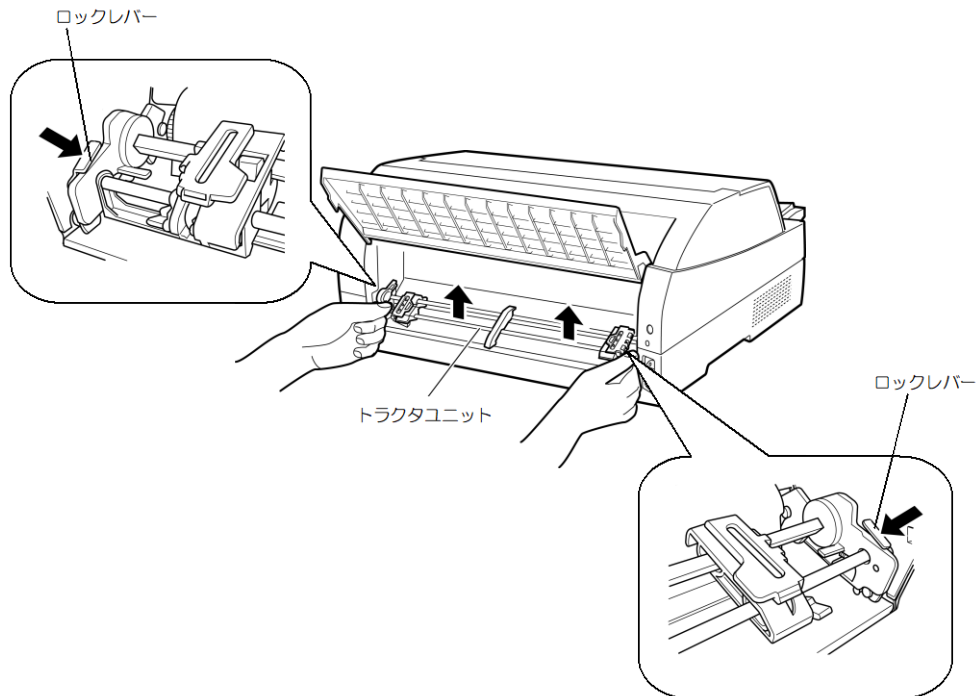
- 4 下図のように取り付けピン1にトラクタユニットの左右のロックツメがしっかりかかっていることを確認する



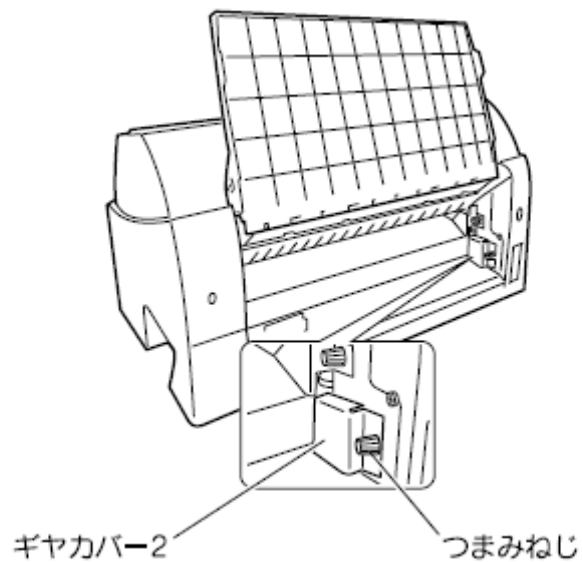
◆ 後側のトラクタユニットの場合

【取りはずし方】

- 1 トラクタユニットの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタユニットを上方に持ち上げてはずす

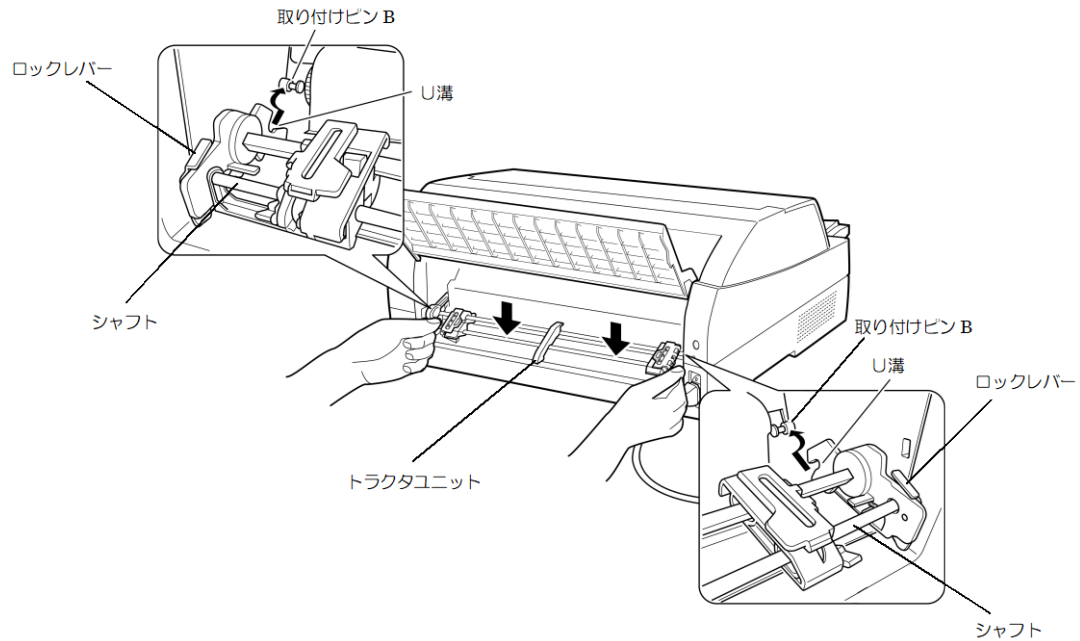


- 2 トラクタユニットを取り付けるときにはずしたギヤカバー-2をつまみねじで取り付ける

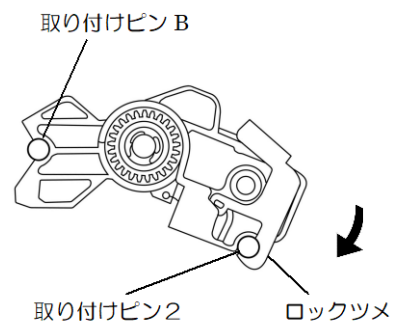


【取り付け方】

- 1 ギヤカバー2が取り付けられている場合は、つまみねじをはずしてから取りはずす
(はずしたギヤカバーは大切に保管してください)
- 2 トラクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンBに合わせる
- 3 トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックする
(押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください)



- 4 下図のように取り付けピン2にトラクタユニットの左右のロックツメがしっかりかかっていることを確認する



2.13 電源の投入と切断

プリンタの電源の入れ方と切り方について説明します。

2.13.1 電源を入れる

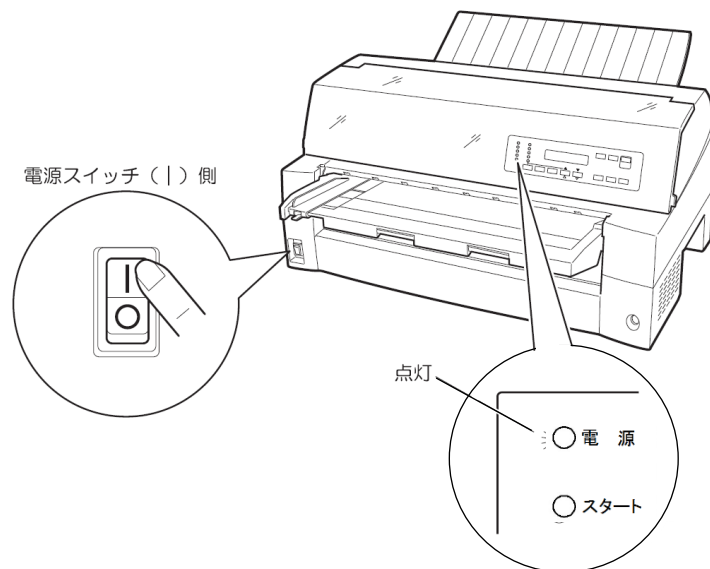
お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取りはずしてあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

プリンタの前面にある電源スイッチを（|）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。



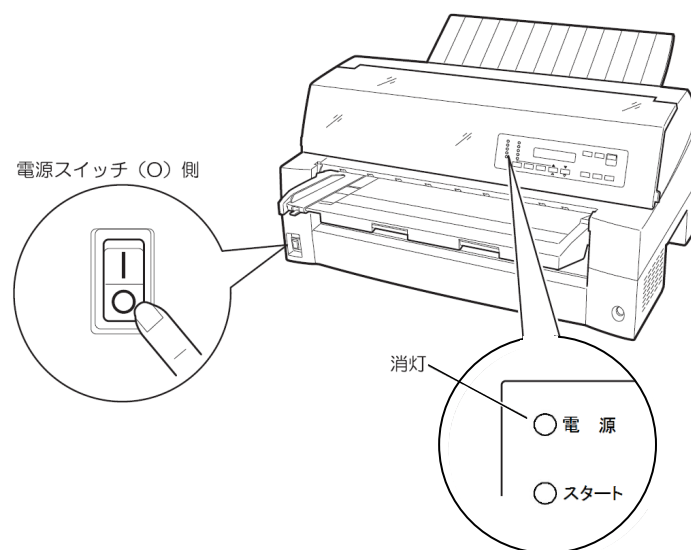
2.13.2 電源を切る

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源コンセントを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4 秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。



第3章 機能と設定

3.1 操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは、操作に必要なスイッチ（SW）、ランプ（LED）および液晶ディスプレイ（LCD）で構成されています。

液晶ディスプレイには、装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます。

3.1.1 操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図 3.1 に示します。

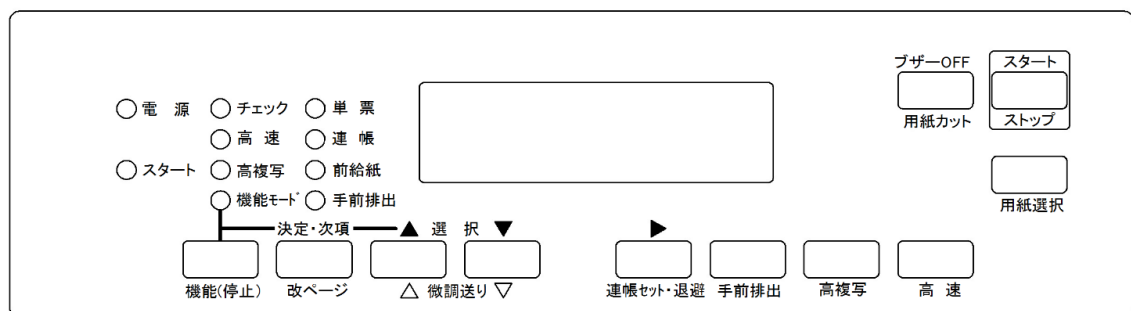


図 3.1 操作パネルの配置

3.1.2 操作パネルの機能

操作パネルの機能について、以下に説明します。

(1) スタート/ストップ（スイッチとランプ）

- 本スイッチは、押すたびにオフライン→オンライン→オフライン→・・・に遷移し、オンライン状態では、「スタート」ランプが点灯します。ただし、「チェック」ランプが点滅している場合は、チェック要因のリセットを行います。
- 印刷動作中に本スイッチを押すと、現在印刷中の行または次行の内容を完全に印刷後、停止します。停止した後に、オフライン状態になります。サポートサーバ設定が PrintWalker の時、印字データを装置内に保持している場合は、LCD に印字データが残存している旨の表示を行います。このとき、装置内の用紙長に影響を及ぼさない【微調送り△/▽】【改ページ】【高速】【高複写】スイッチは有効ですが、その他のスイッチは無効です。
- 「スタート」ランプが消灯する要因は、以下の通りです。
 - ・【スタート/ストップ】スイッチを押したとき
 - ・チェック要因発生
 - ・停止タイムアウト（サポートサーバ設定が PrintWalker 時を除く）
 - ・セットアップの起動
- 単票が選択されている場合（「単票」ランプ点灯状態）は、印刷データ/改行オーダの受信タイミングで吸入動作を行います。
- 連帳が選択されている場合（「連帳」ランプ点灯状態）は、装置内に用紙が無ければ、連帳用

紙の吸入動作を行います。

- プリンタまたは印字ヘッドが寿命になると、電源投入後最初のオンライン状態で、「スタート」ランプが約 10 秒間点滅します。（担当営業または保守員に連絡してください）

(2) 高速（スイッチとランプ）

- 本スイッチを押すたびに印字速度が、高速→通常→高速→・・・に切り替わります。高速モード時は「高速」ランプが点灯します。
- 高速モードでは、ドットの間引き印字により、印字速度を速くします。
- 本スイッチは、オンライン／オフライン状態で有効です。

(3) 高複写（スイッチとランプ）

- 本スイッチを押すたびに複写濃度が、高複写→通常→高複写→・・・に切り替わります。高複写モード時は「高複写」ランプが点灯します。
- 高複写モードでは、印字ヘッドのインパクト力を上げることにより、複写用紙での複写濃度をアップします。本モードでは、通常モードに比べ、印字速度が遅くなります。
- 本スイッチは、オンライン／オフライン状態で有効です。

※高速と高複写は下記のように組み合わせて使用することができます。

（●が点灯で、○が消灯を示します）

モード	高速ランプ	高複写ランプ
通常	○通常	○通常
高速	●高速	○通常
通常+高複写	○通常	●高複写
高速+高複写	●高速	●高複写

(4) 用紙選択（スイッチとランプ）

- 前連帳→後連帳→前単票（手差し、前カットシートフィーダ）→後単票（後カットシートフィーダ）の順で用紙（給紙口）を選択します。選択されている用紙（給紙口）は、下記のランプで表示します。（●が点灯で、○が消灯を示します）

用紙選択 （給紙口）	『前連帳』	『後連帳』	『前単票』	『後単票』
ランプ状態	○単 票 ●連 帳 ●前給紙	○単 票 ●連 帳 ○前給紙	●単 票 ○連 帳 ●前給紙	●単 票 ○連 帳 ○前給紙

- 『後単票』は後カットシートフィーダ搭載時のみ選択可能となります。
- 『前連帳』は前カットシートフィーダ搭載時には選択できません。
- 【用紙選択】スイッチを押すと、現在の選択用紙を除去（連帳は退避、単票は排出）し、続けて【スタート/ストップ】スイッチを押すことにより、選択された用紙を吸入します。なお、連帳が 22 インチ退避動作を行ってもプリンタ内に残った場合、LCD に“ER10-01：ヨウシツ” マリ”と表示されます。
この場合、残った連帳用紙を取り除き、【スタート/ストップ】スイッチを押して、オフライン状態にしてから、【用紙選択】を行ってください。
- 単票はホスト側の指示で自動給紙ありを選択している場合に、カットシートフィーダから印字・改行オーダを受信してから吸入します。自動給紙なしの場合は、吸入指示を受信してから吸入します。
- 手差し口からの吸入は、ホスト側からの指示に依存し、操作パネルからは選択できません。
- 本スイッチは、オフライン状態で印字データを保持していない場合のみ有効です。

(5) 用紙カット／ブザーOFF（スイッチ）

- 用紙カット動作は連帳選択時で、停止状態またはオフライン状態で有効です。
- 用紙カット動作は、連帳用紙をカット位置まで送ります。再度押すと元の位置に戻します。

- ブザー鳴動時、本スイッチを押すとブザー音が停止します。

(6) 連帳セット・退避、▶（スイッチ）

- 連帳選択時で、ヘッド位置に用紙がある場合に用紙後退動作を行い、用紙がない場合は用紙セット動作を行います。
- 本スイッチは、オフライン状態で印字データを保持していない場合のみ有効です。
- 本スイッチは、単票選択時は動作しません。
- 連帳が 22 インチ退避動作を行ってもプリンタ内に残った場合、LCD に“ER10-01：ヨウシツ マリ”と表示されます。
この場合、残った連帳用紙を取り除き、【スタート/ストップ】スイッチを押して、エラーを解除してください。
- 「▶」は、セットアップモード時、アドレスの桁移動を行います。

(7) 微調送り△/▽、選択▲/▼（スイッチ）

- 用紙セット時に、用紙の先頭を合わせるときに使用します。
- 本スイッチで用紙の位置調整を行っても、プリンタの電源再投入でクリアされます。
- 本スイッチは以下の場合に有効です。
 - ・オフライン状態
 - ・用紙なし状態
 - ・停止状態（サポートサーバ設定が PrintWalker 時を除く）
- 前連帳選択時、【微調送り△】スイッチを押し続けると、最初は微小に改行を行い、次第に改行ピッチを増やし、改行速度が速くなります。【微調送り▽】スイッチは一定です。また、後連帳選択時はこれらの逆の動作を行います。
- 機能モード時は、設定値の変更を【選択▲/▼】スイッチにより行います。

(8) 改ページ/決定・次項（スイッチ）

- 連帳選択時に、用紙あり時は 1 回の操作で、印刷位置を次ページの第 1 行、左マージン位置に移動します。用紙なし時は、【用紙セット】スイッチと同様に吸入動作を行います。
- 単票選択時は、現在の単票を排出します。
- サポートサーバが PrintWalker で未印刷データが装置内にある場合は、未印刷データは消去されます。
- 機能モード時は、項目の選択、設定値の決定を行います。

(9) 手前排出（スイッチとランプ）

- 単票（手差しロ/カットシートフィード）の排出方向を手前に設定します。手前排出設定時は、「手前排出」ランプが点灯します。
- 本スイッチは、単票選択時のみ有効です。
- オフライン状態で、印字データを保持していない場合のみ有効です。

(10) 機能（停止）（スイッチとランプ）

＜サポートサーバ設定が 6680-NMC、HOST PRINT の場合＞

- オンライン状態では、停止状態に遷移します。LU タイプ 1 時は、「機能モード」ランプが点滅し、PA キー画面に遷移します。また LU タイプ 3 時は、「機能モード」ランプが点灯し、ペーパージャスト画面に遷移します。この状態が 10 分間以上継続すると、オフライン状態となり、ティンタイムアウト画面に遷移します。
- オフライン状態では、機能設定を行います。このとき、各種設定で使用する機能には、「決定・次項」、【選択▲/▼】スイッチ、“テストインジ”での【スタート/ストップ】スイッチ以外は無効となります。
連帳/単票のモードごとに独自に設定可能です。
印字データを保持していないときのみ有効です。
電源投入時は、セットアップ値が設定されます。

＜サポートサーバ設定が PrintWalker の場合＞

- オンライン状態では無効です。
- オフライン状態では、機能設定を行います。このとき、各種設定で使用する機能には、「決定・次項」、【選択▲／▼】スイッチ、“テストインジ”での【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります。

連帳／単票のモードごとに独自に設定可能です。

印字データを保持していないときのみ有効です。

電源投入時は、セットアップ値が設定されます。

なお機能モードの内容については、「3.3.2 印刷設定（機能モード）」を参照してください。

(11) 電源ランプ（ランプ）

- 電源投入状態で点灯します。

(12) チェック（ランプ）

- 本装置に何らかの操作・介入が必要なときに点滅します。

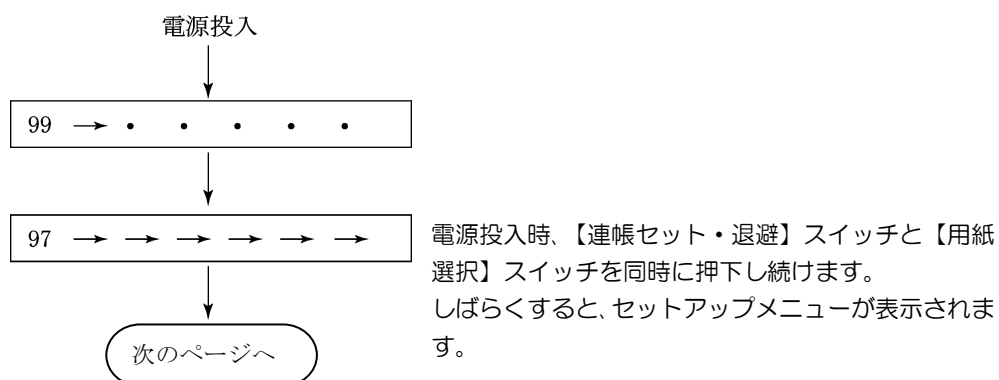
3.2 セットアップ

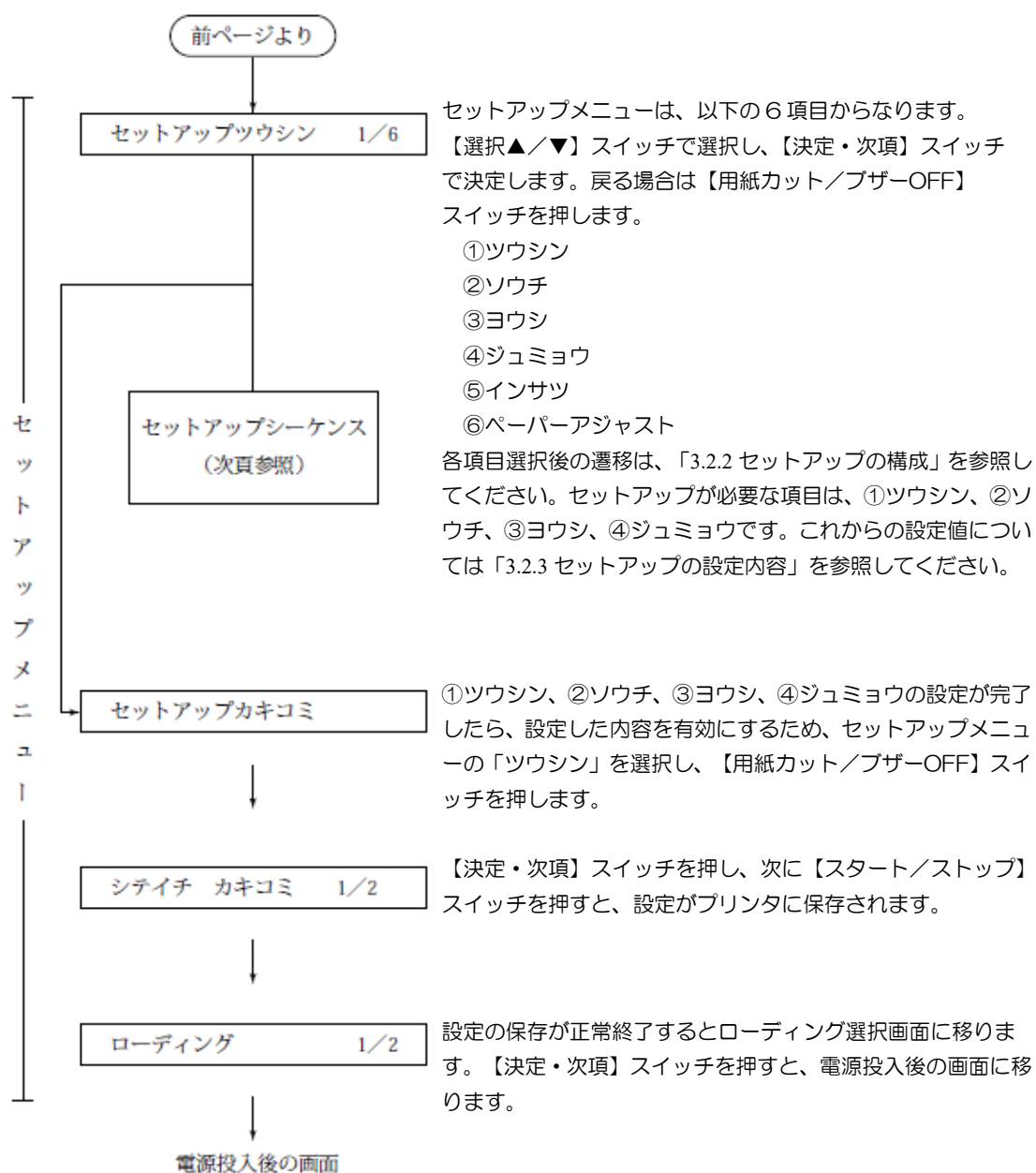
本装置は、導入する LAN 環境やシステム接続形態に応じたセットアップが可能です。セットアップの手順と、セットアップの構成およびセットアップの設定内容を説明します。

3.2.1 セットアップの手順

セットアップは操作パネルを使ってプリンタの各種設定を行います。

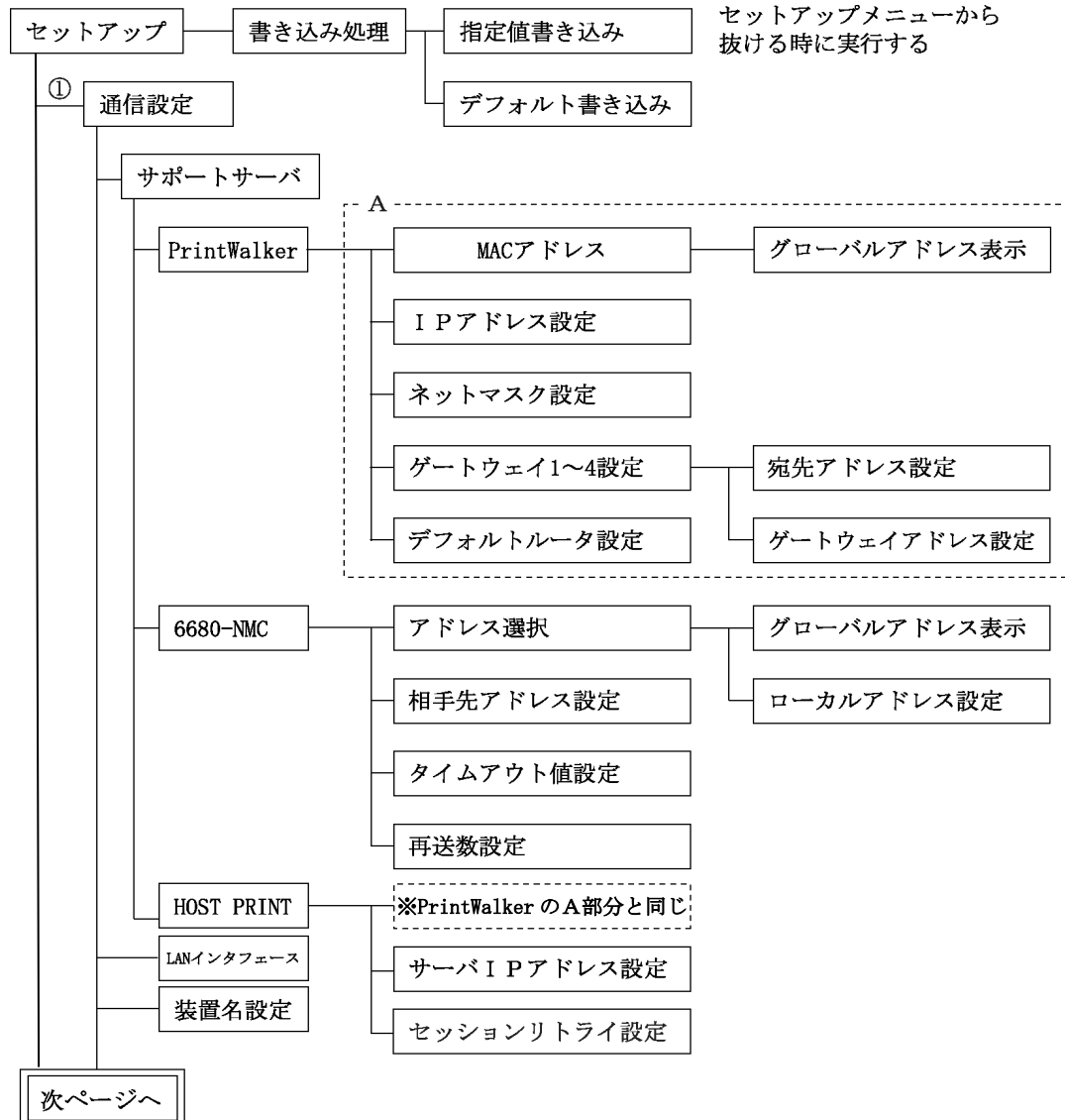
セットアップの操作手順と LCD の表示内容を以下に示します。

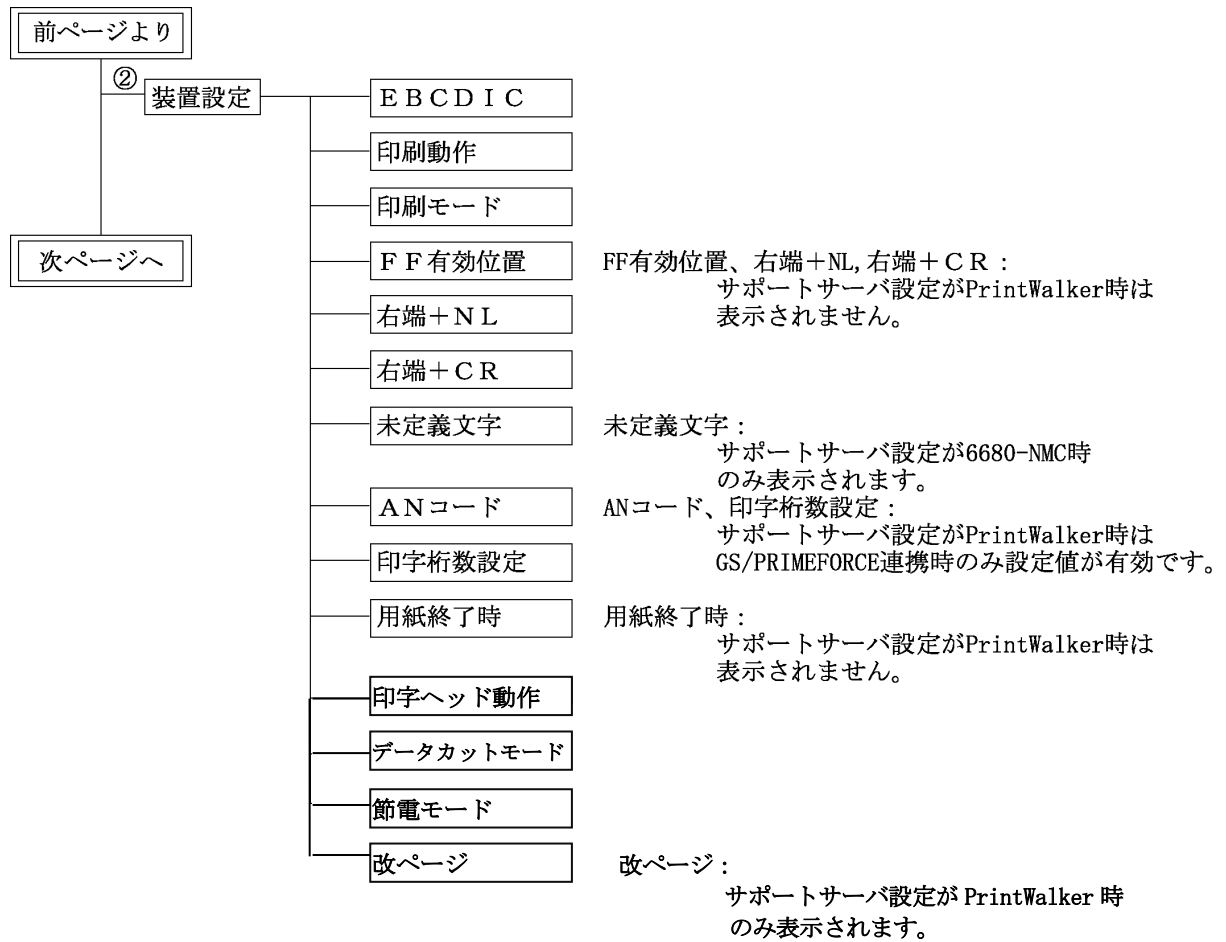


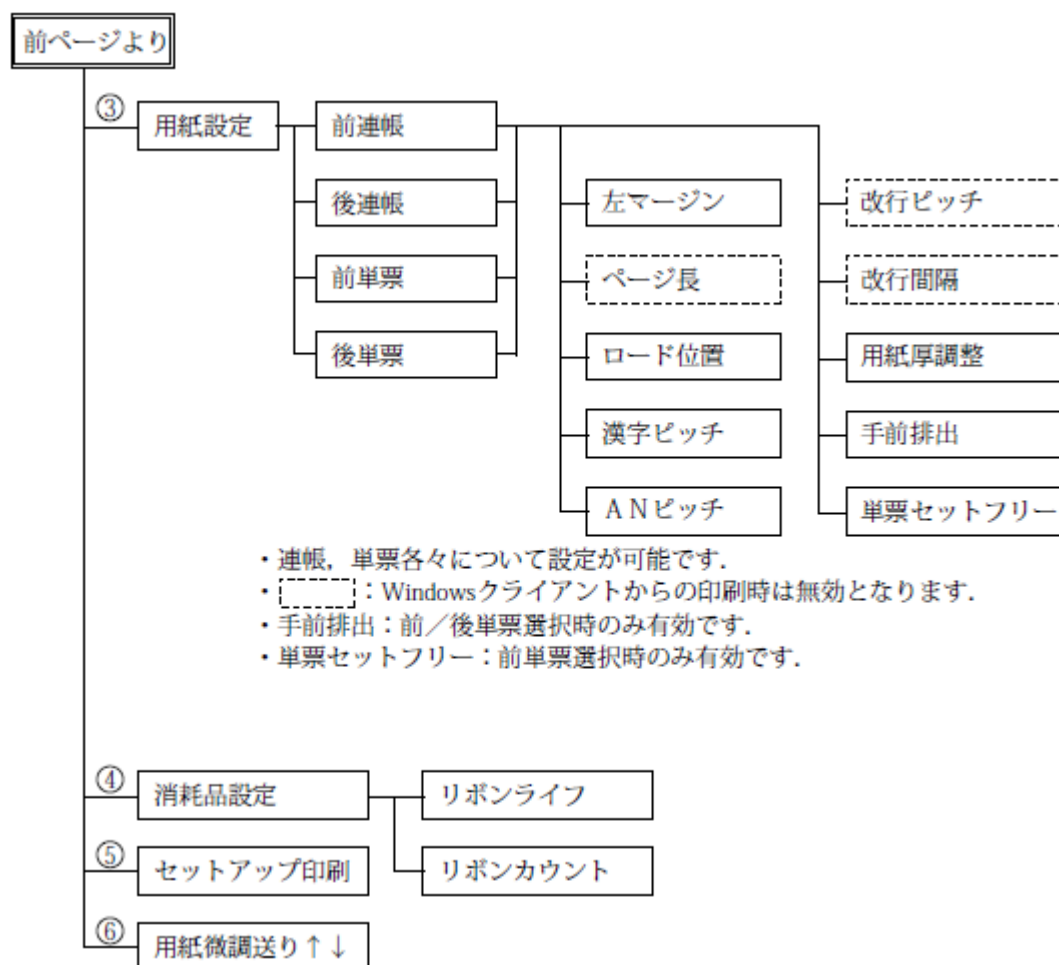


3.2.2 セットアップの構成

以下にセットアップメニューのツリー構成を示します。







3.2.3 セットアップの設定内容

セットアップメニューの設定内容を表 3.1 に示します。

項目の選択と設定の変更は【▲】【▼】スイッチを押し、桁の移動は【▶】スイッチを押します。

そして、決定は【決定・次項】スイッチを押すことで行います。また、戻る場合は【用紙カット／ブザーOFF】スイッチを押します。

まず、現在の設定情報を印刷して確認します。セットアップメニューの「インサツ」（「3.2.1 セットアップの手順」参照）を選択し、セットアップ印刷画面に入ります。【用紙選択】スイッチを押して、選択した給紙口に用紙をセットしてから【スタート／ストップ】スイッチを押すと、現在の設定情報を印刷します。（図 3.2 参照）

現在の設定情報と実際の使用環境とを比較して、セットアップの設定内容を変更する必要があります。表 3.1 を見ながら、セットアップメニューで使用環境に応じた設定値に変更してください。

なお、設定変更を行った後は、「セットアップカキコミ」を選択して、設定した値をプリンタに保存してください。

表 3.1 セットアップ設定内容（続く）

	セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考
		初期値	設定可能値	
①通信設定（LAN関連の設定）	1 サポートサーバ設定	PrintWalker	PrintWalker/ 6680-NMC/HOST PRINT	本機能でのみ 設定可能
	2 LAN インタフェース	オート	オート/100M/10M 注1)	同上 注2)
	3 装置名設定	VSP2750C-XXXX XX (MAC アドレス)	“-” (ハイフン), “0” ~ “9”, “A” ~ “Z”, “_” (アンダーバー), “a” ~ “z” 上記文字を用いて 45 文字以内が入力可能	同上 (文字の変更 は【▲/▼】ス イッチ、桁の 移動は【▶】 と【機能】ス イッチ)
	サポートサーバが PrintWalker、HOST PRINT の場合			
	4 MAC アドレス	グローバルアドレス	グローバルアドレス	表示のみ
	5 IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	本機能でのみ 設定可能
	6 ネットマスク設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	7 ゲートウェイ 1~4 設定 (宛先アドレス)	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	8 ゲートウェイ 1~4 設定 (ゲートウェイアドレス)	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	9 デフォルトルータ設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	10 サーバ IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上 注3)
	11 セッションリトライ設定	0 回	XX : 0~10 回	同上 注3)

表 3.1 セットアップ設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考
			初期値	設定可能値	
①通信設定（LAN関連の設定）	サポートサーバが 6680-NMC の場合				
	12	アドレス選択	グローバルアドレス	グローバルアドレス/ ローカルアドレス	本機能でのみ 設定可能
	13	ローカルアドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX ビット 2 ¹ , 2 ⁰ は B '10' 固定	同上
	14	相手先アドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX	同上
	15	タイムアウト値設定	2 秒	XX.X : 0.1~25.5 秒	同上
	16	再送数設定	7 回	XX : 1~15 回	同上

注1) 「オート」を設定した場合は1000Mbps、100Mbps、10Mbpsのいずれかのネットワーク機器と接続します。

注2) 本装置のデータレート固定設定は、半二重（Half）のみサポートしています。お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は、プリンタに合わせて半二重（Half）に設定してください。（本装置とスイッチングハブともに“オート”設定を推奨します。）

注3) サポートサーバ設定がPrintWalkerのとき、本設定はセットアップメニューとして表示されません。

表 3.1 セットアップ設定内容（続く）

	セットアップ 情報種類	設定内容		有効 サポートサーバ	印刷機	意味	備考
		初期値	設定可能値				
② 装置設定	1 EBCDIC フォント	標準	標準/OCR-B	すべて	66XX	1 バイト文字の パターンの選択	・ 69XX はホスト 指定 ・ 66XX は本機能 でのみ設定可能
	2 印刷動作で JEF コードの サポートの有 無	JEF & AN	JEF & AN/ AN	すべて	66XX	JEF & AN: JEF コード有効(日本 語有効) AN: JEF コード 無効	・ 66XX は本機能 でのみ設定可能 ・ 富士通メインフ レームでのみ有 効
	3 印刷モード	通常	通常/高速 /通常+高複写 /高速+高複写	すべて	66XX		・ 69XX はホスト 指定 ・ 操作パネルから 設定可能
	4 FF 有効位置	ANY	ANY/FIRST	6680-NM C HOSTPRIN T	66XX	ANY:いつでも有 効 FIRST:行先頭で のみ有効 (FF:改ページ指 定)	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ 富士通メインフ レームでのみ有 効 ・ LUタイプ3のみ 有効
	5 右端+NL	2LF	2LF/1LF	6680-NM C HOSTPRIN T	66XX	印字桁が右端ま で来た後の NL (改行指定)の紙 送り量選択	同上
	6 右端+CR	1LF	1LF/OLF	6680-NM C HOSTPRIN T	66XX	印字桁が右端ま で来た後の CR (印字指定)の紙 送り量選択	同上
	7 未定義 JEF コ ード	〇〇〇	〇〇〇/HEX	6680-NM C	66XX	〇〇〇:空白 HEX:16進数印 刷 未定義日本語文 字の文字パター ンの扱い	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ 富士通メインフ レームでのみ有 効 注4)
	8 AN コード設定	〇〇〇	〇〇〇(〇付き) 〇〇〇(〇無し) ASCII (EBCDIC ASCII) US (US ENGLISH)	すべて	66XX	EBCDIC (1 バイ ト系) コード表の選択	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ 富士通メインフ レームでのみ有 効
	9 印刷桁数設定 (10cpi 時)	136 桁	136 桁/132 桁/ 桁長無制限	すべて	66XX	右端の設定。 136/132 桁設 定では、桁越えで 自動復改する。 桁長無制限では、 桁越えで文字を 捨てる。	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ 富士通メインフ レームでのみ有 効 注5)
	10 用紙終了時の 中断/継続	中断	中断/継続	6680-NM C HOSTPRIN T	66XX	用紙無しをホス ト側に通知する 場合の状態の違 い 中断:装置はオフ ライン 継続:装置はオン ライン	・ 本機能でのみ設 定可能 ・ 富士通メインフ レームでのみ有 効 ・ LUタイプ3のみ 有効
	11 印字ヘッド 動作方向設定	両方向	両方向/片方向	すべて	66XX 69XX	印刷動作をする 方向を指定する	注6)
	12 データカット モード	オフ	オフ/オン	すべて	66XX 69XX	用紙幅を超えた データの印字を カット	注7)
	13 節電モード設 定	5 分	1~239 分	すべて	66XX 69XX	アイドルから節 電モードに移行 するまでの時間 の設定	
	14 改ページスイ ッチの紙送り 量設定	パネル	パネル/ホスト	PrintWalker	66XX 69XX	印刷終了後の【改 ページ】スイッチ での動作量	注8)

表 3.1 セットアップ設定内容（続く）

セットアップ 情報種類		設定内容		意味	備考	
		初期値	設定可能値			
③ 用紙設定	連帳、単票の各々について有効。(【用紙選択】スイッチで選択している用紙の設定を行う)					
	1	左マージン	1	1~99 カラム	1 行の桁方向の印刷開始位置を桁 (AN10cpi) で設定	・ 操作パネルから設定可能
	2	ページ長	66	1~99 行	1 ページの行数設定 改行ピッチとの積がページ長 ・ 操作パネルから設定可能	・ 操作パネルから設定可能 ・ ホスト指定が優先される
	3	ロード位置	単票 7.6mm 連帳 6.4mm	2.0~38.0mm (0.2mm ごとに設定可能)	【用紙セット】スイッチによる用紙ロード時の用紙先端から 1 行目文字中心までの距離	・ 操作パネルから設定可能
	4	漢字ピッチ設定	1/5"	1/5" (5cpi) 1/6" (6cpi) 3/20" (6.7cpi)	漢字文字の桁方向の幅を示す。 文字の大きさは 10 ポ相当で同一。	・ 操作パネルから設定可能 ・ ホスト指定が優先される
	5	ANピッチ設定	1/10"	1/10" (10cpi) 1/12" (12cpi) 3/40" (13.3cpi) 1/15" (15cpi)	AN 文字の桁方向の幅を示す。	同上
	6	改行ピッチ設定	6lpi	6lpi/8lpi	1 行分の紙送り動作量 (改行) の設定	同上
	7	改行間隔	1LF	1LF/2LF	1LF: 通常の改行動作 2LF: 1 回の改行動作を 2 倍にする	・ ホスト指定が優先される ・ 操作パネルから設定可能 ・ 富士通メインフレームでのみ有効
	8	用紙厚調整	自動	自動/1~9、A~D	用紙厚さに応じた設定 詳細は、「4.2 用紙厚を調整する」を参照	・ 操作パネルから設定可能
	9	手前排出 (注 9)	オフ	オフ/オン	手差し口吸入した単票用紙の排出方向指定 オン: 手前 (手差し口) オフ: 後方 (リアスタック)	・ 本機能でのみ設定可能 ・ 単票選択でのみ有効
10	単票セットフリー	オン	オン/オフ	単票セット位置を任意か、固定位置かを選択 ・ オン: 任意の位置 ・ オフ: 固定位置	・ 本機能でのみ設定可能 ・ 前単票選択でのみ有効	
④ 消耗品	1	リボンライフ (注 10)	1500 万字	50 万~1500 万字 (5 万単位)	インクリボンの交換時期を通知 (液晶ディスプレイに "※" 表示) する 周期の設定	・ 本機能でのみ設定可能
	2	リボンカウント	00000 00000 文字	現在のリボンカウント値を表示	インクリボンの使用量を示す	・ 操作パネルからも確認可能
⑤ セットアップ印刷	セットアップ印刷	—	—	現在のセットアップ情報を連帳/単票用紙に印刷	【用紙選択】スイッチを押すことで給紙口 (前/後連帳、前/後カットシートフィーダ) 切替可能 (注 11)	
⑥ 用紙微調送りの	用紙微調送り	—	—	【微調送り△/▽】スイッチを押すことで連帳用紙を微調送り可能		

- 注4) サポートサーバ設定が PrintWalker、HOST PRINT の時、本設定はセットアップメニューとして表示されません。(常時空白設定)
- 注5) 富士通メインフレーム連携時、“136 桁” に設定すると、136 桁を超えたデータは次行に印字します。“桁長無制限” に設定すると、136 桁を超えたデータは印字しません。
- 注6) プリンタ内蔵フォントで印刷した場合、「片方向」設定にしても「両方向」で作動します。ただし、縦倍角文字や縦罫線接続など、1 回の印刷動作で印字完了できない部分においては、「片方向」で動作します。
- 注7) データカットモードオンの時、用紙の左右端面から 10mm 内の領域にある印字データを自動的にカットします。
- ・プリンタにセットされた用紙の幅を超えた印字データを受信した時
 - ・用紙のセット位置が合っていない時
- ただし、カットシートフィーダ使用時は、データカットモードオンの場合でも 114 桁を超える用紙（約 A4 横以上の単票）では、用紙右側の印字はカットされませんので、注意してください。
- 注8) 【改ページ】スイッチの紙送り量について
サポートサーバ設定が PrintWalker のとき、本設定はセットアップメニューとして表示されます。【改ページ】スイッチを押した時の紙送り量は、印刷データを受信している状態ではホスト指定に従ったページ長であり、印刷終了後はプリンタに設定されたページ長となります。印刷終了後もホスト指定に従ったページ長で改ページ動作を行う場合には、本設定値を「ホスト」に変更してください。
- 注9) 単票用紙の排出方向を設定します。
- 「オン」に設定すると、排出方向は手前になり、手差し口に排出されます。
 - 「オフ」に設定すると、本装置後方のリアスタッカへ排出されます。
- 注10) 本装置には、インクリボンの交換時期を通知する機能（液晶ディスプレイに“*”を表示）があります。
工場出荷時は、インクリボン寿命の仕様値が設定されていますが、お客様の運用によって交換時期を変更することができます。
- ・印刷結果を常に濃い状態でインクリボンを交換する場合、交換時期を小さい値に設定
- 注11) 連帳用紙にセットアップ印刷する場合は、幅 15 インチの用紙をセットして使用してください。
単票用紙にセットアップ印刷する場合は、A4 用紙を縦にセットして使用してください。

セットアップ印刷 印刷結果例

VSP2750C セットアップ印刷						
☐	装置名設定	: VSP2750C-xxxxxx			☐	
☐	シリアルN0	: 123456789012			☐	
☐	システム版数	: ExxVxxLxx			☐	
☐	拡張印刷機構	: なし			☐	
☐	69XX 互換モード補正	: オフ			☐	
☐	<<装置設定>>		<<通信関連>>		☐	
☐	EBCD ICフォント	: 標準	サポートサーバ	: PrintWalker	☐	
☐	印刷動作	: JEF&A N	LAN インターフェース	: LAN (オート)	☐	
☐	印刷モード	: 通常印刷	MAC アドレス	: 00000Exxxxxx	☐	
☐	AN コード	: カナ有り			☐	
☐	最大印字桁数	: 136桁			☐	
☐	ヘッド動作	: 両方向	<<ネットワークアドレス設定>>		☐	
☐	データカットモード	: オフ	IPアドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐	節電モード	: 5 分	ネットマスク	: 000.000.000.000	☐	
☐	改ページ SW	: パネル	ゲートウェイアドレス1		☐	
☐			宛先アドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐			ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐			ゲートウェイアドレス2		☐	
☐			宛先アドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐	<<消耗品関連>>		ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐	リボンライフ	: 1500 万文字	ゲートウェイアドレス3		☐	
☐	リボンカウント	: 0000000000文字	宛先アドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐			ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐			ゲートウェイアドレス4		☐	
☐			宛先アドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐			ゲートウェイアドレス	: 000.000.000.000	☐	
☐			デフォルトルータ設定	: 000.000.000.000	☐	
☐	<<用紙設定>>				☐	
☐		前連帳	後連帳	前単票	後単票	☐
☐	左マージン	: 01桁	01桁	01桁	01桁	☐
☐	ページ長	: 066行	066行	066行	066行	☐
☐	ロード位置	: 06.4mm	06.4mm	07.6mm	07.6mm	☐
☐	漢字ピッチ	: 1/5"	1/5"	1/5"	1/5"	☐
☐	AN ピッチ	: 1/10"	1/10"	1/10"	1/10"	☐
☐	改行ピッチ	: 6LPI	6LPI	6LPI	6LPI	☐
☐	改行間隔	: 1LF	1LF	1LF	1LF	☐
☐	用紙厚調整	: 自動	自動	自動	自動	☐
☐	手前排出	: -	-	オフ	オフ	☐
☐	単票セットフリー	: -	-	オン	-	☐
☐	連帳セットフリー	: オフ	オフ	-	-	☐

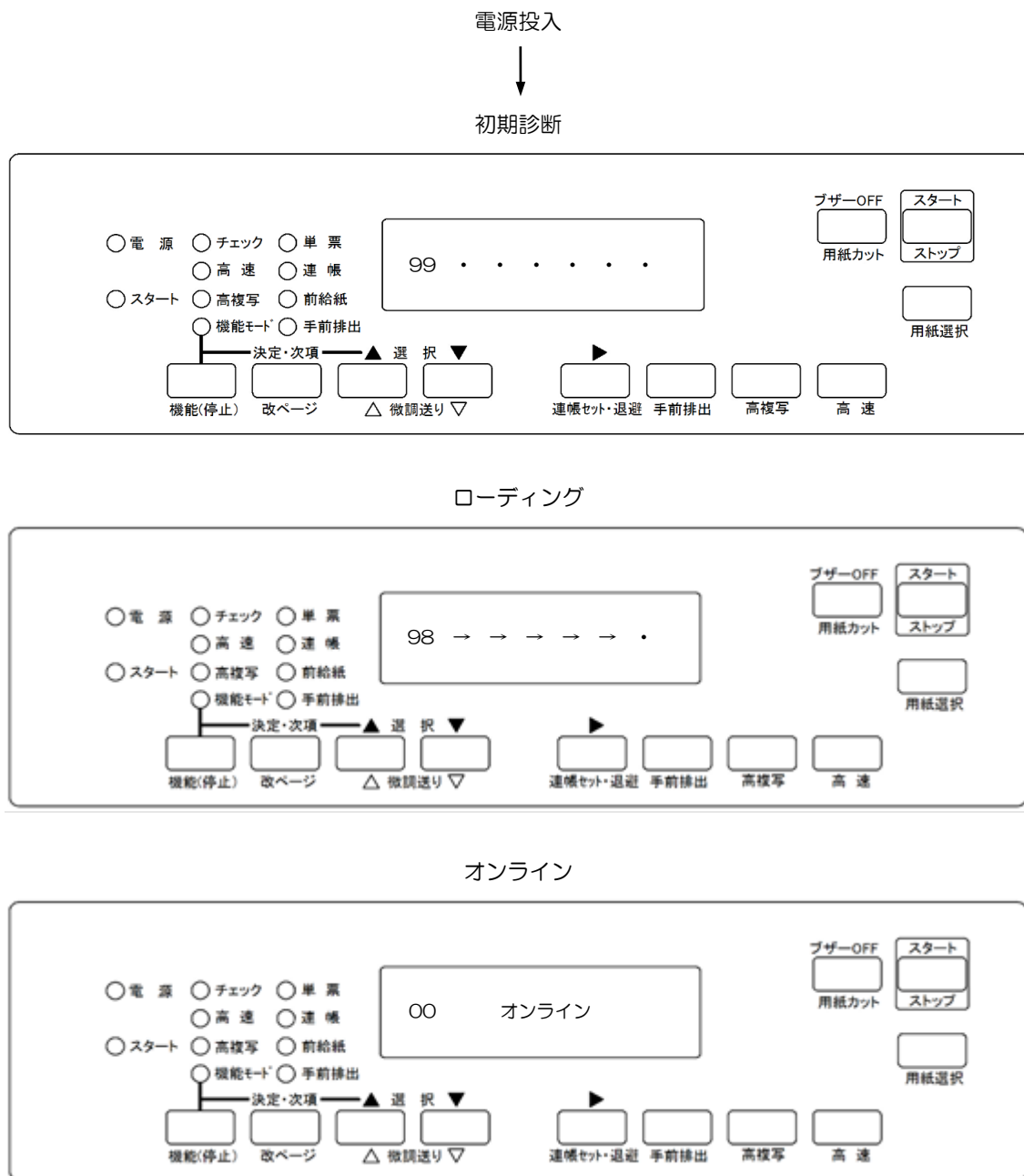
注) 印刷形式は、実際の印字と異なる場合があります。

図 3.2 現在の設定情報

3.3 装置立ち上げと印刷設定

3.3.1 装置立ち上げ

本装置のセットアップが完了すれば、IPL または電源投入で本装置をネットワークプリンタとして利用できます。以下に本装置に立ち上がるまでの操作パネルの遷移を示します。



このオンライン状態で、ホストからの印刷が可能となります。

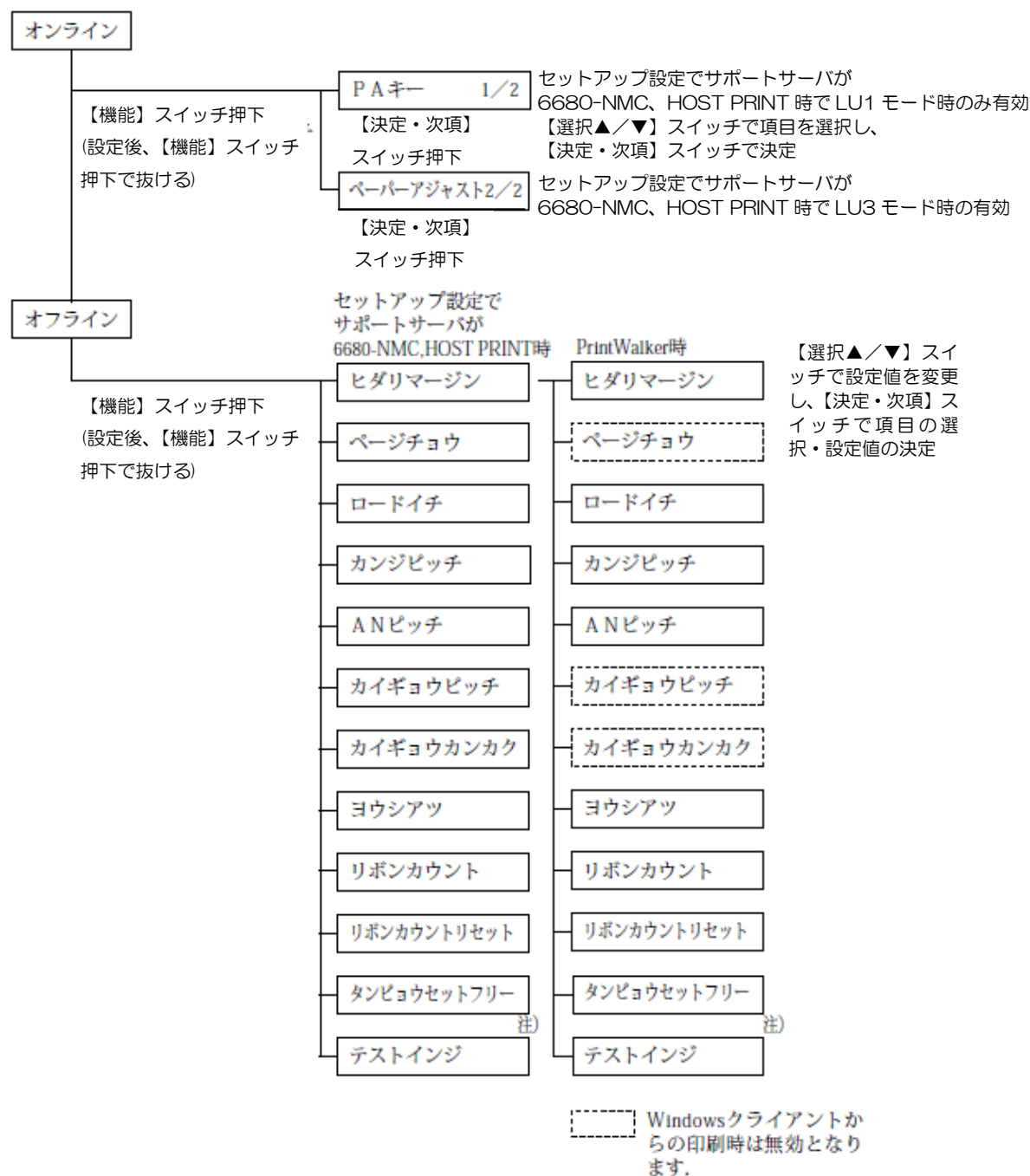
3.3.2 印刷設定（機能モード）

オンライン状態から【スタート/ストップ】スイッチを押しオフライン状態にしてから【機能】スイッチを押すことで、各種機能設定やテスト印字を行えます。

以下に、オンライン/オフラインからの印刷設定の遷移図を示します。

印刷設定の内容と設定値の有効範囲は、表 3.2 のとおりです。

なお、機能モードで設定した値は、電源再投入後セットアップモードでの設定値に戻りますのでご注意ください。



注) 手差し給紙時のみ設定可

表 3.2 機能モードの設定内容

設定項目	設 定 内 容		備 考
	初期値	設定可能値	
左マージン	セットアップモードでの設定値	1～99 桁	設定する用紙の種類 (単票／連帳)は現在選択されている用紙
ページ長		1～99 行	
ロード位置 (注)		2.0～38.0 mm (0.2mm ごとに設定可能)	
漢字ピッチ		1/5”、1/6”、3/20”	
ANピッチ		1/10”、1/12”、 3/40”、1/15”	
改行ピッチ		6LPI、8LPI	
改行間隔		1LF、2LF	
用紙厚		ジドウ 1～9、A～D	
リボンカウン ト	0	_____	現在のカウント値を表示
リボンカウン トリセット	シナイ	シナイ、スル	スルでカウント値リセット
単票セットフ リー	セットアップモードでの設定値	オン、オフ	手差し給紙時のみ設定可能
テスト印字	_____		“X” を 64 桁印字

注)「ロード位置」の設定値を変更する場合は、あらかじめ吸入されている用紙を取り除いてください。

3.4 LAN接続

3.4.1 LAN 接続するための基本設定

本装置を LAN 接続するための基本設定例を示します。

本装置の LAN 設定は、セットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」の設定を行います。実際の設定内容については、「3.2.3 セットアップの設定内容」の LAN 関連の設定の欄を参照してください。

導入する LAN 環境や接続形態によって、プリンタの設定内容は異なってきます。

以下に、導入するホストとサーバ接続環境の組合せごとに、プリンタの設定内容（サポートサーバの設定値）を示します。これを参考にしてセットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」を設定してください。なお、設定した値は装置の IPL または電源再投入により有効となります。

（注意） IP アドレスは必ず “0.0.0.0” 以外の値に設定してください。

項番	ホスト または クライアント	サーバ			⇒	プリンタの設定 サポートサーバ
		ハード	ソフト	プロトコル		
①	GS	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	HOST PRINT	TCP/IP	⇒	HOST PRINT
②				DS-LINK	⇒	6680-NMC
③			HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
④		SPARC Servers	PrintWalker/BPC, ホスト連携プレミアム	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑤		PRIMERGY 6000	LAN プリンタ制御 オプション	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑥	SPARC Servers		PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑦	PRIMERGY 6000		LAN プリンタ制御 オプション	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑧	PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑨		SPARC Servers	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑩		—	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑪	PRIMERGY/ PRIME- QUEST	—	PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑫			PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker

3.4.2 LAN 接続環境ごとの設定内容

本装置を LAN 接続するには本装置側の設定と上位装置側（サーバ装置側）の設定が必要です。

本装置側の設定は、セットアップモードの「通信」で行います。サポートサーバの設定では運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT、PrintWalker/BPC、ホスト連携プレミアム、LAN プリンタ制御オプション、PrintWalker/PM、PrintWalker/LXE）の設定を行う必要があります。

(1) 富士通メインフレームをホストとして運用する場合：上記表の項番①～⑤のケース

(1)－1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレス等の設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバを選択します。

- ・ プロトコルを TCP/IP（HOST PRINT）
で運用する場合：「HOST PRINT」
- ・ プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合
：「PrintWalker」
- ・ プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用する場合
：「PrintWalker」
- ・ プロトコルを TCP/IP（LAN プリンタ制御オプション使用）で運用する場合
：「PrintWalker」
- ・ プロトコルを DS-LINK で運用する場合
：「6680-NMC」

「HOST PRINT」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|-------------------|
| b) MAC アドレスの設定 |
| c) IP アドレスの設定 |
| d) ネットマスクの設定 |
| e) ゲートウェイの設定 |
| f) デフォルトルータの設定 |
| g) サーバ IP アドレスの設定 |
| h) セッションリトライの設定 |

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- b) MAC アドレスの設定
- c) IP アドレスの設定
- d) ネットマスクの設定
- e) ゲートウェイの設定
- f) デフォルトルータの設定

「6680-NMC」を選択した場合、DS-LINK 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- i) アドレスの設定
- j) 相手先アドレスの設定
- k) タイムアウト値の設定
- l) 再送数の設定

- b) MAC アドレスの設定
本装置のグローバルアドレスが表示されます。
- c) IP アドレスの設定
本装置の IP アドレスを設定します。
- d) ネットマスクの設定
ネットマスクを設定します。
- e) ゲートウェイの設定
ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。
本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。
ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。
 - 宛て先アドレス
 - ゲートウェイアドレス
 設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。
- f) デフォルトルータの設定
デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。
設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。
- g) サーバ IP アドレスの設定
サポートサーバの IP アドレスを設定します。
- h) セッションリトライの設定
上位装置とのセッション確立時に行う接続確認のリトライ回数を設定します。

i) アドレスの設定

グローバルアドレスを使用するか、ローカルアドレスを使用するかを設定します（デフォルトはグローバルアドレス）、グローバルアドレス選択時はグローバルアドレスを表示し、ローカルアドレス選択時はローカルアドレスを表示します。

また、グローバルアドレスは装置固有のアドレスのため変更できませんが、ローカルアドレスは任意のアドレスを設定することが可能です。

ただし、上位2桁目には、2、6、A、Eのみ設定可能です。

```
XXXXXXXXXXXXXXXXX
|
2、6、A、Eのいずれかの値
```

j) 相手先アドレスの設定

DS-LINK 通信をする場合には、NMC 代替として動作する NMC の MAC アドレスを設定します。

設定するアドレスは、任意のアドレスを設定可能ですが、上位2桁目は、0、2、4、6、8、A、C、Eの偶数のみ設定可能です。

```
XXXXXXXXXXXXXXXXX
|
0、2、4、6、8、A、C、Eのいずれかの値
```

k) タイムアウト値の設定

DS-LINK 通信をする場合に、タイムアウト値を設定します。デフォルト値のままでも特に問題はありませんが、もし設定する場合には、NMC 代替サーバ側でのタイムアウト値も合わせる必要があります。

l) 再送数の設定

DS-LINK 通信をする場合に、再送数を設定します。デフォルト値のままでも特に問題はありませんが、もし設定する場合には、NMC 代替サーバ側での再送数も合わせる必要があります。

(1)ー2 上位装置側の設定

上位装置には、NMC 代替として動作する Windows Server と SPARC Servers と PRIMERGY 6000 がそれぞれ接続できます。

プロトコルは「TCP/IP」または「DS-LINK」のどちらかが設定可能です。

HOST PRINT 帳票管理サービスを使用する場合は、Windows Server に本装置添付のソフトウェア（VSP リクエスタ）をインストールする必要があります。上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT）の設定を行う必要があります。

本装置添付のソフトウェア PrintWalker/PM、PrintWalker/BPC の設定は、ソフトウェア CD-ROM の README.TXT を参照してください。その他のソフトウェアの設定については、各種ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

- (2) SPARC Servers をホストとして運用する場合：項番⑥のケース
(項番④と同じケースであり、同様に設定します。)

(2)－1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップメニューの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用するので、「PrintWalker」を選択します。

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| b) MAC アドレスの設定
c) IP アドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- 宛先アドレス
- ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

(2)ー2 上位装置側の設定

上位装置は、SPARC Servers となります。

プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります。PrintWalker/BPC の設定は、ソフトウェア CD-ROM の README.TXT を参照してください。

(3) PRIMERGY 6000 をホストとして運用する場合：項番⑦のケース

(3)ー1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

プロトコルを TCP/IP（LAN プリンタ制御オプション使用）で運用するので、「PrintWalker」を選択します。

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| b) MAC アドレスの設定
c) IP アドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- 宛先アドレス
- ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

さい。

(3)ー2 上位装置側の設定

上位装置は、PRIMERGY 6000 となります。

PRIMERGY 6000 接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（LAN プリンタ制御オプション）の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照してください。

- PRIMERGY 6000（LAN プリンタ制御オプション）：ASP システム導入手引書
ASP システム説明書

(4) Windows をクライアントとして運用する場合：項番⑧～⑩のケース

（項番⑨は④、⑥と同様であり、同じように設定します）

(4)ー1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

- プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合、「PrintWalker」
- プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC 使用）で運用する場合、「PrintWalker」をそれぞれ選択します。「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> b) MAC アドレスの設定 c) IP アドレスの設定 d) ネットマスクの設定 e) ゲートウェイの設定 f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します。

c) IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを 4 つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大 5 つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- 宛先アドレス
- ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.4.3 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

(4)–2 上位装置側の設定

上位装置には、Windows Server と SPARC Servers および Windows がそれぞれ接続できます。

プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM、PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります。PrintWalker/PM、PrintWalker/BPC の設定は、ソフトウェア CD-ROM の README.TXT を参照してください。

(5) Windows Server からダイレクトに運用する場合：項番⑫のケース（項番⑫は⑧と同様であり、同じように設定します）

(5)–1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

(4)–1 の設定と同様です。

(5)–2 上位装置側の設定

上位装置には、Windows Server が接続できます。

プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM）の設定を行う必要があります。PrintWalker/PM の設定は、ソフトウェア CD-ROM の README.TXT を参照してください。

(6) Linux をホストとして運用する場合：項⑪のケース

(6)–1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

(4)–1 の設定と同様です。

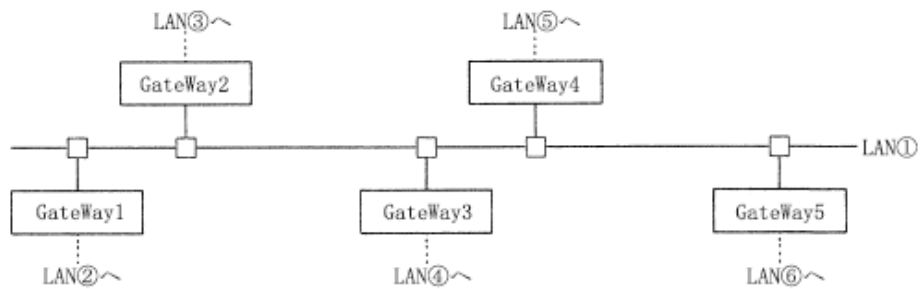
(6)–2 上位装置側の設定

上位装置には、Linux が接続できます。

Linux 接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/LXE）の設定を行う必要があります。PrintWalker/LXE の設定は、ソフトウェア CD-ROM の README.TXT を参照してください。

3.4.3 ゲートウェイについての補足



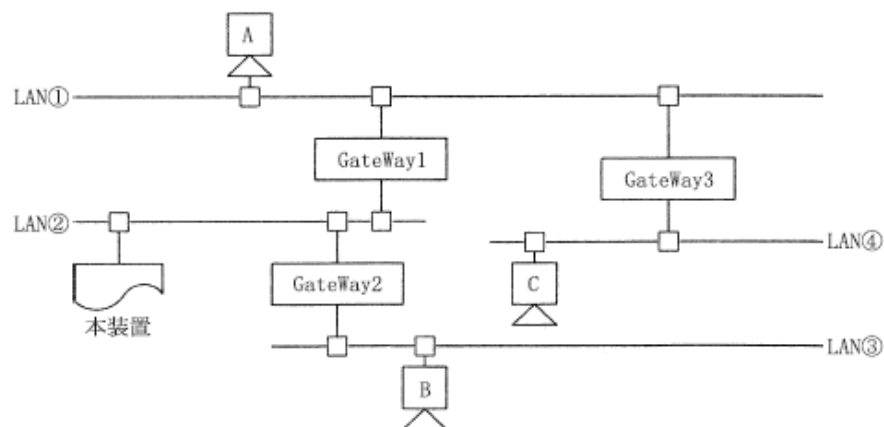
LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている(同一 LAN 上)その他の装置と、LAN 通信を行う場合は、ゲートウェイは必要ありませんが、他の LAN (LAN②～⑥) の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイが必要となります。

本装置では、最大 5 つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定と、デフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は 4 つまで、デフォルトルータ設定は 1 つとなります。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。

“ゲートウェイアドレス 1～4” と “デフォルトルータ設定” について説明します。



- (1) 本装置が LAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。
- (2) 本装置がホスト A と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス：ホスト A の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス (IP アドレス) を設定します。
- (3) 本装置がホスト B と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス：ホスト B の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス：GateWay2 のアドレス (IP アドレス) を設定します。
- (4) 本装置がホスト C と通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス：ホスト C の接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス (IP アドレス) を設定します。
- (5) デフォルトルータは、仮に装置に上記 (1) ～ (4) のような設定がなされていた場合に、設定してあるゲートウェイ先ネットワークアドレスのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトル

ータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります。

ただ、ここに設定できるアドレスは、本装置の接続されている LAN②に接続されているゲートウェイアドレス（GateWay1 または GateWay2）だけであり、GateWay3 などのアドレスは指定できません。

※ゲートウェイアドレス 1～4 の設定は、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークアドレスと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイアドレスが明確になっている場合に設定します。

※デフォルトルータは、ゲートウェイアドレス 1～4 に設定されているネットワークアドレスのどれにも該当しないデータを処理する場合に使用されます。

該当なしデータはデフォルトルータに設定されているゲートウェイに対してデータ通信が行われ、そこから対象となるネットワークが発見できればデータ通信を行い、発見できなければ、そのデータは破棄されます。

また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが 1 つしか接続されていなかった場合、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくことで、特にゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくても、他の複数ネットワークと通信を行うことができます。

（例：前ページの接続にて、本装置の接続されている LAN②に GateWay1 しかなかった場合、デフォルトルータに GateWay1 のアドレスを設定することによって、ゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくてもホスト A やホスト C と通信を行うことができます。）

第4章 用紙のセット

4.1 用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。



ガイド

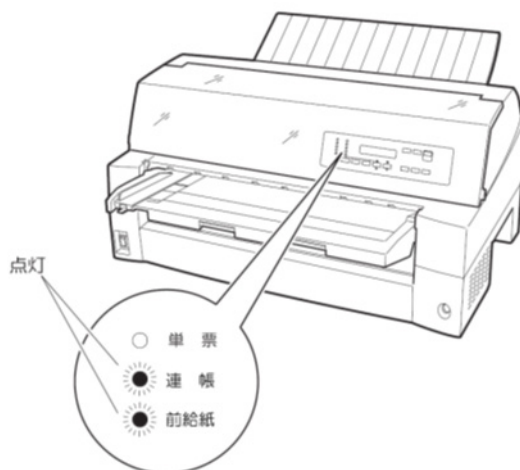
トラクタユニットは、着脱式でプリンタの前後に取り付け可能です。

オプションのセカンドトラクタを追加することにより、前後同時搭載が可能となります。

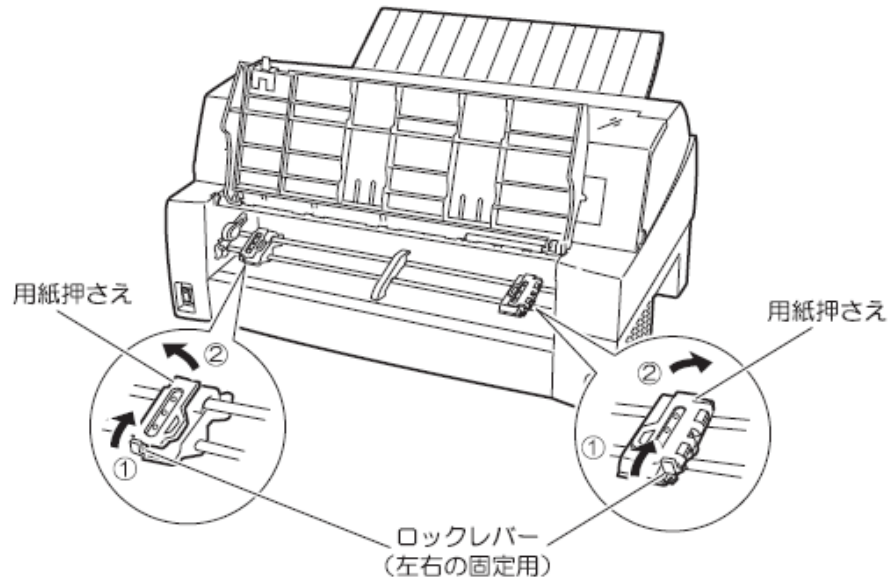
4.1.1 連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

- 1 プリンタの電源を入れる
電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。
- 2 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 3 【用紙選択】スイッチを押して、前連帳状態（「連帳」ランプと「前給紙」ランプ点灯）にする

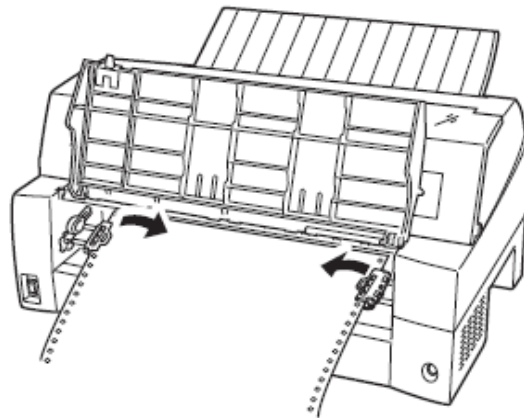


- 4 単票テーブルを上を開く（「2.5 単票テーブルの取り扱いについて」参照）
- 5 用紙送りトラクタのロックをはずし、用紙押さえを開く
左右の用紙送りトラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）、用紙送りトラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



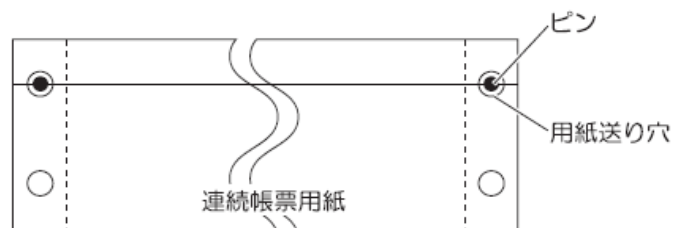
6 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。

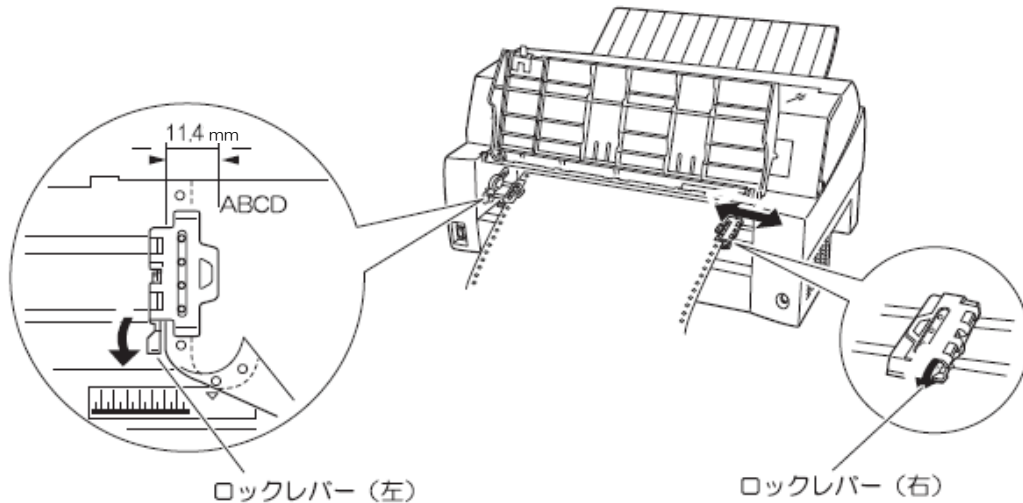


お願い

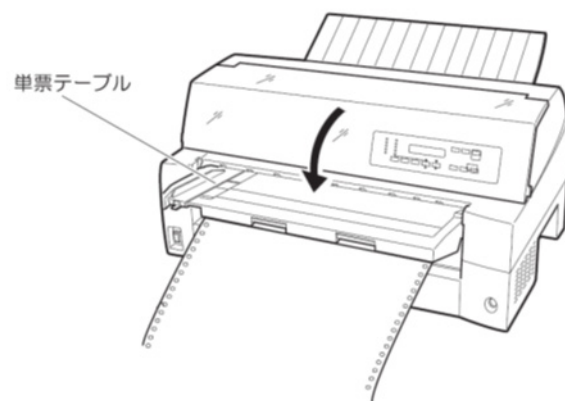
- ・用紙送りトラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- ・用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
 - ・用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクタの幅を調整してください。(用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。)
 - ・用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



- 7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する
用紙の左端を「O」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.4mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「▼」の位置となります。



- 8 単票テーブルを倒す



お願い

単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを正しくセットしてから用紙を吸入させてください。

9 印字開始位置に用紙をセットする

【連帳セット・退避】スイッチを押します。

用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「4.3 印字開始位置について」を参照してください。

お願い

- 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗としてブザーが鳴ります。
用紙づまりが発生した場合は、「6.1 用紙づまりのとき」を参照してつまった用紙を取り除き、再度用紙をセットしてください。
- 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。
- プリンタ内に用紙が残ったままの状態では連帳用紙を吸入させると、正しいセット位置に吸入されない場合があります。
プリンタ内の用紙をすべて排出してからセットしてください。

10 オンライン状態にする

【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「スタート」ランプ点灯）にし、印字データを送ります。

注）用紙を排出するには、次の方法があります。

- 印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オフライン状態にして
【用紙カット】スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
- オフライン状態にして【改ページ】スイッチを押します。
1 回押すたびに 1 ページ分の用紙が送られます。

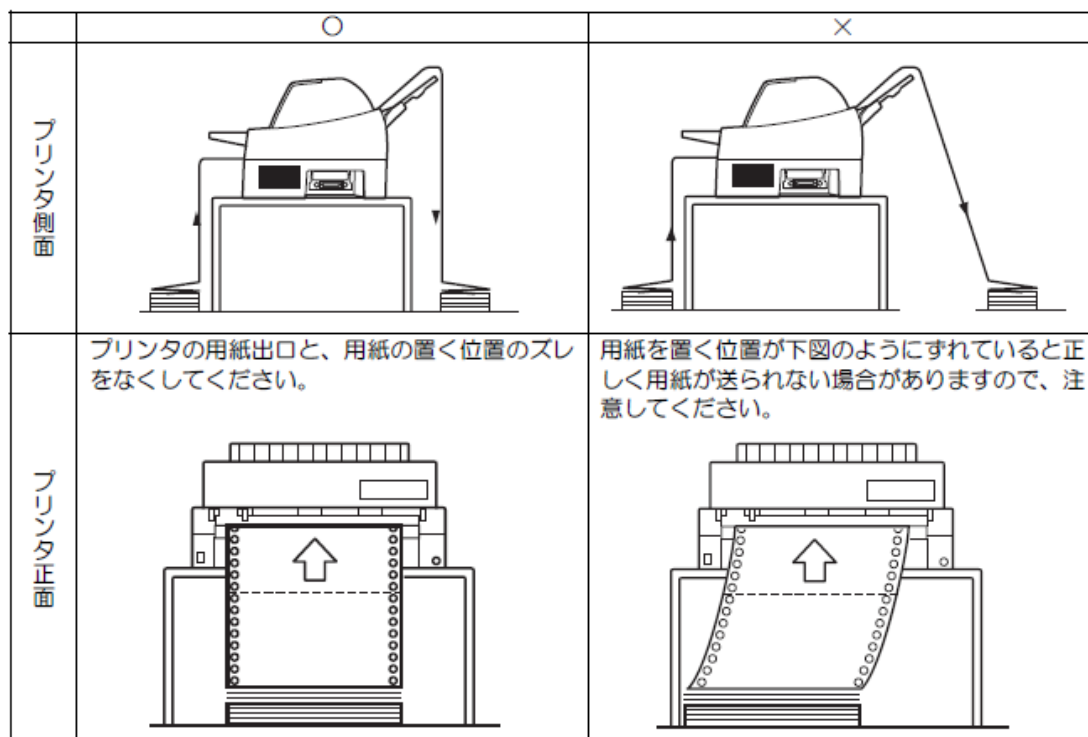


ガイド

用紙をカット位置にした状態で、【スタート/ストップ】スイッチを押してオンライン状態にすると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込みます。

◆ 前連続帳票用紙の置き方

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。



— お願い —

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタからはずれることがありますので注意してください。

◆ 連帳用紙セット時の注意

オンライン状態で連帳用紙をプリンタから引き抜いてしまった後に再セットする場合、用紙送りトラクタに用紙をセットしてからオフライン状態にし、【連帳セット・退避】スイッチを押して用紙を吸入してください。用紙送りトラクタに用紙をセットしただけの状態では印刷を行うと、用紙が正しく吸入されません。

この場合、【連帳セット・退避】スイッチを押して用紙を後退させてから、再度【連帳セット・退避】スイッチを押して印刷開始位置まで吸入する必要があります。

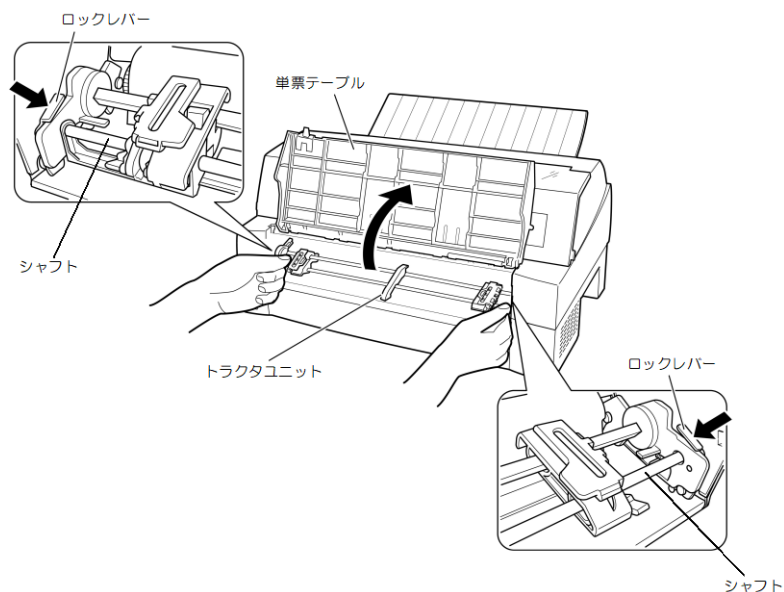
4.1.2 連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

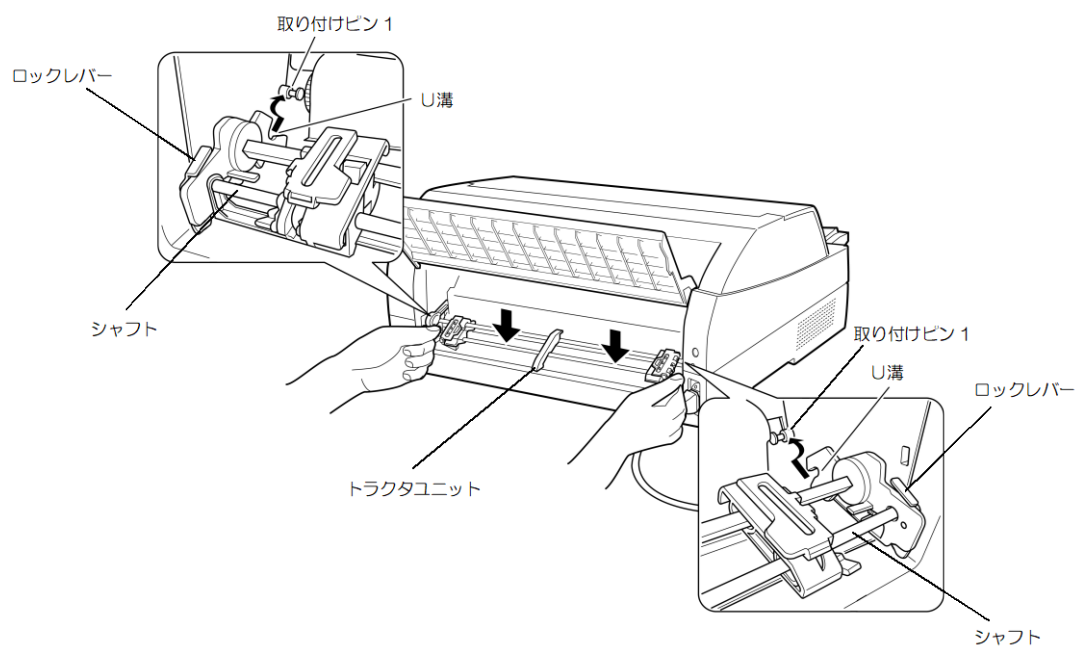
1 トラクタユニットをプリンタの後面にセットする

前トラクタユニットを後トラクタとして使用する場合は、単票テーブルを開いて、トラクタユニットを取りはずします。ギヤカバー1を取り付けてから、単票テーブルを閉じます。（「2.12.1 トラクタユニットの着脱について」参照）

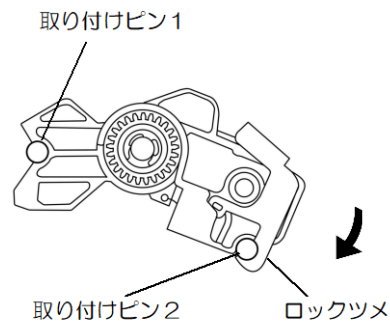
オプションのセカンドトラクタを後トラクタとして使用する場合は、前トラクタユニットをはずす必要はありません。



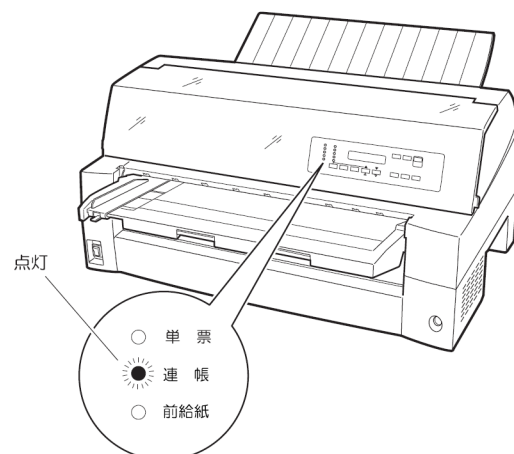
次につまみねじをはずして、ギヤカバー2を取りはずします。トラクタユニットの左右のU溝を、プリンタの取り付けピン1に合わせます。（トラクタユニットの刻印Bとプリンタ側の刻印Bを合わせます。）トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



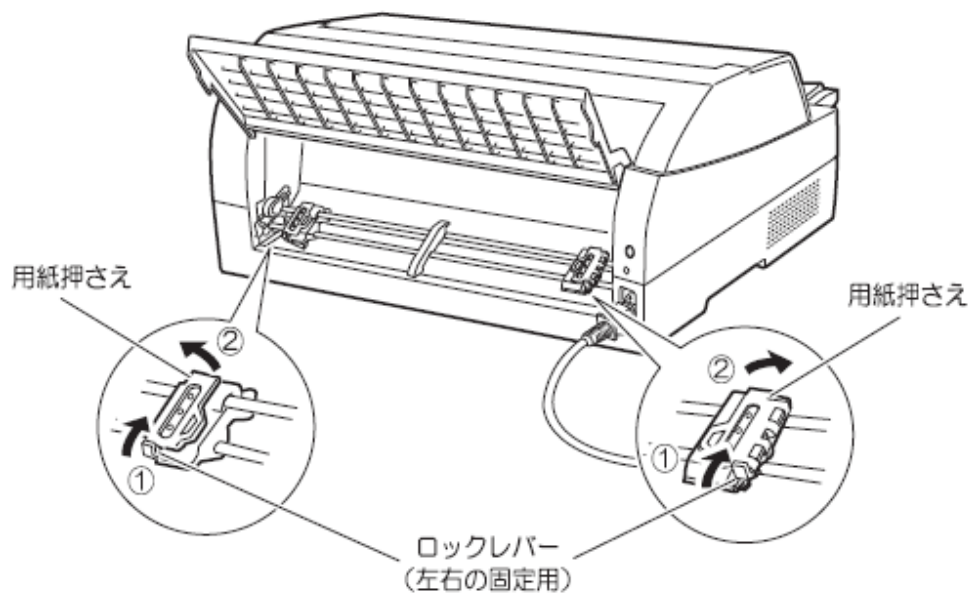
下図のように取り付けピン2にトラクタユニットの左右のロックツメがしっかりかかっていることを確認します。



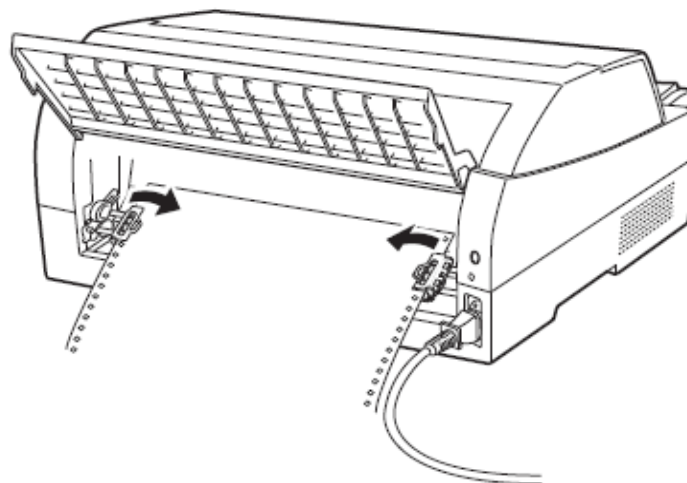
- 2 プリンタの電源を入れる
電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。
- 3 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 4 【用紙選択】スイッチを押して、後連帳状態（「連帳」ランプ点灯、「前給紙」ランプ消灯）にする



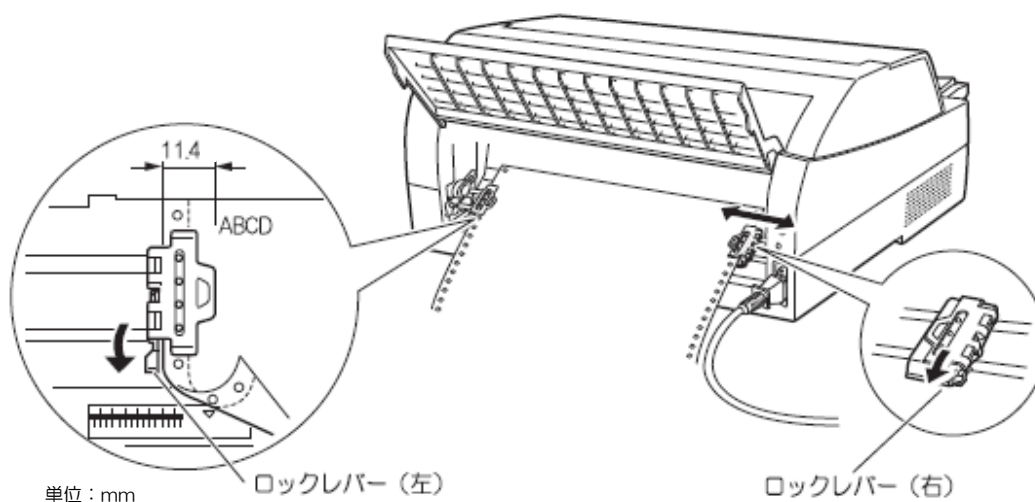
- 5 用紙送りトラクタのロックをはずし、用紙押さえを開きます
 左右の用紙送りトラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして (①) トラクタ左右のロックをはずし、用紙押さえを開きます (②)。



- 6 用紙送りトラクタに用紙をはさむ
 左右の用紙送りトラクタの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



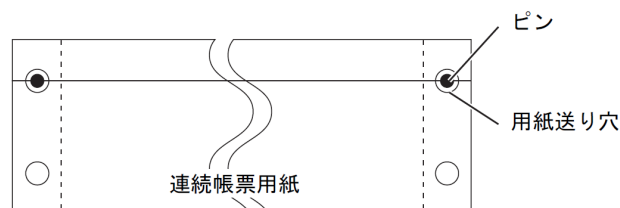
- 7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する
用紙の左端を「O」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.4mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「▼」の位置となります。



お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

- 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙トラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



- 8 印字開始位置に用紙をセットする

【連帳セット・退避】スイッチを押します。

用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「4.3 印字開始位置について」を参照してください。

お願い

- 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗としてブザーが鳴ります。
用紙づまりが発生した場合は、「6.1 用紙づまりのとき」を参照してつまった用紙を取り除き、再度用紙をセットしてください。
- プリンタ内に用紙が残ったままの状態で連帳用紙を吸入させると、正しいセット位置に吸入されない場合があります。
プリンタ内の用紙をすべて排出してからセットしてください。

- 9 オンライン状態にする

【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「スタート」ランプ点灯）にし、印字データを送ります。

注）用紙を排出するには、次の方法があります。

- ・印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オフライン状態にして【用紙カット】スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。（詳細については、「4.4 連続帳票用紙をカット位置に送る」を参照してください。）
- ・オフライン状態にして【機能】スイッチを押します。1 回押すたびに 1 ページ分の用紙が送られます。



ガイド

用紙をカット位置にした状態で、【スタート/ストップ】スイッチを押してオンライン状態にすると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込みます。

◆ 後連続帳票用紙の置き方

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。

— お願い —

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタからはずれることがありますので注意してください。

◆ 連帳用紙セット時の注意

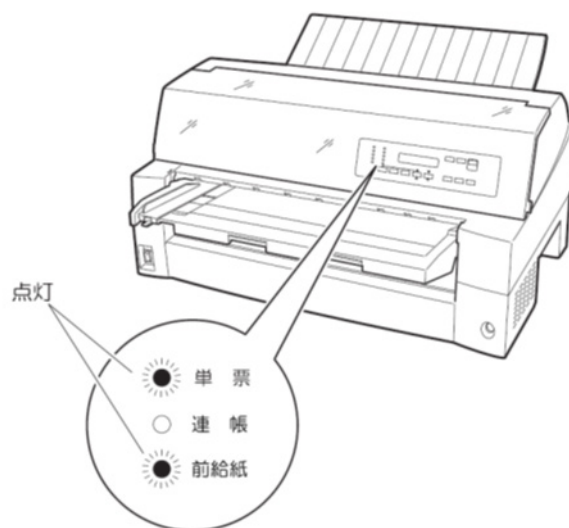
オンライン状態で連帳用紙をプリンタから引き抜いてしまった後に再セットする場合、用紙送りトラクタに用紙をセットしてからオフライン状態にし、【連帳セット・退避】スイッチを押して用紙を吸入してください。用紙送りトラクタに用紙をセットしただけの状態では印刷を行うと、用紙が正しく吸入されません。

この場合、【連帳セット・退避】スイッチを押して用紙を後退させてから、再度【連帳セット・退避】スイッチを押して印刷開始位置まで吸入する必要があります。

4.1.3 単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は1枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4です（詳細は「第7章 用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（「4.1.4 単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）」参照）

- 1 プリンタの電源を入れる
電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。
- 2 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 3 【用紙選択】スイッチを押して前単票状態（「単票」ランプと「前給紙」ランプ点灯）にする
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

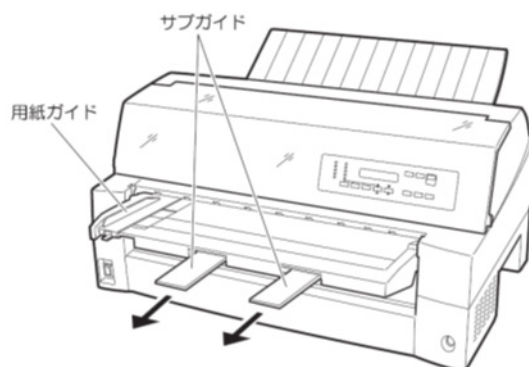


お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、前単票状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、前単票状態に切り替わった後に単票をセットしてください。

- 4 用紙ガイドを左端に寄せる

5 用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す



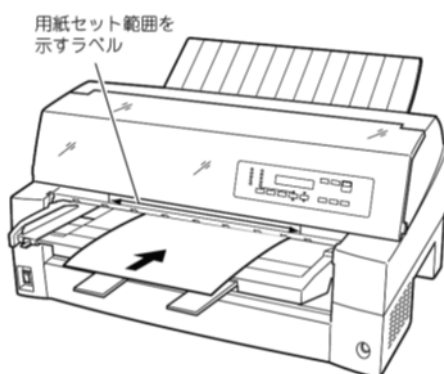
6 オンライン状態にしてから印字データを送る

LCD に“デサシ ニ ヨウシ ラ セット”と表示されます。

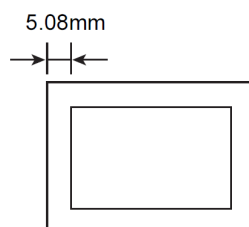
注) 単票テーブルに排出された用紙がないことを確認してからオンライン状態にしてください。

7 単票用紙をセットする

印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を 1 枚ずつ差し込むと、自動的に吸入され、印字を開始します。



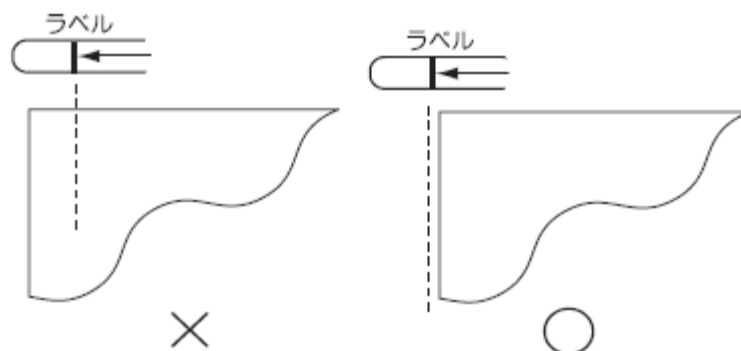
印字開始位置は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。



注) 印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

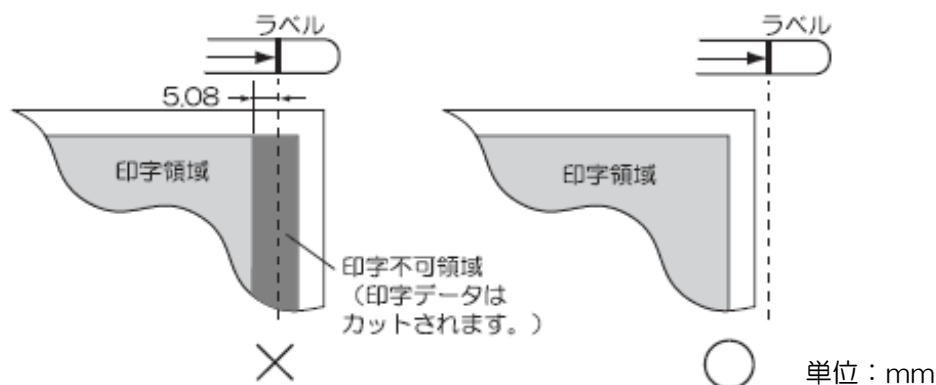
◆ 用紙左端位置に関する注意

手差し挿入口のラベル部(『単票セットフリー』の用紙セット範囲)に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後、印刷せずに排出されます。○で示す位置にセットしてください。



◆ 用紙右端位置に関する注意

手差し挿入口のラベル部(『単票セットフリー』の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。



◆ 用紙に関するご注意

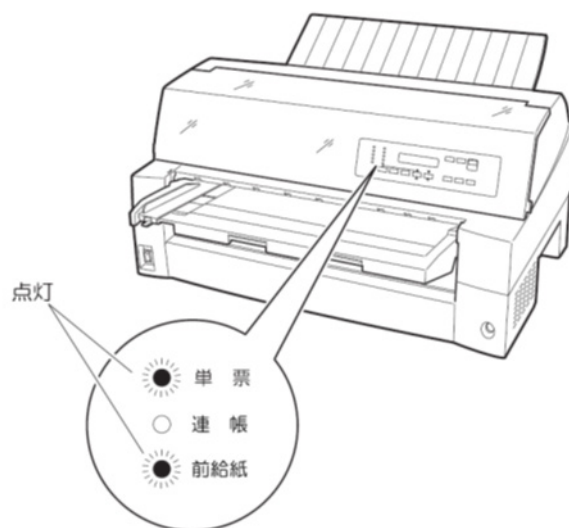
- 用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりがない用紙を使用してください。
- 単票セットフリーで利用できる用紙は下記のサイズです。
用紙幅 100～364mm (はがき～B4 サイズ)
用紙長さ 70～364mm (はがき～B4 サイズ)
詳細は「第7章 用紙について」を参照してください。
- 束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすく用紙づまりが発生するので、使用を避けてください。
束とじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。
- 単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を1枚ごと手切りでご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

4.1.4 単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）

単票用紙は1枚ずつセットしてください。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

- 1 プリンタの電源を入れる
電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。
- 2 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 3 【用紙選択】スイッチを押して前単票状態（「単票」ランプと「前給紙」ランプ点灯）にする
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



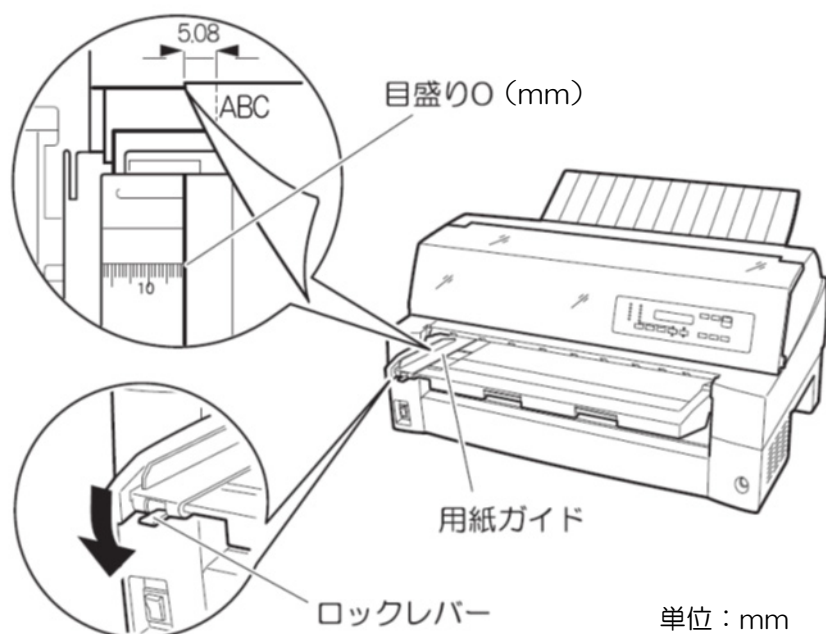
お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、前単票状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、前単票状態に切り替わった後に単票をセットしてください。

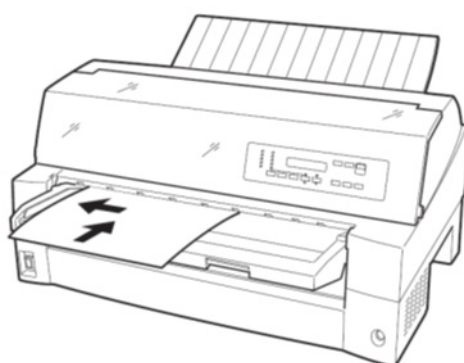
- 4 単票セットフリーオフに設定する（「3.3.2 印刷設定（機能モード）」参照）
 - (1) 【機能】スイッチを押して機能モードにします。（「機能モード」ランプ点灯）
 - (2) 【決定・次頁】スイッチを押していき、LCDに“タンピョウセットフリー”を表示させます。
 - (3) 【選択▲／▼】スイッチを押して、“オフ”を選択します。
 - (5) 【機能】スイッチを押すと、機能モードを終了します。（「機能モード」ランプ消灯）

注）機能モードで設定した値は、電源再投入後セットアップモードの設定値に戻りますのでご注意ください。

- 5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動してからロックレバーを下側に倒して固定する
用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り0 (mm) の位置に合わせて第1ドット目が用紙の左端より5.08mmの位置に印字します。



- 6 オンライン状態にしてから印字データを送る
LCDに“テサシ ニ ヨウシ ラ セット”と表示されます。
注) 単票テーブルに排出された用紙がないことを確認してからオンライン状態にしてください。
- 7 単票用紙をセットする
印字する面を上にし、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てて、1枚ずつ差し込みます。
用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。
用紙が自動的に印字開始位置まで送られ、印字を開始します。



- 注1) 幅のせまい媒体(100mm未満の媒体)をセットする場合は、用紙ガイドを目盛り0 (mm) の位置に合わせます。
- 注2) 単票セットフリーオフ時に、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てずに、単票テーブルの中央などに差し込んだ場合、LCDにエラーメッセージ“ER8B-01：APTC エラー”と表示されることがあります。
【スタート/ストップ】スイッチを押してオンライン状態に戻してから、単票用紙を正しく差し込んでください。

4.1.5 単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）

オプションのカットシートフィーダをプリンタに取り付けた場合に用紙をセットする方法について説明します。

カットシートフィーダの取り付けについては、「2.10 カットシートフィーダを取り付ける」を参照してください。

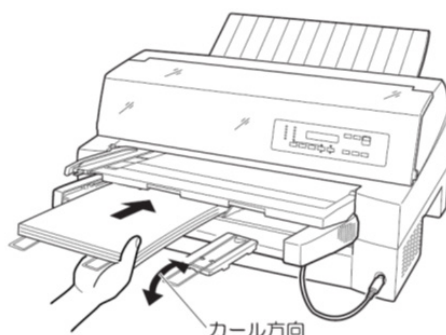


ガイド

- セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



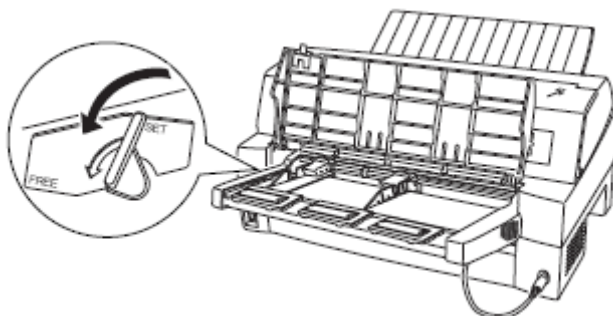
- 用紙はカールを取り除いたうえでセットしてください。用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上で、カール方向を合わせてセットしてください。（背中合わせてセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。）また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



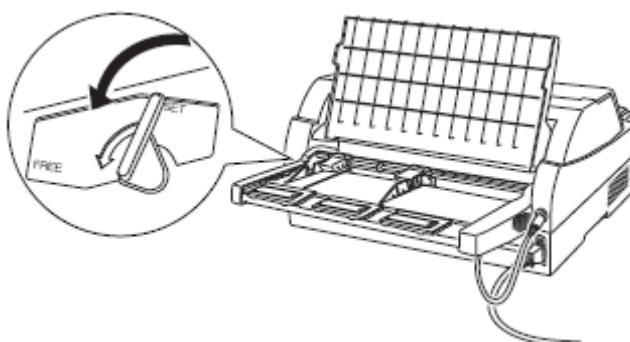
- 紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量（紙厚）などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

- 1 プリンタの電源を入れる
電源スイッチが「I」側に倒れていることを確認します。
- 2 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 3 【用紙選択】スイッチを押して「単票」ランプを点灯させる（前カットシートフィーダ給紙の場合は、「前給紙」ランプも点灯させる）
- 4 カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブルを、プリンタ後部に取り付けられている場合はリアスタッカを開く

- 5 カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする
 【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



- 6 左側（後カットシートフィーダの場合は右側）の用紙ガイドに沿って用紙を載せる
 用紙を揃え、用紙ガイドに沿って用紙を載せます。用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

- 左側（後カットシートフィーダの場合は右側）の用紙ガイドは通常の場合、「△」の位置（最も内側）に寄せてご使用ください。
- A3 用紙を横にセットするときは、「→」の位置に左側（後カットシートフィーダの場合は右側）の用紙ガイドを移動してください。



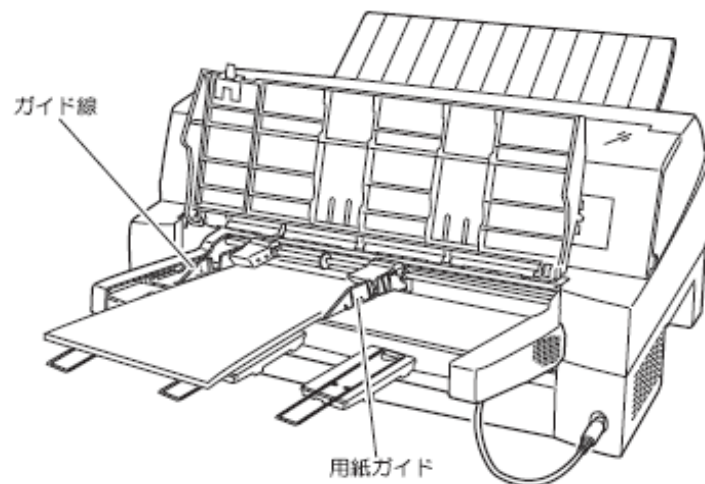
ガイド

連量 55kg の上質紙の場合、最大セット総枚数が 120 枚となります。

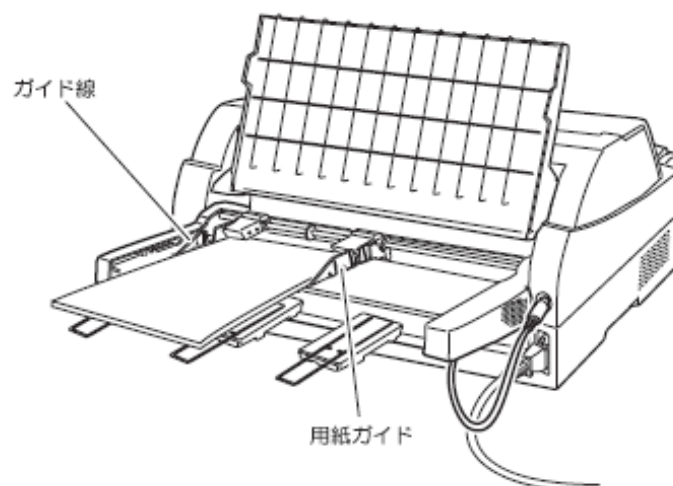
- 7 長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンションワイヤを開く
 （「2.10 カットシートフィーダを取り付ける」参照）

- 8 右側（後カットシートフィーダの場合は左側）の用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



ガイド

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、用紙ガイドを動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

- 9 カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、リアスタッカを元に戻す

- 10 単票テーブルに用紙がないことを確認してから、オンライン状態にする

【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「スタート」ランプ点灯）にし、印字データを送ります。

お願い

リアスタッカへ印字後の用紙をスタックしすぎると用紙づまりなどが発生します。スタック可能枚数は120枚（連量55kgの上質紙でカットシートフィーダにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。

4.2 用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、複写枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する機能を装備しており、通常は手動で用紙厚を調整する必要はありません。

宅配伝票などの段差のある用紙に印字するときなど、自動用紙厚調整ではうまく印字できない場合にのみ、操作パネルで手動用紙厚調整値を設定してください。

調整値を設定するときは、次表を参考にしてください。

用紙厚調整値が“1”のとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“D”の位置のとき最も広がります。

なお、自動用紙厚調整でうまく印字できない場合、ご使用の用紙が仕様から外れている可能性がありますので、「第7章 用紙について」の記載内容を確認してください。

手動用紙厚調整値は給紙口ごとに設定できます。

手順は以下のとおりです。

- 1 オフライン状態で【用紙選択】スイッチを押して、給紙口を選択します。
- 2 【機能】スイッチを押して、機能モードに入ります。（「機能モード」ランプ点灯）
- 3 【決定・次項】スイッチを押していき、“ヨウシアツ：シ`ト`ウ”をLCDに表示させます。
- 4 【選択▲／▼】スイッチを押して、手動用紙厚調整値を選択します。
- 5 【機能】スイッチを押して、機能モードを終了します。（「機能モード」ランプ消灯）
LCDに現在の調整値が表示されます。

用紙の種類と厚さ			手動用紙厚調整値												
1枚紙	複写紙	推奨厚さ (mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D
連量 40 ～70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08	○												
連量 70 ～110kg	一般的な 2P	0.13		○											
連量 110 ～135kg	一般的な 3P	0.18			○										
ハガキ 各種封筒 特殊紙 など	一般的な 4P	0.23				○									
	一般的な 5P	0.28					○								
	一般的な 6P	0.33						○							
	一般的な 7P	0.38							○						
	一般的な 8P	0.43								○					
	一般的な 9P	0.48									○				
	各種 宅配伝票 (ゆうパックな ど)	0.53										○			
		0.58											○		
		0.63												○	
		0.68													○

注) 機能モードで設定した値は、電源再投入後セットアップモードの設定値に戻りますのでご注意ください。

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に沿って手動用紙厚調整値を設定してください。

調整値の目安

手動用紙厚調整値は数字 1～9、英字 A～D の 13 段階あり、1 番の位置から 1 目盛増すごとに約 0.05mm 単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広がります。おおよその目安として 1～2 番の設定で 1 枚、1 目盛増すごとに用紙 1 枚分間隔が広がります。（前ページの表参照）

使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動用紙厚調整値を設定してください。

使用する用紙に対して、手動用紙厚調整値の設定が適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動用紙厚調整値が広すぎるとき

印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して手動用紙厚調整値が狭すぎるとき

- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
 - 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
 - リボンによって用紙が汚れることがあります。
 - 用紙の送りが悪くなることがあります。
 - 印字ヘッドが正常に動かなくなることがあります。
- この場合、下記メッセージが LCD に表示されることがあります。
- “ER85-01：LES アラーム”
 - “ER85-02：SP アラーム”
 - “ER8B-01：APTC エラー”

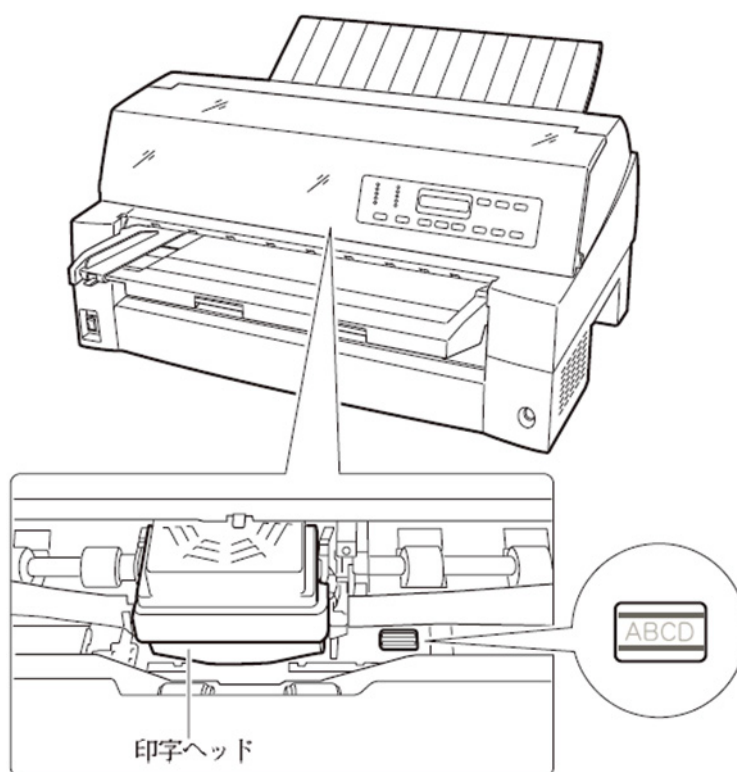
◆ 用紙厚調整の動作タイミングについて

- 用紙厚調整が自動のとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。
- 用紙厚調整が手動のとき
設定後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。

4.3 印字開始位置について

必要に応じてセットした連帳用紙の行方向の印字開始位置を変えます。(通常はセットアップモードまたは機能モードで設定してください)

印字開始位置を調整するとき、印字ヘッドの右側窓のラインが文字の上下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



操作パネルで行方向の印字位置を微調整できます。

オフライン状態であれば、トップカバーを開けた状態でも閉めた状態でも調整することができます。

▲ 注意	 トップカバーを開けた状態で【微調送り△/▽】スイッチを押すと、印字ヘッドが動く場合があります。印字ヘッドに触れないでください。やけど・けがの原因となることがあります。
-------------	--

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

前連帳選択時は、【微調送り△】スイッチを押します。後連帳選択時は、【微調送り▽】スイッチを押します。

正方向に 1/120 インチ改行します。

押し続けると連続して正改行します。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

前連帳選択時は、【微調送り▽】スイッチを押します。後連帳選択時は、【微調送り△】スイッチを押します。

逆方向に 1/120 インチ改行します。

押し続けると連続して逆改行します。



ガイド

連帳用紙の印字開始位置を【微調送り△／▽】スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、1 インチカット（ミシン目カット）機能についても用紙の繰り出し量は加減した値になります。

本スイッチでの用紙の位置調整調整量には制限はありませんが、プリンタの電源再投入でクリアされます。

4.4 連続帳票用紙をカット位置に送る

印刷終了後、連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

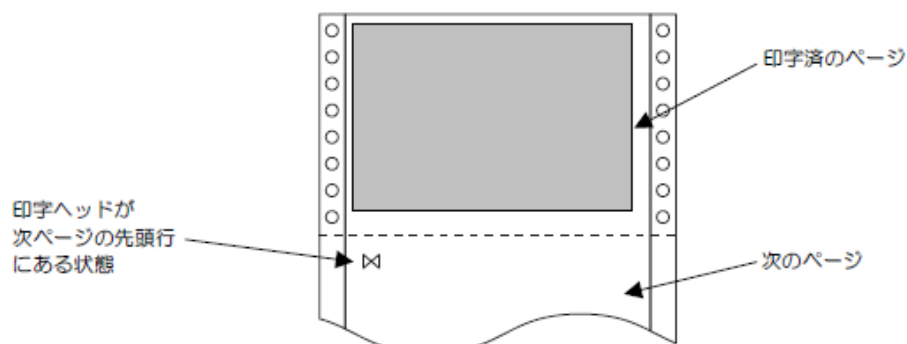
次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

- 1 停止状態またはオフライン状態で【用紙カット】スイッチを押す
ミシン目が用紙カット位置まで送られます。

注1) オフライン状態（【ストップ】スイッチを押した状態）で用紙カットを行う場合は、印刷動作が完全に終了してから【ストップ】スイッチを押してください。印刷動作が完全に終了していない状態で【ストップ】スイッチを押すと、既に印刷した部分を再印刷することになります。

注2) 「機能（停止）」スイッチはサポートサーバ設定が 6680-NMC、HOST PRINT の場合のみ有効です。

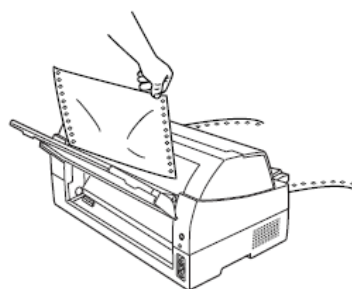
印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



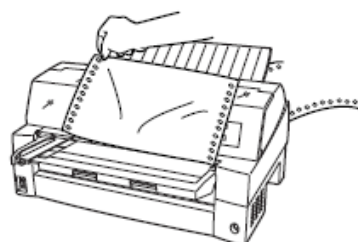
注) ページ長設定が正しくないとき、および【微調送り△/▽】スイッチで用紙を移動させた場合はカット位置が合わなくなります。

- 2 用紙を切り取る
用紙カット位置（カバーのエッジ）を利用してミシン目を切り離します。

〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉



〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉



3 用紙を印字開始位置に戻して、印刷可能な状態にする

- オフライン状態であれば【スタート】スイッチを押します。
- 停止状態（オンライン状態）であればもう一度【機能(停止)】スイッチを押します。

注) 停止状態が 10 分間以上継続すると、オフライン状態となり、停止タイムアウト画面に遷移します。印刷を再開するためには【スタート】スイッチでオンラインにする必要があります。既に印刷した部分を再印刷することになります。

第 5 章 リボンカセットの交換

5.1 仕様

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	サブライ番号	備考
リボンカセット SDM-12	0327210	黒色インクリボンが入ったリボンカセットです。(ANK ドラフト 1,500 万字)
サブカセット SDM-12	0327220	詰め替え用インクリボンです。サブカセットは 1 つのリボンカセットに対して 5 回詰め替え可能です。

▲ 注意



一般的禁止

インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

— お願い —

- リボンカセットは、指定の純正品をお奨めします。
富士通プリンタは、純正のリボンカセット使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。
非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。
なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。
非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。
- 安定した印字品質を維持するために、インクリボンは購入より 1 年以内での使用をお奨めします。
購入から 1 年を過ぎたインクリボンを使用されますと、印字汚れ、カスレ等が発生する可能性があります。
- インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
- 使用済みのリボンカセットは、産業廃棄物として処理してください。

5.2 リボンカセットの交換

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

リボンカウント値が、設定されているリボンライフ値を超えると、LCDに“*”が表示されます。

(セットアップモード参照)

機能モードにてリボンカウントリセットを行うまで、“*”は表示され続けます。

00 オンライン	*
ヨウシアツ	: ジドウ

90 オフライン	*
ヨウシアツ	: ジドウ

印字が薄くなった場合には、すみやかにリボンカセットを交換してください。

1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

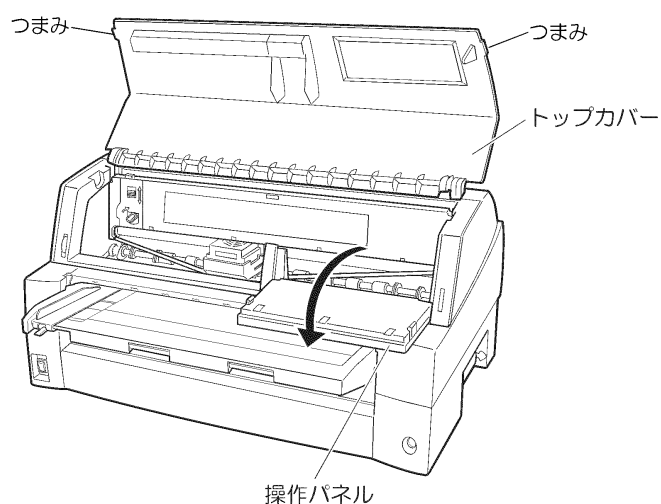
トップカバーを閉じて電源を投入する、または【スタート/ストップ】スイッチを押してオフライン状態にすると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

お願い

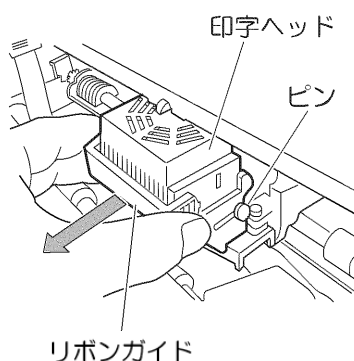
- 印刷中にトップカバーを開けて、待機状態が1分間以上続くと節電モードに入り、印字ヘッドが移動可能となりますが、印字ヘッドを手で移動させないでください。ハードウェアエラーが発生するおそれがあります。

2 つまみを持ち上げながら、トップカバーを開ける

3 操作パネルを手前側に倒す

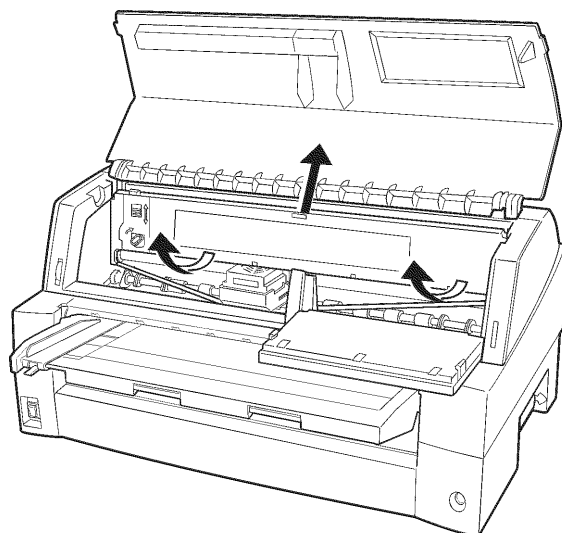


4 リボンガイドをはずす



5 リボンカセットを取りはずす

リボンカセットを手前に起こしてロックをはずし、プリンタから取りはずします。



6 新しいリボンカセットを取り付ける

新しいリボンカセットの取り付けは、「2.9 リボンカセットを取り付ける」を参照してください。

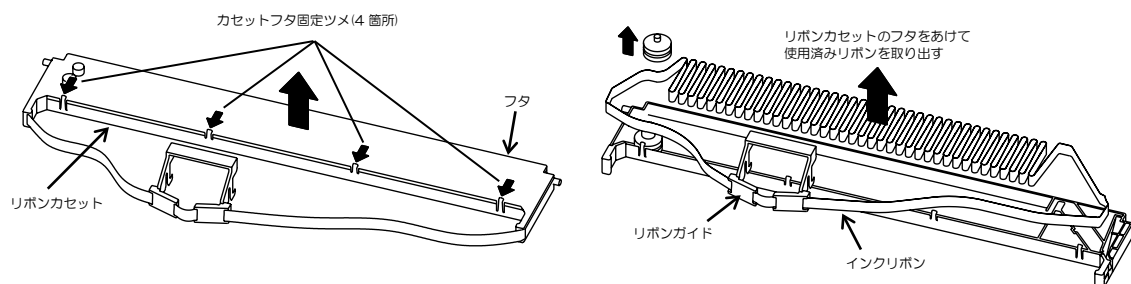
▲ 注意	 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。やけどの原因となることがあります
--------------------	---

7 リボンカウントリセットを行う

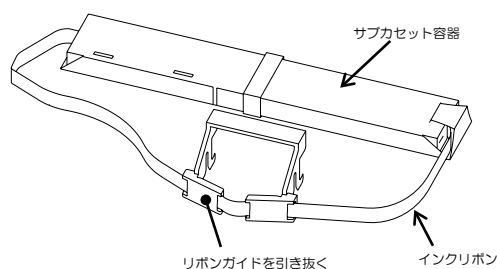
- (1) オフライン状態で【機能】スイッチを押して機能モードに入ります。（「機能モード」ランプ点灯）
- (2) 【決定・次項】スイッチを押していき、“リボンカウントリセット：シナイ”をLCDに表示させます。
- (3) 【選択▲／▼】スイッチを押して、“リボンカウントリセット：スル”を選択した後、「決定・次項」スイッチを押します。
- (4) 【機能】スイッチを押すと、機能モードを終了します。（「機能モード」ランプ消灯）

5.3 サブカセットの交換

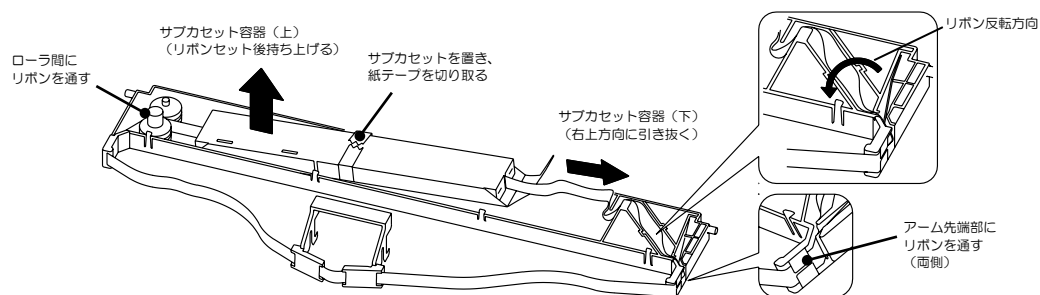
- 1 リボンカセットをプリンタから取りはずす
「5.2 リボンカセットの交換」を参照してください。
- 2 リボンカセットのフタを固定している4箇所のツメをはずしてフタを開ける
使用済のインクリボンを、リボンガイドと共に取り出します。
その際、インクリボンが通っている場所をよく確認してください。



- 3 サブカセット容器からリボンガイドを引き抜く
このときインクリボンがよじれないようにご注意ください。



- 4 サブカセット容器ごとリボンカセット内に置き、青い紙テープを切り取る
このときサブカセット容器は、リボンカセットの左に寄せておいてください。
- 5 サブカセット容器（上）を軽く押さえながら、サブカセット容器（下）をゆっくり右上方向に引き抜く
このときサブカセット容器をリボンカセットから持ち上げすぎないようにご注意ください。
- 6 インクリボンを所定のルートにセットする
リボンの反転方向にご注意ください。



- 7 サブカセット容器（上）をゆっくり持ち上げる
中のリボンが飛び出さないようにご注意ください。
- 8 リボンカセットのフタを閉める
フタを固定する 4 箇所のツメがきちんと掛かっていることを確認します。
- 9 プリンタへリボンカセットを装着します
「2.9 リボンカセットを取り付ける」を参照してください。

5.4 消耗品の廃却について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。
お客様が処理業者に処理を委託する場合で、(財)日本産業廃棄物処理振興センターが発行するマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニフェスト情報				
消耗品内訳	マニフェスト情報			
名 称	種 類	形 状	重金属等有無	特 性
リボンカセット	廃プラスチック 繊維くず 金属くず	固 形	無 し	—

第 6 章 異常発生時の操作

6.1 用紙づまりのとき

6.1.1 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。

その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

つまった用紙を取り除いたら、プリンタの電源を再投入し、印刷する用紙をセットします。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとの隙間が最大となります。

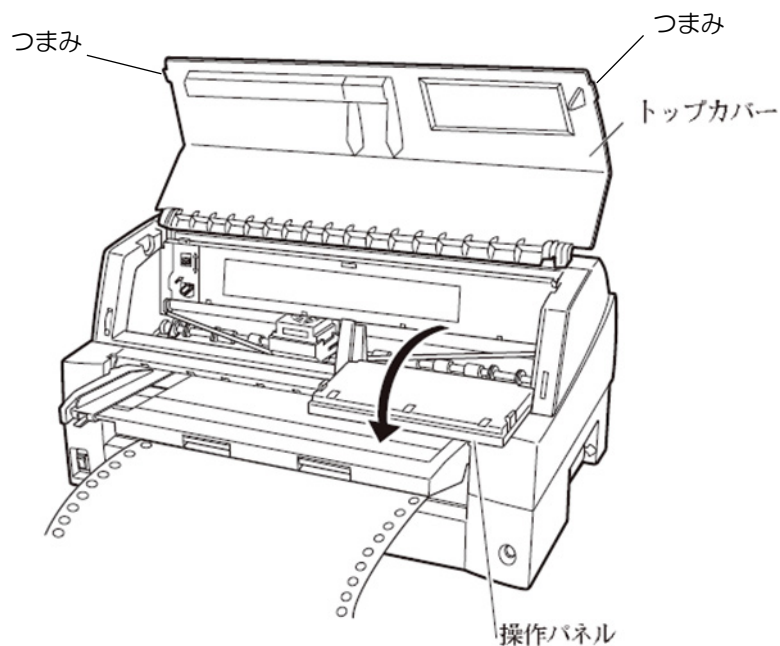
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。

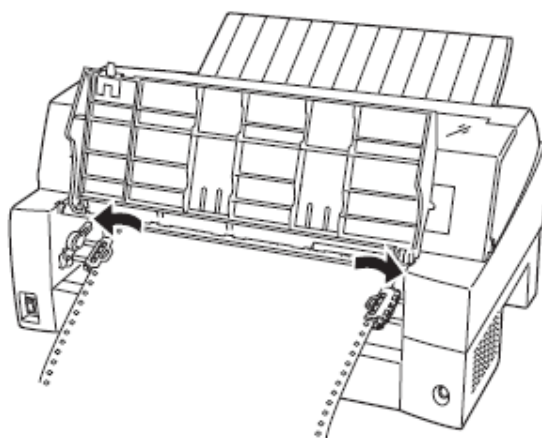
3 つまみを持ち上げながら、トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

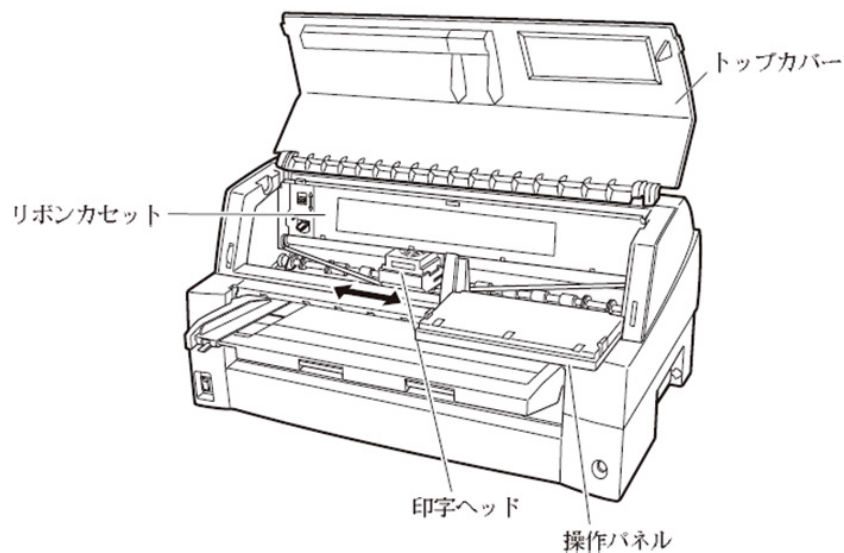
4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



- 5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙をはずす
単票テーブルを上側に開き、トラクタユニットの左右の用紙押さえを開いて、トラクタから用紙をはずします。



- 6 用紙を取り除く
プリンタの前または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。
用紙が印字部につまってしまうと取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取りはずしてから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

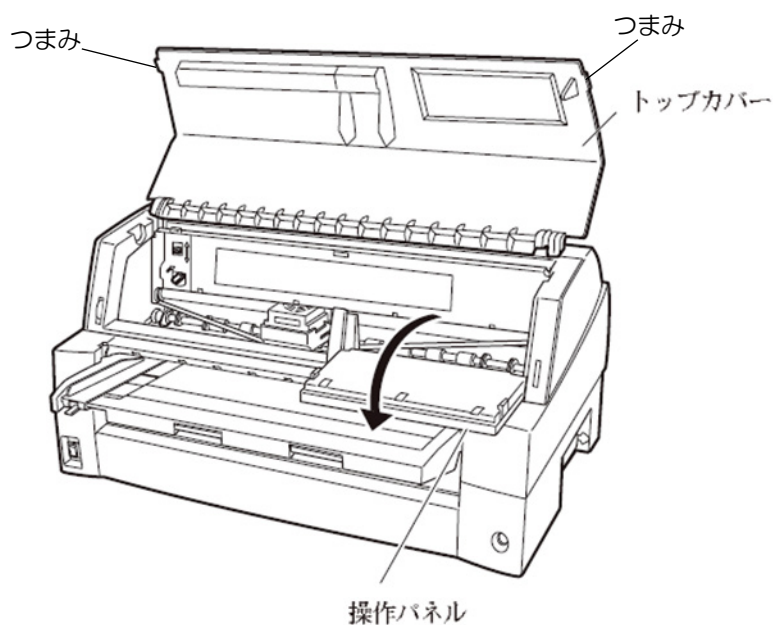


- 7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

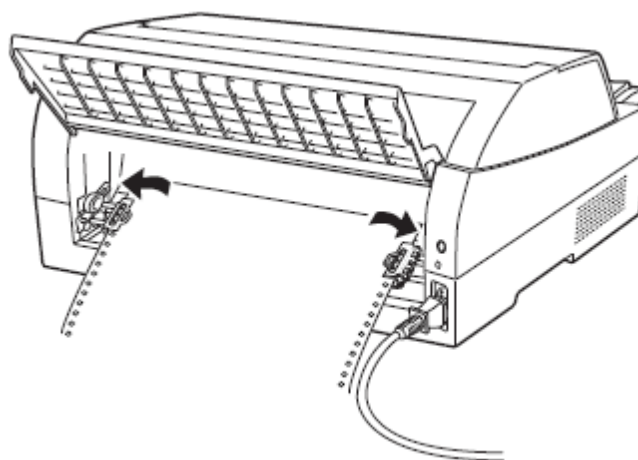
▲ 注意	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。
--------------------	--

◆ 後トラクタから吸入した用紙がつまったとき

- 1 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 2 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。
- 3 つまみを持ち上げながら、トップカバーを開く
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。
- 4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



- 5 トラクタユニットの左右の用紙押さえを開き、用紙送りトラクタから用紙をはずす
トラクタユニットの左右の用紙押さえを開いて、用紙送りトラクタから用紙をはずします。



6 用紙を取り除く

プリンタの前または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。
 用紙が印字部につまってしまうと取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。
 また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取りはずしてから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

 注意	 高温注意	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。
---	--	--

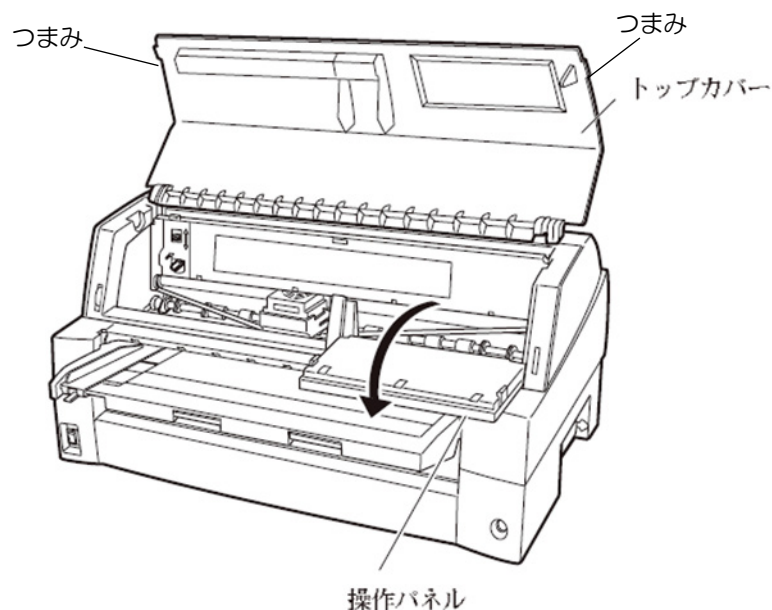
7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

6.1.2 単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
 用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。
 つまった用紙を取り除いたら、プリンタの電源を再投入します。

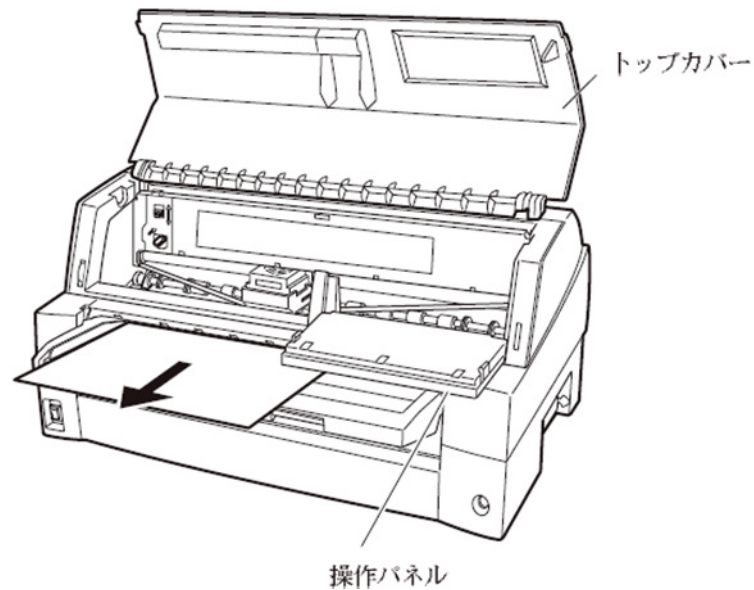
◆ 手差しで吸入した単票用紙がつまったとき

- 1 オフライン状態にする
 【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
 動作が停止し、印字ヘッドとプラテンの隙間が最大となります。
- 2 プリンタの電源を切る
 電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
- 3 つまみを持ち上げながら、トップカバーを開く
 トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。
- 4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 用紙を取り除く

プリンタの前または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



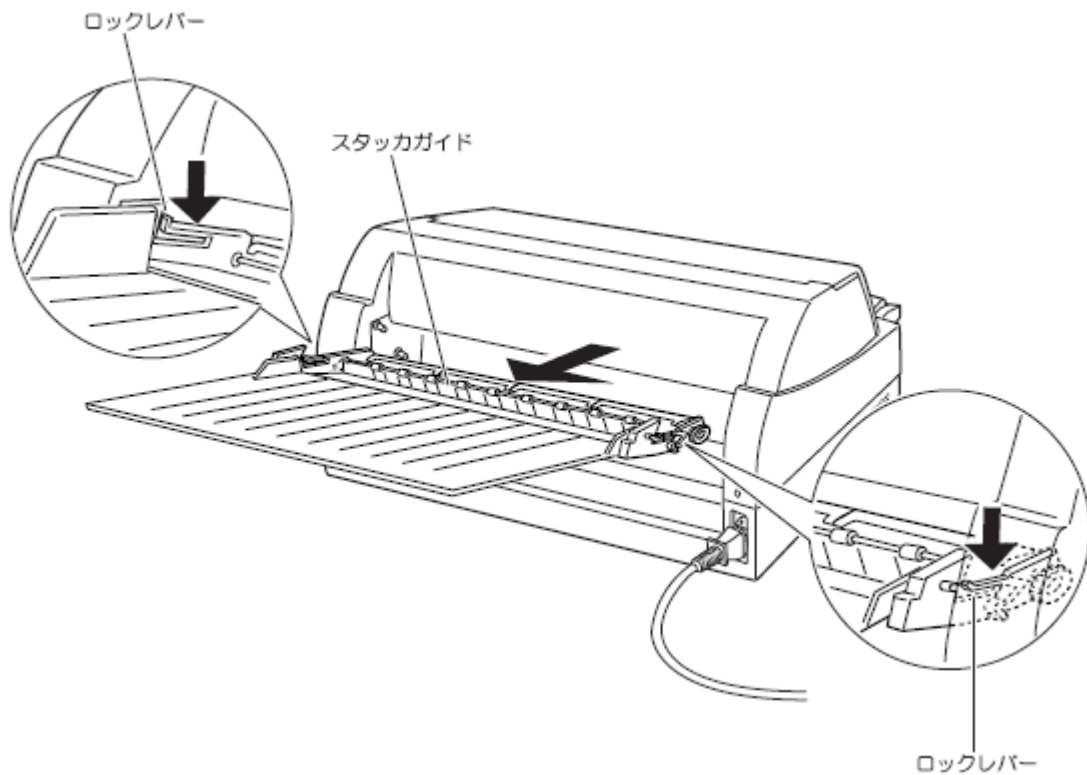
用紙が印字部につまってしまううまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取りはずしてから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

▲ 注意	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。
-------------	--

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

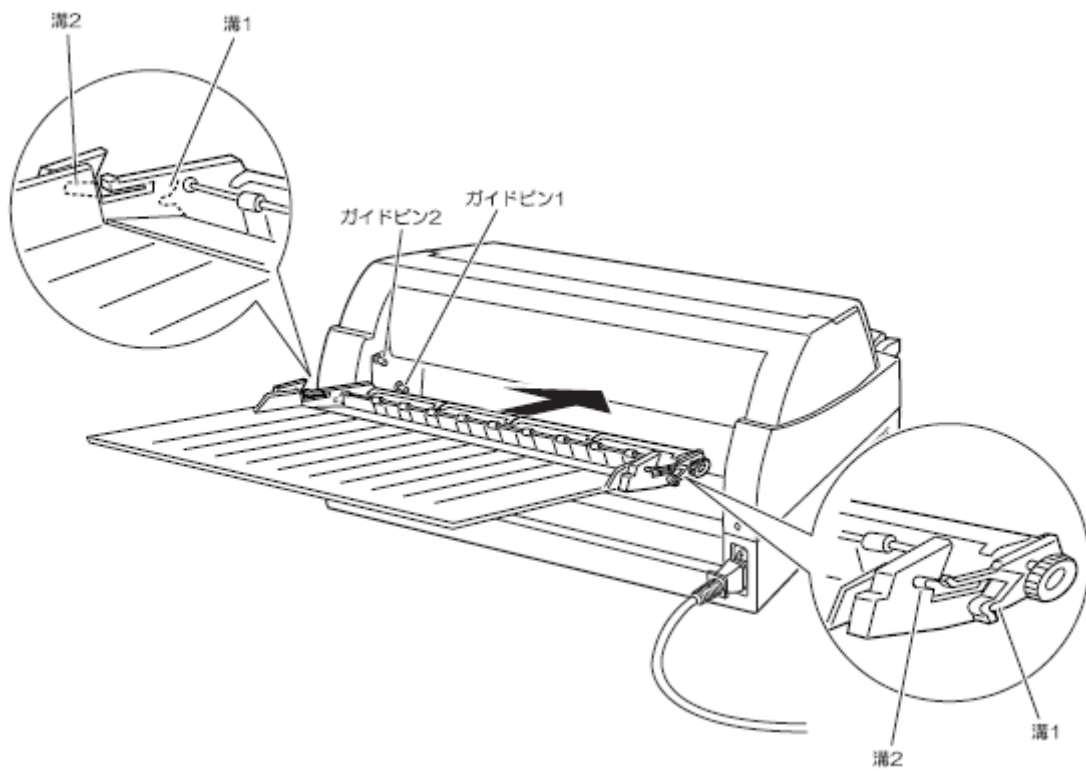
6.1.3 リアスタッカ部に用紙がつまったとき

- 1 オフライン状態にする
 【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
 動作が停止し、印字ヘッドとプラテンの隙間が最大となります。
- 2 スタッカユニットを取りはずす
 スタッカガイドのロックレバーを押しながら、後方に取りはずします。
 装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



- 3 用紙を取り除く

- 4 スタッカユニットを取り付ける
スタッカユニット左右の溝 1 をガイドピン 1 に合わせ、ガイドピン 2 が溝 2 にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。



6.1.4 カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき

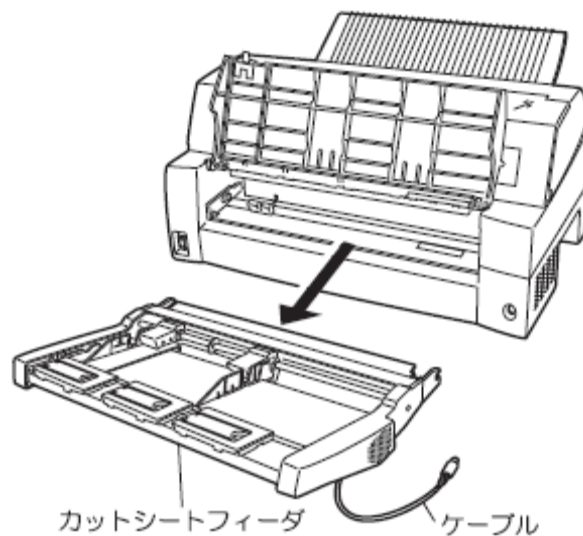
- 1 オフライン状態にする
【スタート/ストップ】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「スタート」ランプ消灯）にします。
- 2 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「O」側に倒れていることを確認します。
- 3 つまみを持ち上げながら、トップカバーを開く
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

◆ カットシートフィーダユニット内での用紙づまりの場合

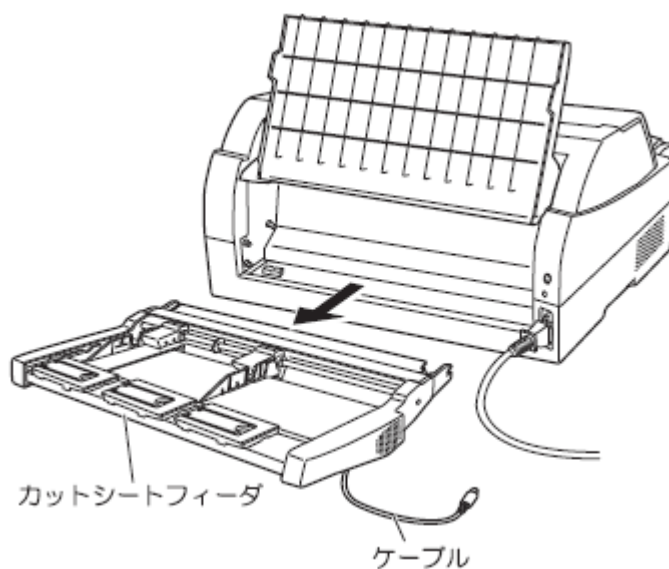
- 1 カットシートフィーダをプリンタ本体から取りはずす
カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取りはずします。（「2.11 カットシートフィーダを取りはずす」参照）

 警告	感 電 	ケーブルをはずすときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。
---	---	--

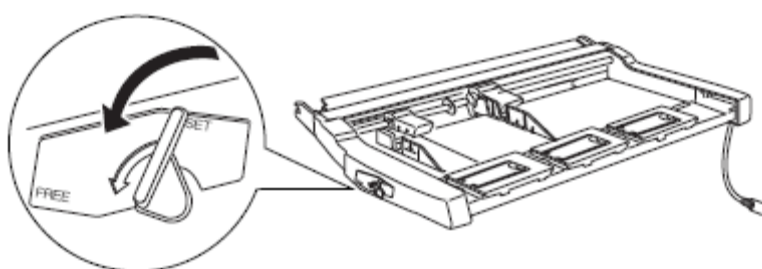
プリンタ前部から取りはずす場合



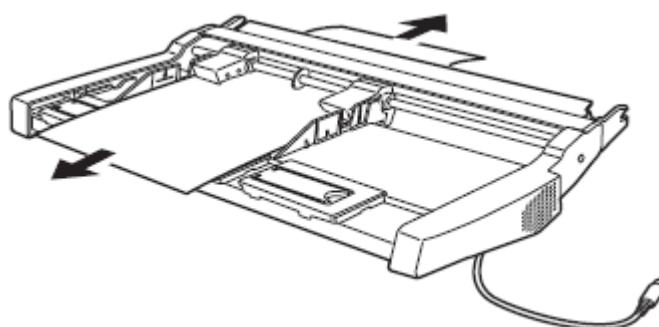
プリンタ後部から取りはずす場合



- 2 セットレバーを「FREE」の位置にする
カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



- 3 用紙を取り除く
カットシートフィーダの前または後ろから用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



- 4 カットシートフィーダをプリンタ本体に装着し、ケーブルをコネクタに装着し、プリンタの電源を入れる。（「2.10 カットシートフィーダを取り付ける」参照）

◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取りはずします。（「2.11 カットシートフィーダを取りはずす」参照）

つまった用紙を取り除いたら、カットシートフィーダをプリンタ本体に装着し、プリンタの電源を入れます。

【つまった用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は…】

- 1 セットレバーを「FREE」の位置にする
 カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。
- 2 用紙を取り除く
 カットシートフィーダの前または後ろから用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまった用紙がプリンタ装置に残った場合は…】

- 1 用紙を取り除く
 プリンタの前または後ろから出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。
 用紙が印字部につまってしまうと取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取りはずしてから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

▲ 注意



高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

— お願い —

一度用紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。

6.2 プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。
処置を行っても機能が回復しない場合は、担当営業または保守員にご相談ください。

6.2.1 電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。
その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンタが動作しない。	電源コードの接続が正しくない。	プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。（「2.8 電源コードの接続」参照）
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止した。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、別系統の電源コンセントに変更してください。それでも再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後プリンタがイニシャル動作をしない。 または LCD にエラーメッセージを表示する。	用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作（イニシャル動作）が正常にできない。	電源を切って、印字ヘッドに引っかかっているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取りはずされていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作（イニシャル動作）が正常にできない。	電源を切って、輸送用固定材を取りはずしてください。（「2.3 輸送用固定材の取りはずし」参照）
	モータやセンサ、回路の故障、その他を検出した。	LCD に表示された内容を記録してから、電源を切って、修理を依頼してください。
	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
電源を投入後、「スタート」ランプが約 10 秒間点滅する。	プリンタ装置または印字ヘッドが寿命になった。	引き続きご使用にはなれますが、担当営業または保守員に連絡してください。

6.2.2 単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
	プリンタがオフライン状態である。	【スタート/ストップ】スイッチを押してオンライン状態にしてください。
	給紙口の選択が、連帳になっている。	【用紙選択】スイッチを押して、単票を選択してください。
	LCD に“テサシジョキョ”と表示されている。	一度用紙を抜き取り、1 秒待ってから再吸入してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	【改ページ】スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「第 8 章 清掃」参照)
	単票セットフリーオフのときに、用紙のセットをゆっくり行ったため、規定時間内に吸入動作が完了しなかった。	より素早く用紙をセットしてください。
吸入後キャリアが移動したのちに排出される。	用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)を検出した。	用紙を傾かないように再セットしてください。
	プレプリントによりセンサが誤検出している(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「7.5 プレプリント用紙を使用するとき」を参照してください。
	単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題がある。	幅 100～364mm(はがき～B4)の用紙を使用してください。
		幅 55～99mm 未満、365～420mm の用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。
	単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題がある。	「4.1.3 単票用紙をセットする(単票セットフリーオン時)」を参照し、セット位置を修正してください。
	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出している。	用紙の形状に関しては、「7.6 用紙の形状について」を参照してください。

6.2.3 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
	給紙口が正しく選択されていない。	【用紙選択】スイッチを押して、正しい給紙口(「前連帳」または「後連帳」)を選択してください。
	LCD に“テサシジョキョ”と表示されている。 (単票テーブル上に放置された用紙を検出している)。	単票テーブル上に放置された用紙を取り除いてください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	【改ページ】スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「第 8 章 清掃」参照)
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右の用紙送りのトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右の用紙送りトラクタの間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	前トラクタ給紙時、単票テーブルを開いている。	単票テーブルを閉じてください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	用紙送りトラクタへの用紙のセットで、左右の穴位置がズれている。	正しく用紙をセットし直してください。

6.2.4 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
プリンタが動作しない。	カバーが開いているため、動作を停止している。	カバーを閉じてください。
印字が始まらない。	「スタート」ランプが消えている。	【スタート/ストップ】スイッチを押して、「スタート」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	LAN ケーブルの接続が正しくない。	プリンタの電源を切り、LAN ケーブルの接続を確かめてください。
	プリンタの上位装置のネットワークに異常がある。	IP アドレスの設定などネットワークについて確認してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	ドライバのプロパティまたは上位装置で設定した用紙パスが正しくない。	ドライバのプロパティまたは上位装置で正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付けていない。	リボンカセットを取り付けてください。
プリンタ動作中に「チェック」ランプが点滅し、プリンタが停止した。(LCD にエラーメッセージ表示)	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 〈要因〉 1. 段差のある用紙を使用している。 2. 用紙厚設定が正しくない。 3. 用紙づまりが発生した。 4. リボンが印字ヘッドにひっかかった。	電源を切って、用紙仕様、用紙厚設定を見直してください。
プリンタ動作中に突然電源が切断される。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止した。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は修理を依頼してください。
印字開始直前にアラームとなる。	用紙が厚過ぎる。	「第 7 章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
	段差のある用紙を使用しているため、正常に自動用紙厚検出ができない。	手動用紙厚調整で印字してください。
空白行の手前で 1 秒ほど改行動作が停止する。	空白データが大量に埋め込まれた帳票で、イメージデータの処理に時間がかかり停止する。	プリンタドライバの設定で「空白イメージのスキップ」を「有効」にしてください。 ※空白イメージのスキップについては、文字サイズによって性能に影響が出る場合があります。詳細は「1.8 機能面・運用面における注意事項 (22) Windows 印刷時の印刷品質と印刷時間について」を参照してください。

6.2.5 印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動用紙厚調整のとき、設定が適正值に対して狭くなっている。	広めに設定し直してください。
	段差のある用紙を使用している。	手動用紙厚調整にて印字してください。 (「4.2 用紙厚を調整する」参照)
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動用紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地が波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「第 5 章 リボンカセットの交換」参照)
縦棒のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動用紙厚調整のとき、設定が適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	広めに設定し直してください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	手動用紙厚調整にて印字してください。 (「4.2 用紙厚を調整する」参照)
印字がうすい。	手動用紙厚調整のとき、設定が適正值に対して広い。	狭めに設定し直してください。 (狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	段差のある用紙を使用している。	手動用紙厚調整で印字してください。 (「4.2 用紙厚を調整する」参照)
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動用紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	修理を依頼してください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。 (「2.9 リボンカセットを取り付ける」参照)
後給紙の場合、印字の下側が欠ける。		
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズれる。	ドライバでの給紙方法選択、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要が有ります	アプリケーションソフトの説明書で確認してください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行って印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズれる。	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できない。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。
連帳用紙の印字位置がページによってズれる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できない。	「第 7 章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連帳用紙の置き方が悪く、正しく搬送できない。	連帳用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのないようにしてください。また、箱からスムーズに引き出されない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ソフトウェアのページ長設定値が異なる。	ソフトウェアのページ長指定に合う用紙を使用してください。

6.2.6 カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていない。	コネクタを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいる。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を超えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	用紙つまりが発生している。	つまった用紙を取り除いてください。
	セットレバーが「FREE」になっている。	セットレバーを「SET」にしてください。
	操作パネルのランプの表示が「連帳」になっている。	操作パネルの【用紙選択】スイッチを操作し「単票」ランプを点灯させてください。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていない。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広過ぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
用紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広過ぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用している。	仕様にあった用紙を使用してください。（複写紙の幅は 182～420mm）
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を超えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。

6.3 おもなエラーメッセージ (LCD 表示)

6.3.1 カバーオープン

(1) 表示内容

トップカバーを開けるまたは正しくセットされていないと、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ERO9-01 : カバ`ー

サポートサーバを「PrintWalker」に設定し、印字中にトップカバーを開けると、印字動作を停止し、下記「ERO9-04:カバー」を表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。なお、印字動作とカバーオープン操作タイミングによっては、「ERO9-01:カバー」表示となる場合もあります。

ERO9-04 : カバ`ー

(2) 復旧操作

- a) カバーを正しく閉めます。
- b) “ERO9-01”の場合、【スタート/ストップ】スイッチを押すと、オフライン状態になります。
“ERO9-04”の場合は、カバーを閉じると、自動的に印字を再開します。
ただし、受信済みデータの印字完了（次データ受信可能状態）までは、「ERO9-04:カバー」表示のままとなります。

 注意



一般的禁止

印字中にトップカバーを開けないでください。印字が乱れたり、予期せぬ不具合が発生する場合があります。印字中にカバーを開けた場合、そのページの印字結果は保証されません。

6.3.2 プログラムエラー

(1) 表示内容

プリンタへのコマンド／オーダに異常があると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅します。（拡張出力機構オプション未搭載時にそれが必要な機能を指定した、など）この異常が発生すると、印刷は中断されます。

ERO7-01 : プ`ログ`ラム

(2) 復旧操作

- a) プログラムの管理者とご相談のうえ、エラー要因を除去してください。
- b) 【スタート/ストップ】スイッチを押し、オンライン状態に戻します。

6.3.3 手差し用紙除去待ち

(1) 表示内容

手差し口に用紙がある状態で印刷データを受信すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅して、ブザー音を鳴動します。

ER13-03：テサシジ ョキョ

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押します。
- b) 手差し口の用紙を取り除きます。

6.3.4 セレクトミス

(1) 表示内容

装置が連帳を選択している状態で、上位装置から単票データを受信すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER34-01：セレクトミス

装置にカットシートフィーダが装着されていない状態で、上位装置からカットシートフィーダ吸入のデータを受信すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER34-02：セレクトミス

装置にカットシートフィーダが装着されていない状態で、上位装置からカットシートフィーダへの切り換えデータを受信したり、前カットシートフィーダを装着した状態で前連帳への切り換えデータを受信すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

また、富士通メインフレームからカットシートフィーダが装着されていない装置に対して手差し口からの単票印刷を行った場合も、本エラーが発生します。

ER34-03：セレクトミス

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押します。
- b) 印刷データと装置の状態を合わせてから、【スタート/ストップ】スイッチを押して、オンライン状態にします。

6.3.5 POC エラー

(1) 表示内容

Windows から印刷する場合、プリンタドライバで指定する用紙サイズ（用紙長、用紙幅）がプリンタでサポートしている用紙サイズ外であると、本エラーが発生することがあります。
POC エラーが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅し、ブザーが鳴動します。

ER32-01 : POC イシ ヨウ

(2) 復旧操作

- a) 【スタート/ストップ】スイッチを押し、オフライン状態に戻します。
- b) プリンタドライバで指定している用紙サイズを確認してください。

6.3.6 パターンタイムアウト

(1) 表示内容

要求したパターンの応答がタイムアウトすると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅して、ブザーが鳴動します。

ER89-0X : ハ パターン

エラーコード	発生理由
ER89-01	上位装置に要求した非常駐文字に対する応答がない（文字内文字）
ER89-02	上位装置に要求した非常駐文字に対する応答がない（グラフ内文字）

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押します。
- b) 電源を切断後、再投入してください。
- c) 上位装置の管理者とご相談のうえ、エラー要因を取り除いてください。

6.3.7 上位装置電源断

(1) 表示内容

下記メッセージを表示します。
この異常が発生すると、印刷は中断されます。

ER27-01 : シ ヨウイソウチ

(2) 復旧操作

- a) 上位装置の電源を投入してください。
- b) データ送信を再開すると、復旧します。

6.3.8 LAN 二重アドレスエラー

(1) 表示内容

ネットワーク上に同一の MAC アドレスまたは IP アドレスが存在すると、本エラーが発生します。LAN 二重アドレスエラーが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅し、ブザーが鳴動します。

ER43-01 : LAN XXXX

(2) 復旧操作

- a) 電源を切断します。
- b) プリンタの設定ミスが考えられますので、セットアップの情報を確認してください。

6.3.9 メカ系の異常

(1) 表示内容

メカ系に異常が発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅しブザー音を鳴動します。

ER8X-0X : XXXXXXXX

← 表示内容

表示内容の詳細は、「10.1.4 メカ系エラー」をご覧ください。

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押します。
- b) メッセージを記録のうえ、電源を切断し、装置内の用紙をすべて取り除いてから、電源を再投入します。
- c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には、担当保守員に連絡してください。

注 1) 単票セットフリーオフ時に、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てずに、単票テーブルの中央などに差し込んだ場合、LCD にエラーメッセージ“ER8B-01 : APTC エラー”と表示されることがあります。

【スタート/ストップ】スイッチを押してオンライン状態に戻してから、単票用紙を正しく差し込んでください。

注 2) 手動用紙厚調整時に調整値より厚い用紙をセットした場合や、用紙づまりが発生した場合、LCD にエラーメッセージ“ER85-01 : LES アラーム”または“ER85-02 : SP アラーム”と表示されることがあります。

装置内の用紙をすべて取り除いてから、調整値を正しく設定してください。

注 3) 印字中に用紙を引き抜いたり、用紙送り動作を妨げる行為をした場合、印字ヘッドの走行に影響を与え、“ER85-02 : SP アラーム”となる場合がありますので注意してください。

6.3.10 ハードウェアの異常

(1) 表示内容

ハードウェアに異常が発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER4X-XX : XXXXXXXX

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【ブザーOFF】スイッチを押します。
- b) 表示されたメッセージを記録のうえ、電源を切断し、装置内の用紙をすべて取り除いてから、電源を再投入します。
- c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には、担当保守員にご連絡ください。

第 7 章 用紙について

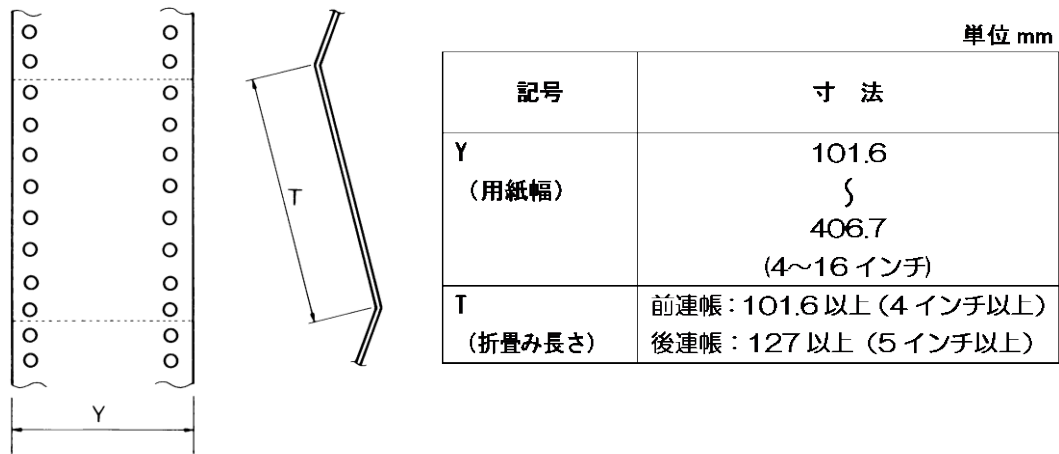
本章では、本装置で利用できる用紙の仕様について記載していますので、仕様範囲内の用紙をお使いください。なお、仕様範囲外の用紙を使用した場合、印字品質に影響を与えたり、故障の原因になることがあります。

7.1 連続帳票用紙

このプリンタで利用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg)	前連帳	後連帳	備考
一枚用紙	1P	45,55,70	○	○	
ノンカーボン紙	2P	34,43,55,(70)	○	○	・() 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。 ・前連帳／後連帳での使用可能用紙は、左記○印によります。
	3P	34,43,(55,70)	○	○	
	4P	34,(43,55,70)	○	○	
	5P	34,(43,55)	○	○	
	6P	34,(43,55)	○	○	
	7P	34,(43,55)	○	○	
	8P	34,(43,55)	○	○	
	9P	34,(43,55)	○	○	
裏カーボン紙	2P	34,45,55,(70)	○	○	
	3P	34,45,(55,70)	○	○	
	4P	34,(45,55,70)	○	○	
	5P	34,(45,55)	○	○	
	6P	34,(45,55)	○	○	
	7P	34,(45,55)	○	○	
	8P	34,(45,55)	○	○	
	9P	34,(45,55)	○	○	
中カーボン紙	2P	30,40,45,(55,70)	○	○	
	3P	30,40,(45,55)	○	○	
	4P	30,40,(45,55)	○		
	5P	30,40,(45,55)	○		

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。

注 1) 連量とは、四六判(788×1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 4P までです。（後連帳は 3P までです。）

中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断のうえご使用ください。

注 5) 全体の用紙厚さは、0.65mm 以下にしてください。

注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

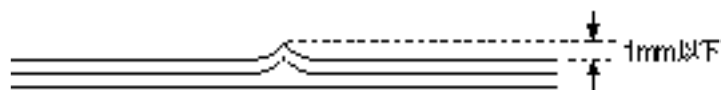
◆ 用紙のとじ方

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「のり付け両側とじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をお勧めします。

綴じ方法		備 考
点のりとじ		本プリンタに最も適したとじ方です。
ダブルギャザー		用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。
線のりとじ	一列 	用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまっているので、用紙づまりなどが出やすくなります。
	二列 	

注 1) 上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下にしてください。



注 3) プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとじは使用しないでください。

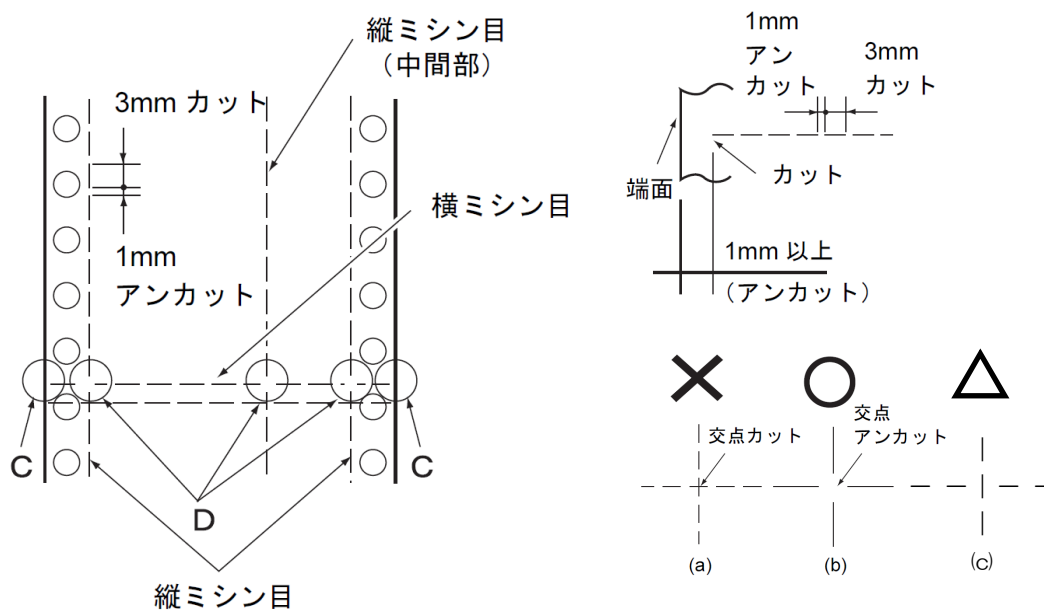
注 4) 帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

◆ ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に一枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

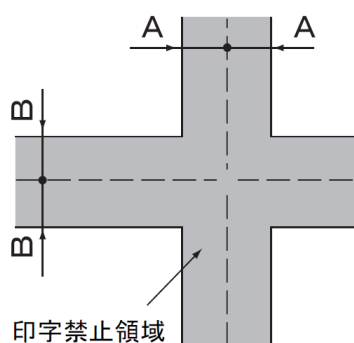
- 一枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約 3 : 1 にしてください。
- 横ミシン目のアンカット寸法（両端部 C）は、1mm 以上にしてください。



注 1) 縦ミシン目と横ミシン目の交点 (D) 部は交点アンカット (b) の方法にしてください。

交点カット (a) は行わないでください。また (c) も避けてください。

注 2) ミシン目上に印字すると、用紙にキズが付いたりプリンタの故障となることがありますので下の図に示す印字禁止領域には印字しないでください。



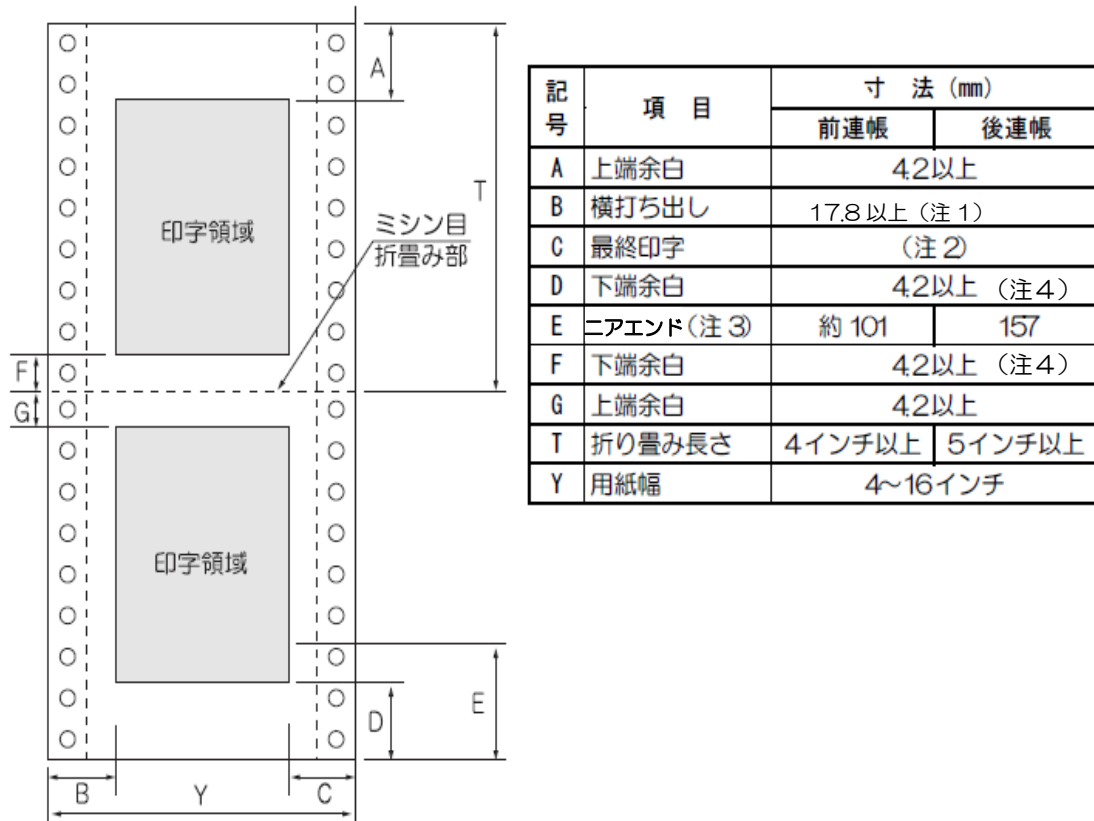
記号	A	B
寸法	3mm 以上	3mm 以上

7.1.1 一般用紙（前・後トラクタ）

連続帳票用紙の印字領域を下图に示します。

◆ 用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下图に示します。



注1) B 値は用紙幅 15 インチ以下の場合です。16 インチの場合は、17.8~30.5mm となります。

注2) C 値については用紙幅と印字桁数によりますが、最小 17.8mm とします。

注3) E 値の範囲は用紙送りトラクタから用紙がはずれた領域であり、改行が乱れることがあります。

また、逆改行は禁止とします。

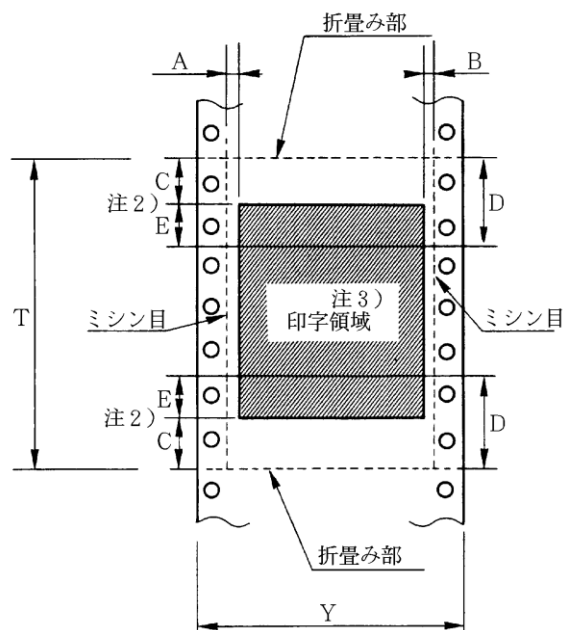
注4) 最終行の F 値が 4.2mm を下回る場合は、その最終 1 行は次ページに印字されます。

また、最終行の D 値が 4.2mm を下回る場合は、用紙切れとなります。このとき、新たに用紙をセットすると用紙切れとなったページから再印刷されます。

注5) 印字領域外に印刷すると、用紙破れや紙詰まり、印字ヘッドのピンの破損が発生する場合があります。

7.1.2 はがき用紙（前トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	横打ち出し	5.08 以上 (1/5 インチ)
B	最終印字	5.08 以上 (1/5 インチ)
C	縦打ち出し (注 1)	8.46 以上 (1/3 インチ) (注 2)
D	縦打ち出し(推奨値)	25.4 (1 インチ) (注 2)
Y	用紙幅	228.6~330.2 (9~13 インチ)
T	折り畳み長さ	203.2~355.6 (8~14 インチ)

注 1) C 領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。

(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)

注 2) E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。

注 3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。

ただし、折り畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2 : 1 にしてください。

◆ 連量

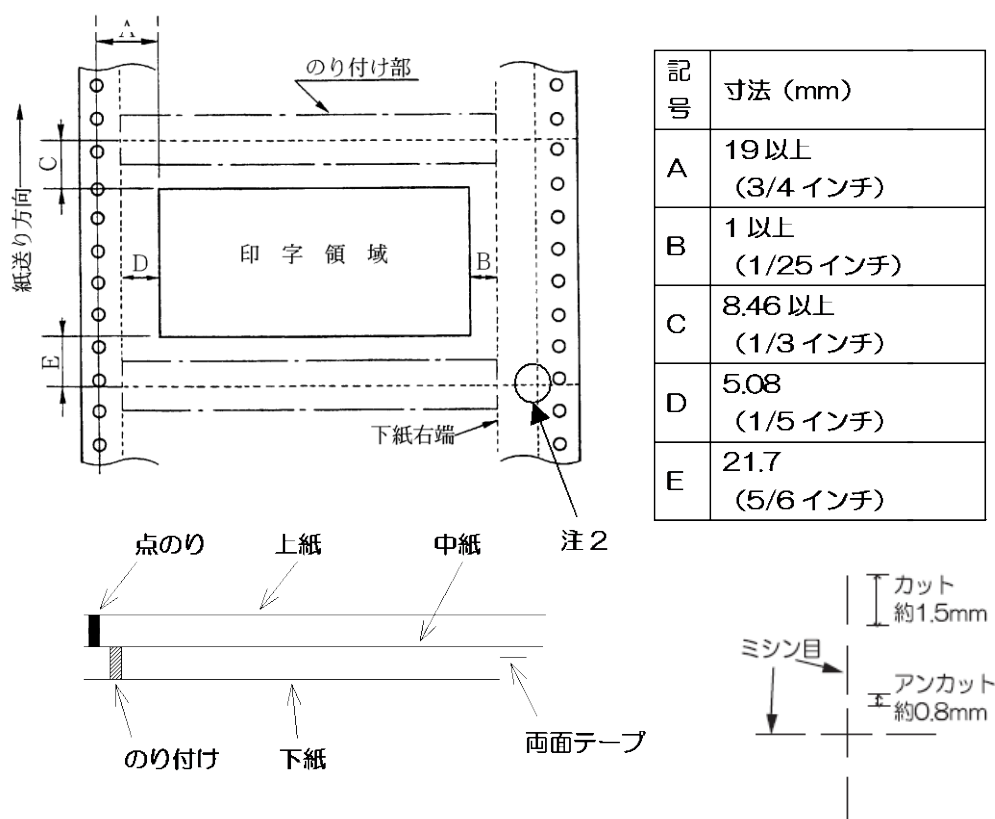
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

7.1.3 封筒用紙（前トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注 2) ミシン目の寸法は、右図をお勧めします。

（ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。）

注 3) のり付けの幅は、1/6 インチ以下とします。

注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

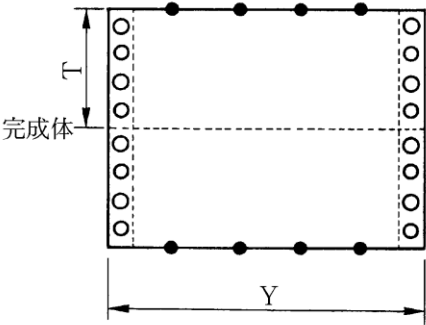
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

◆ 紙質構成および連量

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70	70

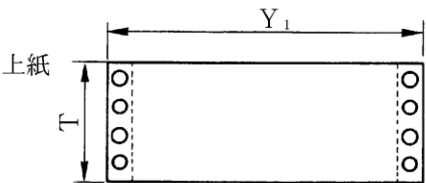
◆ 形状および構造

----- : ミシン目
—●— : ミシン目+折り目



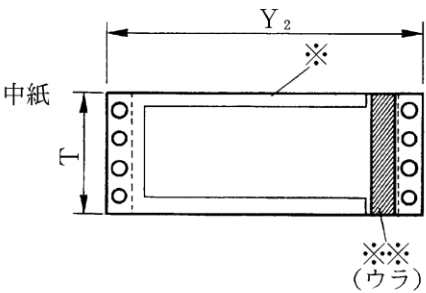
(a) 大きさ

記号	寸法 (mm)
T	101.6 (4 インチ)
Y	254 (10 インチ)
Y1	254 (10 インチ)
Y2	254 (10 インチ)
Y3	228.6 (9 インチ)



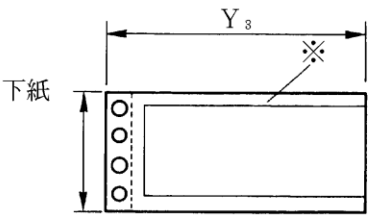
(b) とじ方法

とじ方法	上紙/下紙	中紙/下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 1/6 インチ幅 (※印)



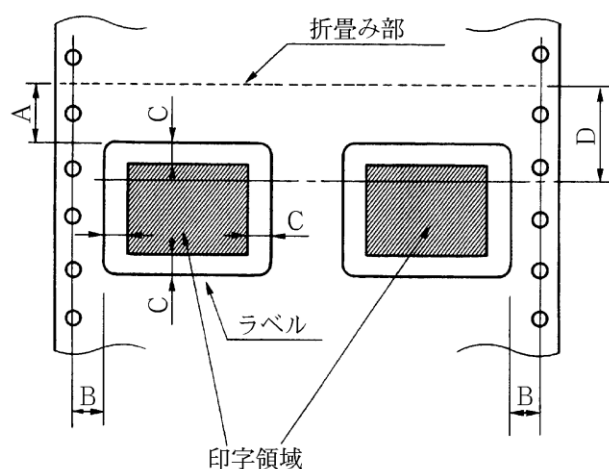
両面テープ使用 (※※印)

銘柄		アスコットテープ
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10



7.1.4 タック用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法 (mm)
A	2.54 以上 (1/10 インチ)
B	6.35 以上 (1/4 インチ)
C	2.54 以上 (1/10 インチ)
D	25.4 (1 インチ) (注)

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

注）D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。

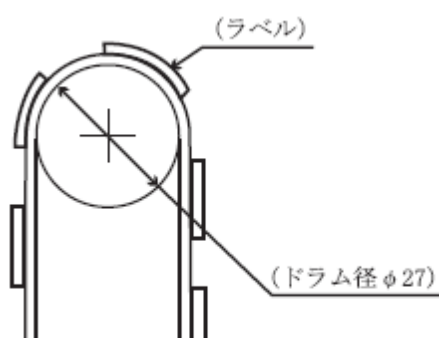
（改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。）

◆ 用紙厚さ

- ・用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- ・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
- ・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

- ・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



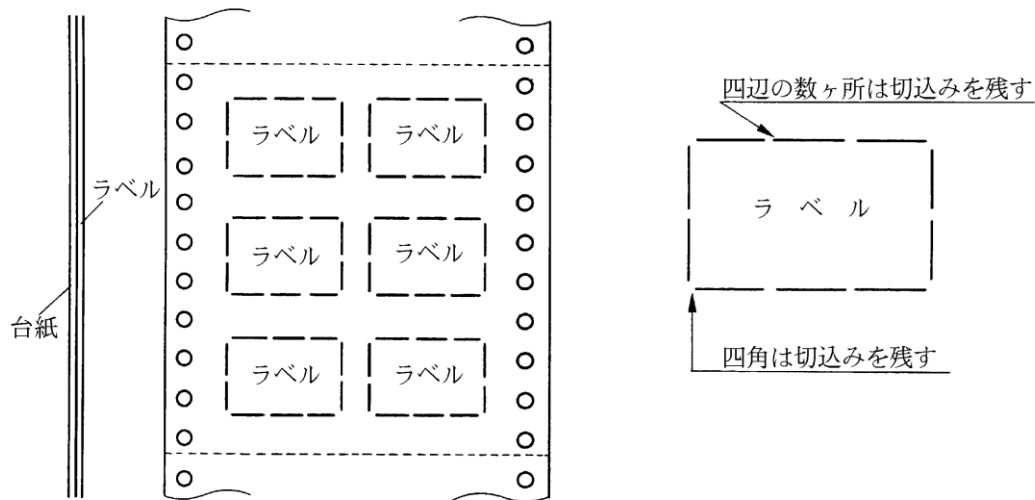
項 目	条 件
巻付ドラム径	φ27
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

- ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をお勧めいたします。

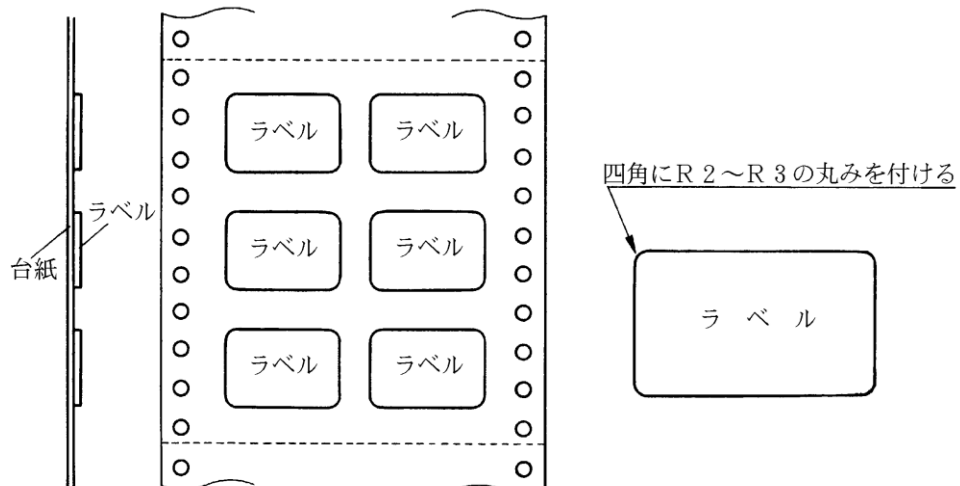
1) カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もお勧めするものです。できる限りこの形態を使用してください。

2) カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。

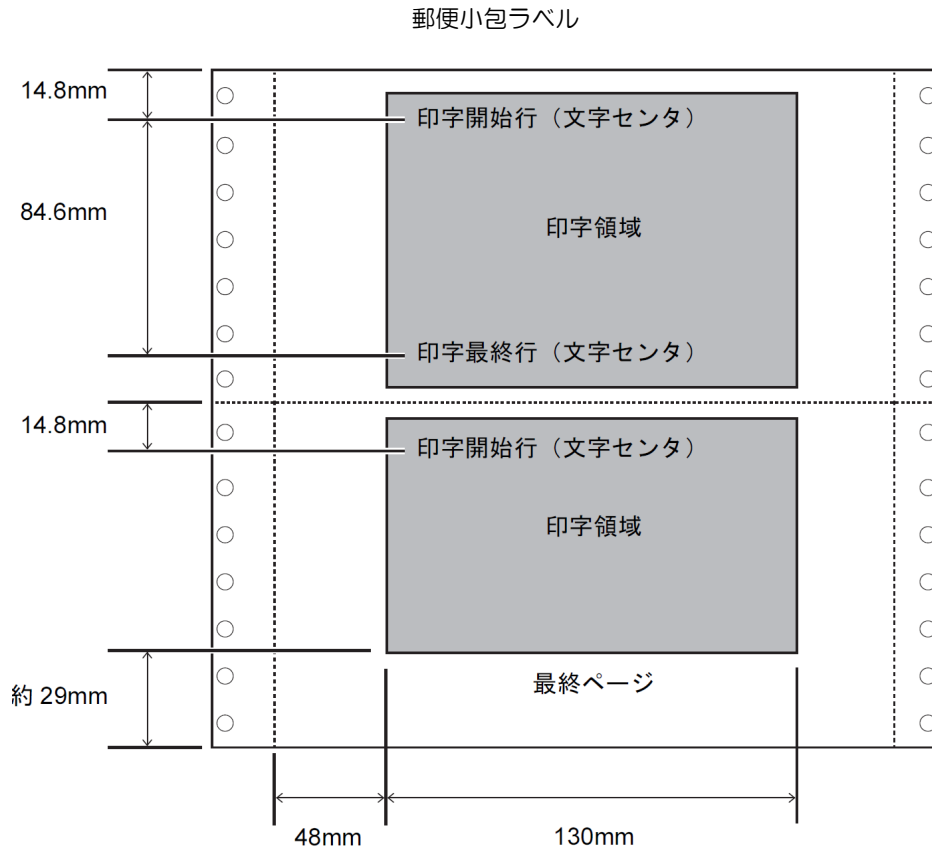


7.1.5 宅配伝票（前トラクタ）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。

他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認のうえ使用してください。

◆ 印字領域



注 1) 印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

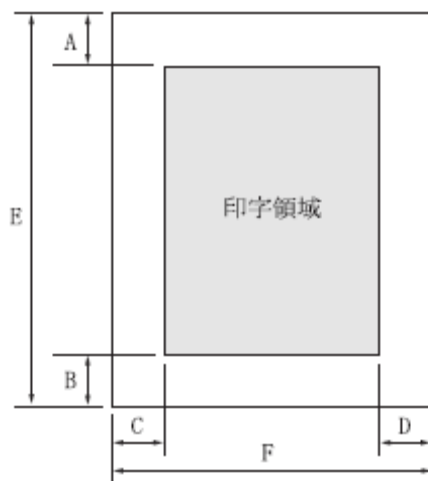
注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動用紙厚調整に切り替えて使用してください。

注 3) 印字領域外への印字は禁止します。

7.2 手差しで使用する単票用紙

7.2.1 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		単票セットフリーオフの場合	単票セットフリーオンの場合
A	上端余白	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 注 4)	5.08 以上	5.08
D	右端余白	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420 注 5)	70~364
F	用紙幅	55~420	100~364

注 3)

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 3) 最終行の B 値が 4.2mm を下回る場合は、用紙切れとなります。このとき、新たに用紙をセットすると用紙切れとなったページから再印刷するため、再び用紙切れとなります。この場合は、B 値が 4.2mm 以上となるように印字領域を変更してください。

注 4) A3 横を使用する場合は、C 値は 30.44~42.6mm となります。

注 5) 単票セットフリーオフの場合、前カットシートフィーダ取り付け時の E 値は 90~420mm となります。

注 6) 最大印字幅は 345.44mm (13.6 インチ) のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注 1)	備考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,110,135	
ノンカーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P 9P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55)	・()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P 9P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55)	

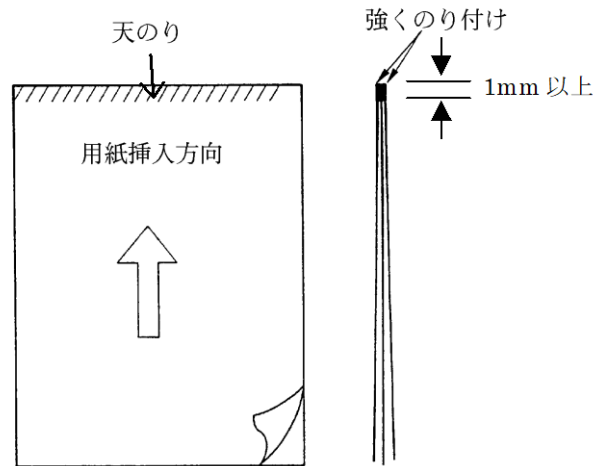
注 1) 連量とは、四六判（788mm×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

7.2.2 用紙のとじ方法

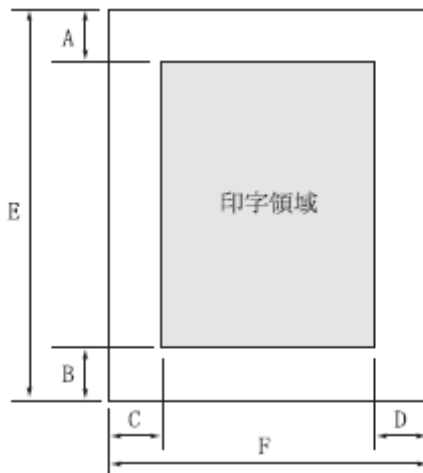
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



- 注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
 注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりして用紙づまりが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

7.2.3 はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域

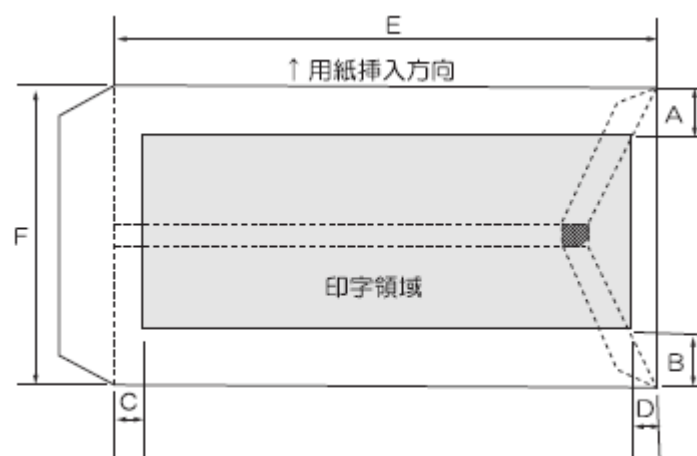


記号	項 目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

- 注) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
 私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

7.2.4 封筒

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項 目	寸法 (mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量 (g/m ²)		最大 用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70,85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
角形 8 号	197	119			
洋形 1 号	176	120	50,60,70,85	70 以上 85 以下	0.46
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92	81 以下	81 以下	0.46
US10	239	105			
ジャーマンタイプ	220	111			

注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。

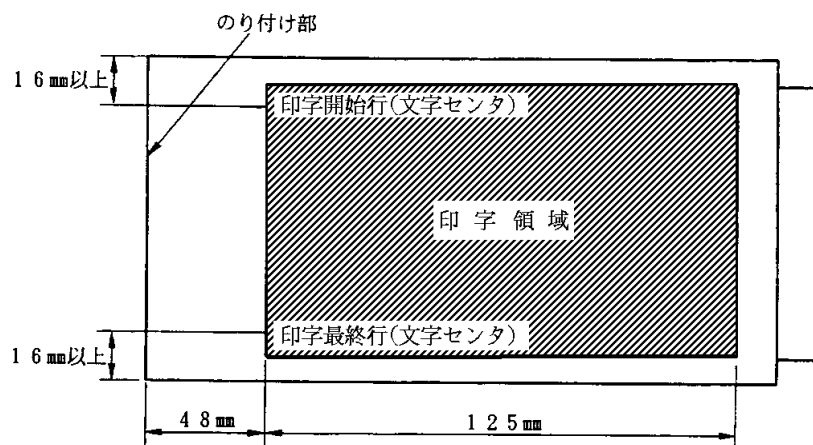
注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認のうえ使用してください。また、自動用紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動用紙厚調整に切り替えて使用してください。

- 注3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。
- 注5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
- 注6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
- 注7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
- 注8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生しやすいので避けてください。
- 注9) 封筒は単票セットフリーオフにして印字してください。単票セットフリーオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズれることがあります。
- 注10) 封筒のフラップ部(斜めの部分)は第一ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

7.2.5 宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル(ゆうパック 普通用 A、C)について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認のうえ使用してください。

◆ 印字領域

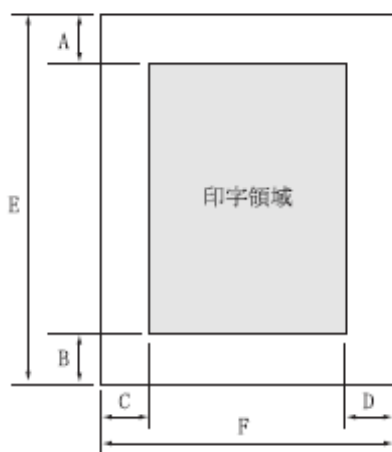


- 注1) 印字領域以外の印字は禁止します。
- 注2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動用紙厚調整に切り替えて使用してください。
- 注3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注4) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票(最大 0.6mm)以下としてください。
- 注5) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

7.3 カットシートフィーダ（オプション）で使用する単票用紙

7.3.1 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		前カットシートフィーダ	後カットシートフィーダ
A	上端余白	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420	100~420
F	用紙幅	100~420 注5)	100~420 注5)

注4)

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 3) A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。

注 4) 最終行の B 値が 4.2mm を下回る場合は、用紙切れとなります。このとき、新たに用紙をセットすると用紙切れとなったページから再印刷するため、再び用紙切れとなります。

この場合は、B 値が 4.2mm 以上となるように印字領域を変更してください。

注 5) 複写紙を使用する場合は、F 値は 182mm~420mm となります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注 1)	備 考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,135	
ノンカーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55)	・() 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55)	

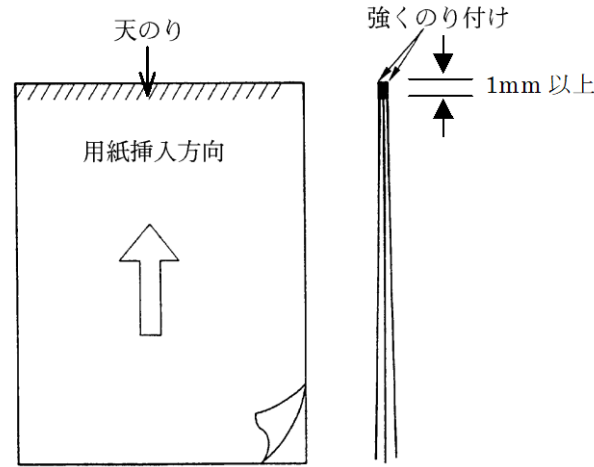
注 1) 連量とは、四六判 (788mm×1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

7.3.2 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



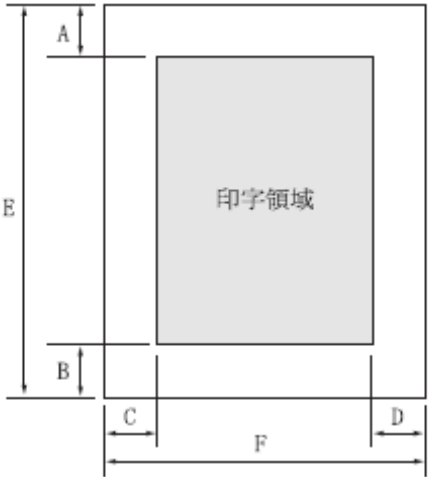
- 注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。
注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりして用紙づまりが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパ容量

- (1) 一般用紙 (55kg、1P) . . . 120 枚
(2) 5P (34kg) 用紙 25 枚
(3) はがき 40 枚

7.3.3 はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項 目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

- 注 1) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
注 2) 私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

7.3.4 封筒

◆ 用紙サイズおよび印字領域

手差しの場合と同様です。「7.2.4 封筒」を参照してください。

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸 法		使用可否		坪量 (g/m ²)		最大用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	前カット シート フィーダ	後カット シート フィーダ	クラフト 紙	その他の 紙	
長形3号	235	120	○	○	50, 60, 70	55 以上 70 以下	0.40
長形4号	205	90	○	×			
長形5号	185	90	○	×			
角形6号	229	162	○	○	70	70 以下	0.40
角形7号	205	142	○	○			
角形8号	197	119	○	○	50, 60, 70	70 以下	0.40
洋形3号	148	98	○	○	50, 60, 70	70 以上 81 以下	0.46
洋形4号	235	105	○	○			
US10	239	105	○	○	81 以下	81 以下	0.46
ジャーманタイプ	220	111	○	○			

注 1) カットシートフィーダで封筒を使用する場合は、封筒の種類などの条件を十分に確認してから使用してください。

注 2) 印字領域以外への印字を禁止します。

注 3) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認のうえ使用してください。また、自動用紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動用紙厚調整に切り替えて使用してください。

注 4) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 5) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。

注 6) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、印字領域破線部の右側で印字してください。

注 7) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

注 8) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

注 9) 印字領域斜線部への印字は、リボン汚れが発生しやすいので避けてください。

注 10) 封筒のフラップ部（斜めの部分）は第一ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

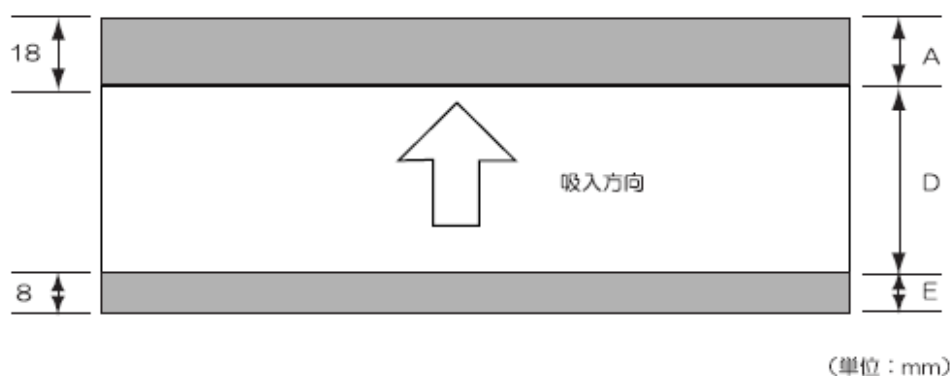
7.4 とじ穴の開け方

印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

7.5 プレプリント用紙を使用するとき

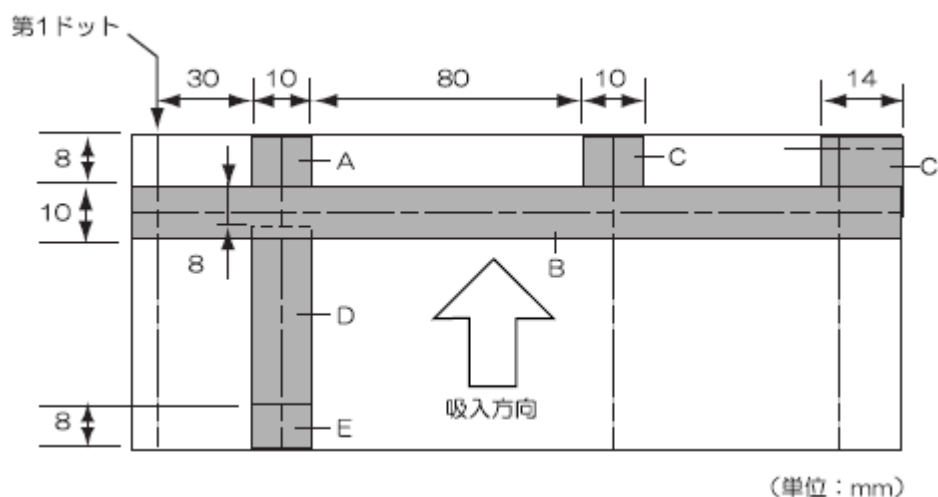
あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリーオン時の手差し単票のプレプリント禁止領域



- (1) A 部、E 部は光反射率 60% 以下の色 (例えば黒) は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60% 以下の色 (例えば黒) を使用する場合は、次ページに示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリーオフ時の手差し単票、カットシートフィーダで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

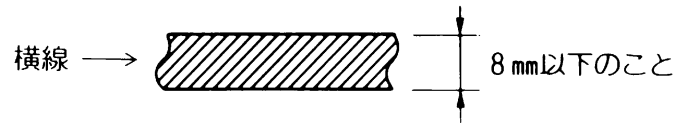


- (1) A、B、C、E 部は光反射率 60% 以下の色 (例えば黒) は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60% 以下の色 (例えば黒) を使用する場合は、次ページに示す幅の条件に従ってください。

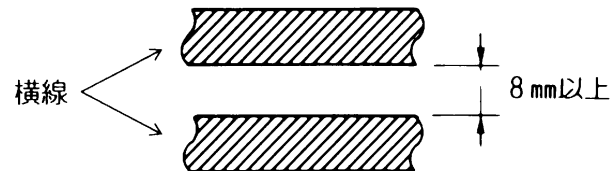
◆ プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ず D 部内に印刷するときは、次のようにしてください。

- (1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



- (2) (1)の横線が連続するときは、下図に示すように隙間を 8mm 以上あけてください。

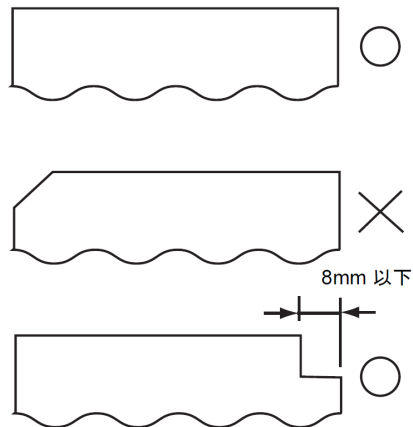


注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、隙間が 4mm 以上でも可能です。

- (3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとってください。
やむを得ず A、B、C、E 部内に印刷するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、隙間を 4mm 以上あけてください。

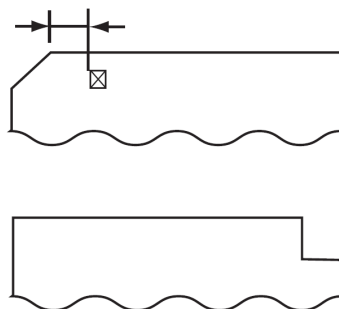
7.6 用紙の形状について

◆ 単票セットフリーオン時の用紙上端について



このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズれることがありますので、単票セットフリーオフで使用してください。
用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

◆ 単票セットフリーオフ時の用紙上端について



左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を超える場合は機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。

7.7 取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、用紙が吸湿して変形し、用紙づまりなど故障の原因に繋がるため、絶対に避けてください。

◆ 特殊用紙について

- この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- 再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

◆ 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、つまり、折れ、および印字ズレの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- 連量が45kg 未満の薄い用紙
- 連量が70kg を超える厚い用紙（連帳用紙）
- 連量が135kg を超える厚い用紙（単票用紙）
- 全体の用紙厚さが0.65mm を超える複写用紙
- 小さすぎる用紙または大きすぎる用紙（用紙仕様を満たさないもの）
- 連帳用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ用紙
- 用紙の折りたたみ部分のふくらみが1mm を超える用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、波打っている用紙、破れている用紙
- 複写用紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる用紙、または部分的に複写枚数が異なる用紙
- のり付け面が露出している用紙、はがれている用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）、段差のある用紙、切り抜き部分や窓のある用紙、浮き彫りのある用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- ピン、クリップ、ホッチキスの針など金属の付いている用紙、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 左綴じ伝票や用紙のとじ方法が適切でない複写用紙
- ミシン目の入れ方が推奨しないミシン目を入れた用紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙など）
- 紙粉の多い用紙
- 長期間放置した用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙

第8章 清 掃

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

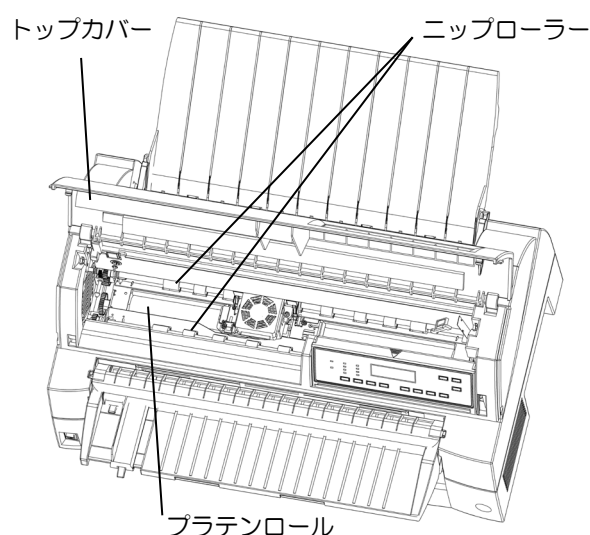
▲ 注意	感 電 	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。
	 高温注意	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりするおそれがあります。
- ・ゴム材料部品に清掃用薬品は使用しないでください。ゴムが変形するおそれがあります。
- ・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートするおそれがあります。
- ・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。潤滑油の補給が必要な場合は、担当保守員までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

- 1 プリンタの電源を切り、電源プラグを抜く
- 2 つまみを持ち上げながら、トップカバーを開ける
- 3 プリンタを清掃する
 印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れているときや、プリンタ内に紙粉がある場合は、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面やプリンタ内部の用紙走行部（プラテンロール、ニップローラー）を拭いてください。



お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

- 4 トップカバーを閉じて、電源を入れる

第9章 設置諸元

本章では、本装置の設置仕様、外形寸法および保守スペースについて説明します。

9.1 設置仕様

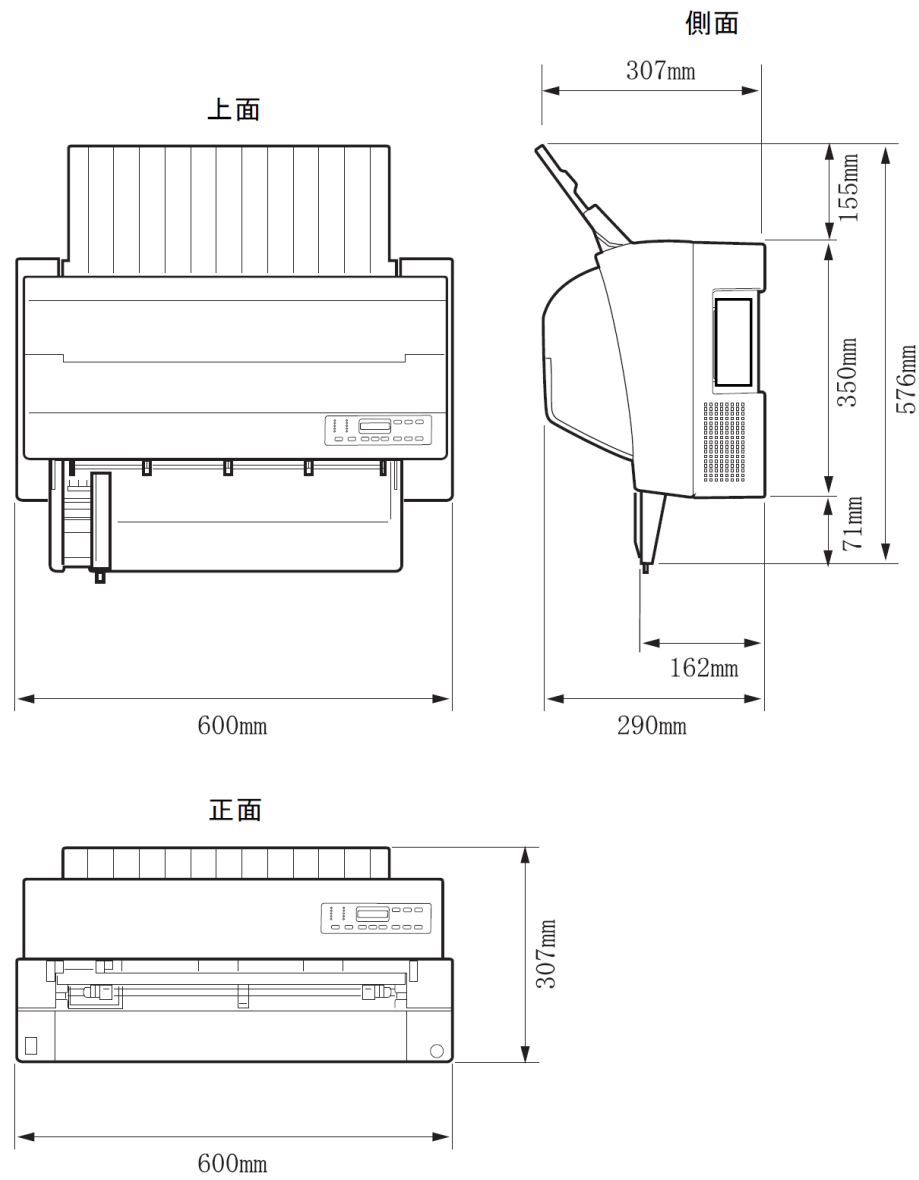
本装置の設置仕様を表 9.1 に示します。

表 9.1 設置仕様

項 目		仕 様		備 考	
外形寸法（mm）		幅	奥 行	高 さ	・奥行はカバー部を示す。 ・*1 は単票テーブル、スタッカ 部を含む。
		600	350 (576)*1	290 (307)*1	
質量（kg）		約 22			
入力電源	電圧	AC100V±10%			
	相数	単 相			
	周波数	50/60Hz +2% -4%			
所要電力量		最大 510W 待機時 15W 以下 電源切断時 0W			
発熱量		最大 1.84MJ/h			
温度、湿度 許容範囲	装置状態	稼働中	休止中		温度勾配 15℃/時間以下 湿度勾配 30%/RH/日以下 結露のないこと
	温度（℃）	5～35	0～60		
	湿度（%RH）	20～80	5～95		
	最高湿球 温度（℃）	29 以下			
稼働音		60 dB (A)			ISO 7779 準拠 Bystander Position-Front
雑音電界強度 雑音端子電圧		VCCI クラス A			
添付ケーブル		電源ケーブル			電源ケーブル 3m
工事側電源コンセント仕様		125V／15A、2 極接地型			神 保 1136/1132 Panasonic WF3002 アメリカン電器 20/120 など

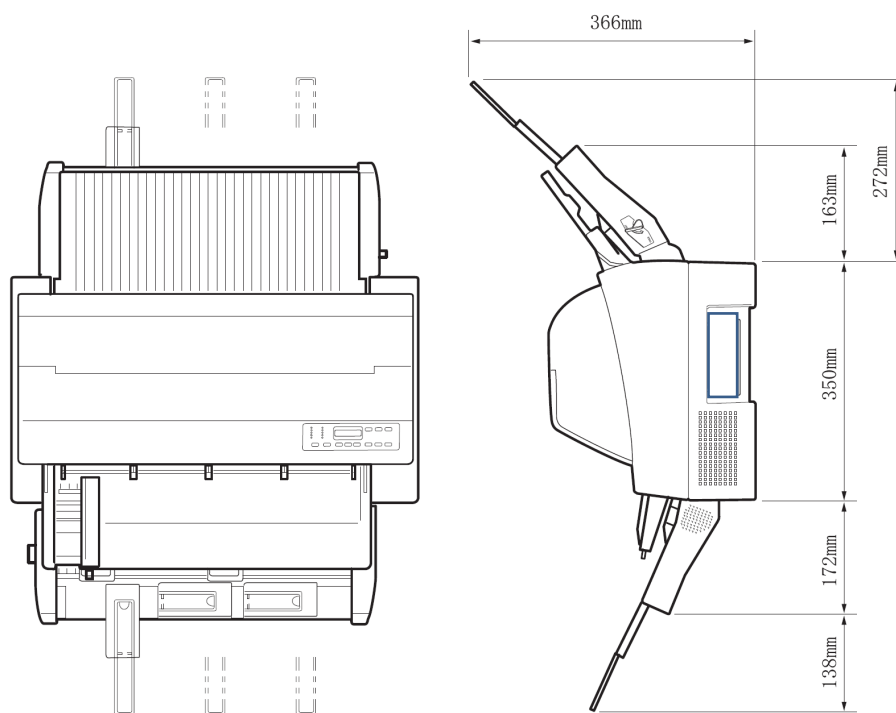
9.2 外觀図

■ 標準外觀図



■ カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図

◆ カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図



9.3 保守スペース

本装置の保守スペースを図 9.2 に示します。

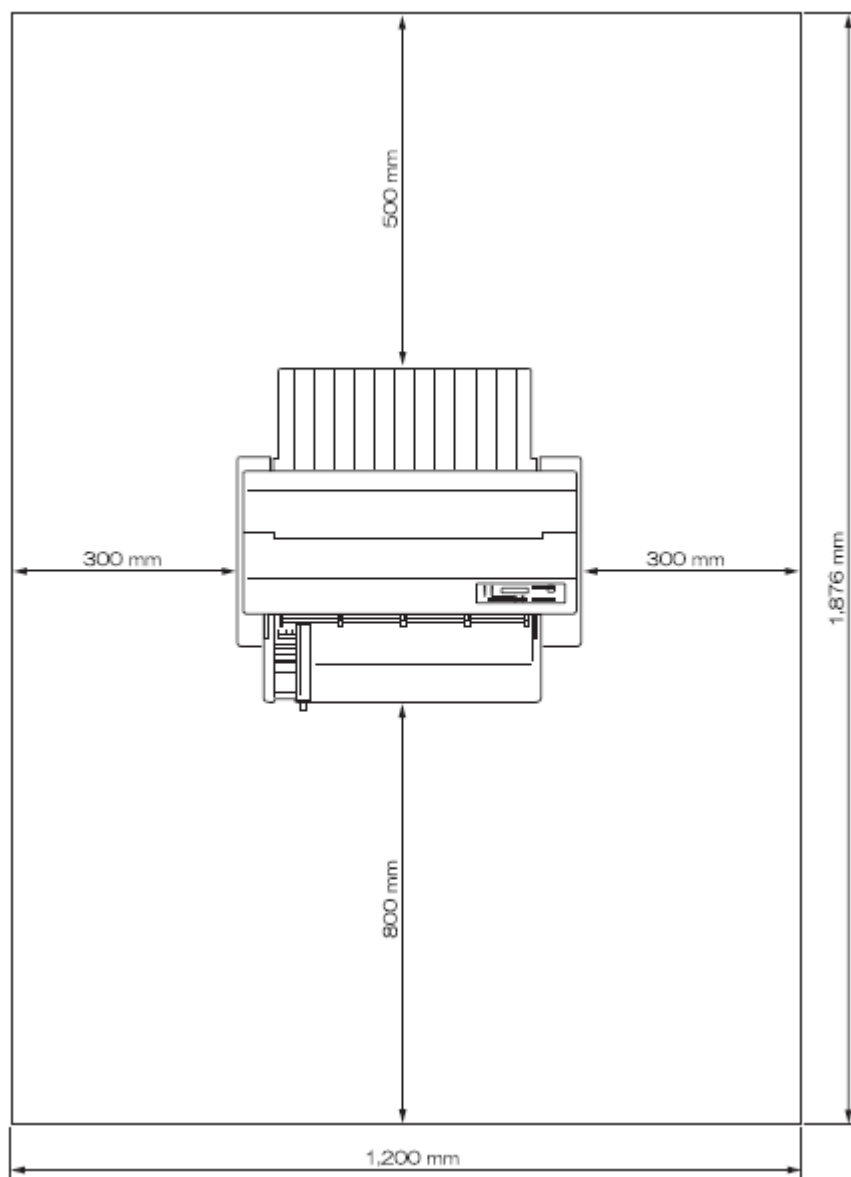


図 9.2 保守スペース

第10章 付 録

本章では、本装置の液晶ディスプレイに表示されるメッセージの一覧および文字コードについて示します。

10.1 メッセージ一覧

10.1.1 オフライン系

オフライン系のメッセージ一覧を表 10.1 に示します。

表 10.1 オフライン系のメッセージ一覧（続く）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	点灯	消灯	鳴らない	00 オンライン	オンライン状態 ・動作可能	(不要)
	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン ヨウシイチ	オフライン画面 ・N-Ready ・エラーからの戻り画面	用紙位置確認 または調整後 スタート SW を押す
	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン データアリ	オフライン画面 ・N-Ready ・未印刷データ有り	スタート SW を押す PrintWalker 設定
	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン	オフライン画面 ・N-Ready	スタート SW を押す
	消灯	消灯	鳴らない	98 → → → → →	ローディング中（制御プログラムを RAM 上に読込中）	(不要)
	消灯	消灯	鳴らない	99 → →	初期診断中（内部ハードウェアのチェック中）	(不要)
※1	消灯	消灯	鳴らない	08 テイシタイムアウト	停止タイムアウト （約10分間）	任意の SW を 押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	PAキー 1/2	機能 SW 選択	再度機能 SW を押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	ナシ	機能 SW 選択無し	再度機能 SW を押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	キャンセル	機能 SW キャンセル機能選択	再度機能 SW を押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	PA1	機能 SW PA1 キー機能選択	再度機能 SW を押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	PA2	機能 SW PA2 キー機能選択	再度機能 SW を押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	ペーパージャスト 2/2	機能 SW 用紙調整機能	再度機能 SW を押す
※1	点灯	消灯	鳴らない	ペーパージャスト	機能 SW 用紙調整機能	再度機能 SW を押す
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ ハンソウチュウ	用紙セット／後退動作中 （用紙セット SW を押す）	(不要)
	点灯	消灯	鳴らない	ハターンカキコミチュウ	SEND CG 実行中	(不要)
	点灯	消灯	鳴らない	テサシ ニ ヨウシ ラ セット	オンライン状態 ・手差し口用紙セット要求	手差し口に用紙をセット
	点灯 (消灯)	消灯	鳴らない	テサシ ヨウシ ノ ショキョ	手差し口用紙除去要求 ・オンライン状態：印刷ジョブ途中で発生 ・オフライン状態：印刷ジョブ起動時に発生	手差し口の用紙を除去
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ キリカエ ショリチュウ	用紙切換え処理中 （用紙選択 SW を押す）	(不要)

※1 サポートサーバ設定が PrintWalker の場合、表示されません。

表 10.1 オフライン系のメッセージ一覧（続き）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ヒタ° リマージ° ン :××	左端設定	再度機能 SW を押す
	消灯	消灯	鳴らない	ヘ° ージ° チョウ :××	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロード° イチ :×××	ロード位置	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジ° ヒ° ッチ :××	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANヒ° ッチ :××	ANピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ° ヨウヒ° ッチ :×LPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ° ヨウカンカク :×LF	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシアツ:×××××	用紙厚調整	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボ° ン:××××××××××	リボンカウント	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボ° ンカウントリセット:×××	リボンカウントリセット	同上
※2	消灯	消灯	鳴らない	タンビ° ヨウセットフリー:××	単票セットフリー	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テストインジ°	テスト印字	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジ° ッコウチュウ	テスト印字中	(不要)

※2 前単票時のみ表示されます。

10.1.2 セットアップ系

セットアップ系のメッセージ一覧を表 10.2 に示します。

表 10.2 セットアップ系のメッセージ一覧

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
98	消灯	消灯	鳴らない	98 → → → → →・	電源投入時、5 番目の→が表示されてから6 番目の→が表示されるまでに、セットアップ遷移用 SW を押すとセットアップ初期化処理画面に遷移する。	(不要)
97	消灯	消灯	鳴らない	97 → → → → →・	セットアップ受付後の初期化処理画面。	(不要)

(1) セットアップメニュー遷移

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ツウシン 1/6	セットアップメニュー (1/6)	用紙カット SW を押すと初期診断確認画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ソウチ 2/6	セットアップメニュー (2/6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ヨウシ 3/6	セットアップメニュー (3/6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° ジ° ユミョウ 4/6	セットアップメニュー (4/6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° インサツ 5/6	セットアップメニュー (5/6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘ° ーハ° ー アジ° ヤスト 6/6	セットアップメニュー (6/6)	同上

(2) IPL カクニン

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° カキコミ	セットアップ情報書込み確認画面	決定 SW を押すと書込み処理へ遷移 用紙カット SW を押すと初期診断確認画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	ローデ° インク° 1/2	初期診断確認画面 (1/2)	決定 SW を押すと初期診断へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ° メニュー 2/2	初期診断確認画面 (2/2)	決定 SW を押すとセットアップメニューへ遷移

(3) ツウシンセットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	サポ ートサーバ 1/3	通信関連セットアップ (1/3) 選択▲▼SWで選択	用紙カット SW を押すと通信セットアップ画面に戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース 2/3	通信関連セットアップ (2/3) 選択▲▼SWで選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ソウチメイ セッテイ 3/3	通信関連セットアップ (3/3) 選択▲▼SWで選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	装置名設定	用紙カット SW を押すと装置名設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース: XXXX	LAN インターフェース設定	用紙カット SW を押すと LAN インターフェース画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	PrintWalker 1/3	サポートサーバ設定 (1/3)	用紙カット SW を押すとサポートサーバ画面に戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	6680-NMC 2/3	サポートサーバ設定 (2/3)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	HOST PRINT 3/3	サポートサーバ設定 (3/3)	同上
PrintWalker および HOST PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	MAC アド レス 1/8	通信設定 (1/8)	用紙カット SW を押すとサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	IP アド レス 2/8	通信設定 (2/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ネットマスク 3/8	通信設定 (3/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲ ートウェイ 1 4/8	通信設定 (4/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲ ートウェイ 2 5/8	通信設定 (5/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲ ートウェイ 3 6/8	通信設定 (6/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲ ートウェイ 4 7/8	通信設定 (7/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	デ フォルトルータ 8/8	通信設定 (8/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXX, XXX, XXX, XXX	アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	MAC グ ローバル	グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アテサキアド レス 1/2	ゲートウェイ設定 (1/2)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲ ートウェイアド レス 2/2	ゲートウェイ設定 (2/2)	同上
6680-NMC 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	LAN アド レス 1/5	LAN アドレス設定	用紙カット SW を押すとサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	グ ローバ ルアド レス 2/5	LAN グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ローカルアド レス 2/5	LAN ローカルアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アイテサキアド レス 3/5	LAN 相手先アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タイムアウト: XX, XS 4/5	LAN タイムアウト値設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	サイソウスウ: XXカイ 5/5	LAN 再送数設定	同上
HOST PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	サーバ IP アド レス 9/9	サーバアドレス設定	同上

(4) 装置設定セットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
PrintWalker 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC : ×××××××	EBCDIC フォント設定	用紙カット SW を押すとセットアップ画面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	インサット [°] ウサ : ×××××××	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサットモード [°] : ×××××××	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジ [°] ヨウ コウソク ツウジ [°] ヨウ+コウフクシャ コウソク+コウフクシャ	選択▲▼SW で印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANコード [°] : ×××××	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジ [°] ケタスウ : ××× ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘット [°] ト [°] ウサ : ×××××××	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	データカットモード [°] : ××	データカットモード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セツデ [°] ンモード [°] : ××× フン	節電モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイヘ [°] ージ : ×××	改行ページ動作	同上
6680-NMC および HOST PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC : ×××××××	EBCDIC フォント設定	用紙カット SW を押すとセットアップ画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	インサット [°] ウサ : ×××××××	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサットモード [°] : ×××××××	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジ [°] ヨウ コウソク ツウジ [°] ヨウ+コウフクシャ コウソク+コウフクシャ	選択▲▼SW で印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	FFユウコウイチ : ×××××	FF (Form Feed) 有効位置設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミキ [°] ハシ+NL : × L F	右端+NL 設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミキ [°] ハシ+CR : × L F	右端+CR 設定	同上
※1	消灯	消灯	鳴らない	ミテイキ [°] モジ [°] : ××××	未定義文字設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANコード [°] : ×××××	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジ [°] ケタスウ : ××× ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシシュウリョウ : ×××××××	用紙終了時 (中断/継続)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘット [°] ト [°] ウサ : ×××××××	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	データカットモード [°] : ××	データカットモード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セツデ [°] ンモード [°] : ××× フン	節電モード設定	同上

※1 サポートサーバ設定が HOST PRINT 時は未定義文字は無効で表示しない。

(5) 用紙設定セットアップメニュー

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	マエレンチョウ 1/4	用紙設定画面 前連帳	用紙カット SW を押すとセットアップ画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ウシロレンチョウ 2/4	用紙設定画面 後連帳	同上
	消灯	消灯	鳴らない	マエタンビ [°] ヨウ 3/4	用紙設定画面 前単票	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ウシロタンビ [°] ヨウ 4/4	用紙設定画面 後単票	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヒタ [°] リマージン : ××	左端設定	用紙カット SW を押すと連帳/単票画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ヘ [°] ージ [°] チョウ : ××	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロード [°] イチ : ×××	ロード位置	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジ [°] ビ [°] ッチ : ××	漢字ビッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANビ [°] ッチ : ××	ANビッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ [°] ヨウビ [°] ッチ : × L P I	改行ビッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイキ [°] ヨウカンカク : × L F	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシアツ : ×××××	用紙厚調整	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テマエハイシュツ : ××	手前排出	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タンビョウセットフリー : ××	単票セットフリー	同上

(6) 書き込み処理

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	シテイチ カキコミ 1/2	書き込み処理選択 (指定値書き込み)	用紙カット SW を押すと セットアップ 画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	デ° フォルト カキコミ 2/2	書き込み処理選択 (デフォルト書き込み)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	スタート SW ラ オス	・実行前 ・スタート/ストップ SW を押すと実行	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジ° ッコウチュウ	・実行中	正常終了で書 込み処理選択 画面へ遷移。

(7) 消耗品処理

状態	スタート	エラー	ブザー	LCD メッセージ	内容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	リボ° ンライフ 1/2	リボンライフ設定画面	用紙カット SW を押すと セットアップ 画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	リボ° ンカウント 2/2	リボンカウント設定画面	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボ° ンライフ : ××××マン	リボンライフ設定	用紙カット SW を押すと 消耗品選択画 面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	××××××××××××モジ	リボンカウント表示	同上

(8) セットアップ印刷

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	スタート SW ラ オス	・実行前 ・スタート/ストップ SW を押すと実行	用紙カット SW を押すと セットアップ 画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ジ° ッコウチュウ	・実行中	正常終了で セットアップ 印刷画面へ遷 移。

(9) 用紙微調整

状態	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ヘ° ーハ° ーアシ° ャスト	用紙微調整開始画面	用紙カット SW を押すと セットアップ 画面へ戻る。

10.1.3 コントローラ系エラー

コントローラ系のエラーメッセージ一覧を表 10.3 に示します。

表 10.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧 (続く)

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
40-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40-01 : メモリエラー	ROM SUM チェック エラー	電源切断 →再投入
40-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40-02 : メモリエラー	LAN グローバルアド レス用 ROM SUM チ ェックエラー	
41-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-01 : メモリエラー	SD RAM W/R チェッ クエラー	
41-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41-02 : メモリエラー	ブート部のコンペアチ ェックエラー	
42-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER42-09 : PCB XXXX	LANCE オープンエラ ーまたはシステムエラ ー	

表 10.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧（続き）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
43-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-01 : LAN XXXX	LAN 二重アドレス(設定ミス) エラー	電源切断 →再投入
43-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-02 : LAN XXXX	相手ノードウインド長エラー	
43-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-03 : LAN XXXX	相手受信情報部長エラー	
43-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-04 : LAN XXXX	LAN 用 DP-RAM エラー	
43-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-05 : LAN XXXX	アンダーフローエラー	
43-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-06 : LAN XXXX	LAN 用 S-RAM において、ファームの設定ミス OR アンダーフローエラー	
43-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-07 : LAN XXXX	伝送路異常（エラー未検出） （LAN コネクタ抜け）	
43-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-08 : LAN XXXX	伝送路異常（エラー検出） （LAN コネクタ抜け）	
43-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-09 : LAN XXXX	LANCE OPEN 不可 （ローカルアドレス未設定）	
43-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43-10 : LAN XXXX	LANCE OPEN 不可 （他ノードアドレス未設定）	
45-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER45-01 : FLASH エラー	FLASH アクセスエラー	
46-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER46-01 : ハート* エラー	通信ボードエラー（通信ボード接続不良）	
47-0X	消灯	点滅	間欠鳴動	ER47-0X : ソケットエラー	ファーム（ソケット）内部矛盾 ※X は 1～9	
48-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER48-01 : システムエラー	整合性チェックエラー（LAN ファーム）	
48-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER48-02 : システムエラー	整合性チェックエラー（メカコンファーム）	
48-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER48-03 : システムエラー	ExxVxxLxx の形式エラー	
49-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-01 : PCF XXXX	ファーム処理で内部矛盾の検出	
49-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-02 : PCF XXXX	TLB 変更例外	
49-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-03 : PCF XXXX	TLB 不一致例外 （ロード命令または命令フェッチ）	
49-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-04 : PCF XXXX	TLB 不一致例外 （ストア命令）	
49-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-05 : PCF XXXX	アドレスエラー （ロード命令または命令フェッチ）	
49-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-06 : PCF XXXX	アドレスエラー （ストア命令）	
49-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-07 : PCF XXXX	バスエラー （命令フェッチ）	
49-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-08 : PCF XXXX	バスエラー （データロード命令またはストア命令）	
49-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-09 : PCF XXXX	システムコール例外	
49-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-10 : PCF XXXX	ブレークポイント例外	
49-11	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-11 : PCF XXXX	予約命令例外	
49-12	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-12 : PCF XXXX	コプロセッサ使用不可例外	
49-13	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-13 : PCF XXXX	算術オーバフロー例外	
49-14	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-14 : PCF	NMI 例外 Write バスエラー	
49-15	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-15 : PCF	UTLB 不一致	

表 10.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧（続き）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
49-16	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-16 : PCF	ヘクタアドレス (0xBF00180) への割り込み	電源切断 →再投入
49-17	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-17 : PCF	デバック例外	
49-18	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49-18 : PCF ××××	DMA エラー(MPU)	
80-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER80-01 : ハ° リティエラー	SDRAM パリティエラー	
89-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER89-01 : ハ° ターン	上位装置に要求した非常駐文字に対する応答がない。 (文字内文字)	
89-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER89-02 : ハ° ターン	上位装置に要求した非常駐文字に対する応答がない。 (グラフ内文字)	通信再開で復旧
27-01	消灯	消灯	鳴らない	ER27-01 : ジ° ヨウイソウチ	上位装置との接続が切断された	
07-01	消灯	点滅	鳴らない	ER07-01 : フ° ログ° ラム	プログラムエラー (OP-CHK) コマンド/オーダの異常	
32-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER32-01 : POC イジ° ヨウ	POC エラー	スタート SW を押すとオフライン遷移

10.1.4 メカ系エラー

メカ系のエラーメッセージ一覧を表 10.4 に示します。

(1) オペレータコール

表 10.4 メカ系のエラーメッセージ一覧（続く）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
01-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER01-01 : ヨウシギ° レ	用紙切れ ・Busy (停止) ・発生後、1 分時間監視でタイムアウト時は ER31-01 に遷移。	機能 SW を押すと、ブザーが停止してタイムアウト時間を 10 分に延長。用紙セットし、連帳セット SW を押すと用紙吸入。機能 SW を押すとオンライン画面に遷移し、継続印刷。
09-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-01 : カバ° ー	カバーが開けられた	カバー閉後、スタート SW を押す ・サポートサーバが PrintWalker で印刷中の場合、カバー閉で印刷再開
09-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09-04 : カバ° ー	カバーが開けられた	カバーを閉じる
※1 10-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER10-01 : ヨウシ° ツ° マリ	用紙づまり	用紙交換後、スタート SW を押す
12-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER12-06 : オートロード	用紙のオートロード用紙づまり	用紙交換後、スタート SW を押す
13-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER13-03 : テサシジ° ヨキヨ	手差し口に単票または連帳用紙がある状態でデータを受信	手差し口の単票または連帳用紙を除去
31-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER31-01 : ヨウシギ° レ	用紙切れ	用紙セット後、 (1) 連帳セット SW を押すと用紙吸入後、スタート SW を押す。 (2) スタート SW を押すと用紙吸入後、オンライン状態。

※1 連帳を 22 インチ退避させてもプリンタ内に残った場合に表示されます。

表 10.4 メカ系のエラーメッセージ一覧（続き）

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
34-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-01：セレクトミス	単票・手差しデータを連帳選択時に受信	単票選択後、スタート SW を押す
34-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-02：セレクトミス	CSF なし時に CSF からの吸入を実行した	CSF 接続後スタート SW を押す
34-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER34-03：セレクトミス	上位からの連単切替指示に対する切替不可	スタート SW を押すとオフライン状態（上位の切替指示確認）

(2) サービスマンコール

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCD メッセージ	内 容	復旧方法
81-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-01：ROM/RAM	ROM/RAM エラー	電源切断 →再投入
81-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-02：システムデータ	システムデータ形式エラー	
81-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81-03：サムチェック	サムチェックエラー	電源切断 →再投入
82-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-09：CSF モータ	CSF モータドライバエラー	
82-0C	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0C：LF モータ	LF モータドライバエラー	
82-0F	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82-0F：リボンモータ	リボンモータドライバエラー	電源切断 →再投入
83-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER83-01：ファンティシ	ファンエラー	
84-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84-01：デングセン	電源エラー（低電圧）	
84-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84-02：デングセン	電源エラー（過負荷）	電源切断 →再投入
84-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84-03：デングセン	電源エラー（過電圧）	
85-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85-01：LES アラーム	LES エラー	スタート SW を押すとオフライン状態
85-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85-02：SP アラーム	スペース脱調エラー	
85-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85-03：SP モータ	SP モータドライバエラー	電源切断 →再投入
87-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87-01：メカ ムアウトウ	メカ応答異常 メカ部からの応答が無い 約 30 秒	電源切断 →再投入
87-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87-02：メカ ムアウトウ	メカ応答異常 電源投入時、メカ部からの応答が無い	
88-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER88-01：ファイヤチェック	印字ヘッドのファイヤチェックエラー	電源切断 →再投入
※2 8B-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8B-01：APTC エラー	APTC エラー（紙厚調整異常）	スタート SW を押すとオフライン状態
8B-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8B-02：HCPP エラー	HCPP エラー	
8B-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8B-03：シャコウホセイ	斜行補正機構エラー	
8B-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8B-04：APTC エラー	APTC エラー（ポジション異常）	
8E-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-01：センスエラー	メカからの応答が未定義（DMA 転送以外）	電源切断 →再投入
8E-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-02：センスエラー	メカからの応答が未定義（DMA 転送）	
8E-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E-03：ニブルエラー	ニブルセンス異常	

※2 APTC センサが、プラテンと用紙の段差で動作した場合、本エラーメッセージが表示されることがあります。

（単票セットフリーオフ時に単票用紙が正しくセットされていない場合など）

10.2 文字コード

本装置で扱う文字コードは、表 10.5、表 10.6、表 10.7、表 10.8、および表 10.9 に示す 1 バイトの EBCDIC 系コード（いずれか 1 つ）と、2 バイトの JEF 漢字コードです。

表 10.5 国内一般カナ付コード表（Japanese KANA）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—			ソ					\$	0
1		SBA			.	エ	/		ア	タ	ー		A	J		1
2		EUA			「	オ			イ	チ	ハ		B	K	S	2
3		IC			」	ヤ			ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP		,	ユ			エ	テ	マ		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN	・	ヨ			オ	ト	ミ		E	N	V	5
6		BS			ヲ	ッ			カ	ナ	ム		F	O	W	6
7					ア				キ	ニ	メ		G	P	X	7
8			Ks	Kl	ィ	ー			ク	ヌ	モ		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL	ウ				ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:	コ	ノ	ユ	レ				
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#				□				
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@	サ		ヨ	ワ				
D	CR	SF			(	)	_	'	シ	ハ	ラ	ン				
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	ス	ヒ	リ	*				
F	SFE		BEL			ー	?	〃	セ	フ	ル	°				

（注 1）未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

（注 2）DUP、FM は各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表 10.6 国内一般カナなしコード表 (Japanese English)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\$	0
1		SBA					/		a	j	—		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	KI					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	'								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL			¬	?	”								

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注 2) DUP、FM は各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表 10.7 海外コード表I (US English)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\	0
1		SBA					/		a	j	~		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	KI					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	φ	!		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	\$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	'								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL			¬	?	”								

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注 2) DUP、FM は各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表 10.8 海外コード表Ⅱ (EBCDIC-ASCII)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\	0
1		SBA					/		a	j	~		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	OP	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	KI					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	[	]		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	\$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	'								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=				*				
F	SFE		BEL		!	^	?	"				°				

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注 2) DUP、FM は各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表 10.9 ASCII コード (サポートサーバが PrintWalker の場合のみ)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—	—					{	}	\	0
1						¥	/	ヤ	a	j	~		A	J		1
2						。	ア	ユ	b	k	s		B	K	S	2
3						「	ィ	ヨ	c	l	t		C	L	T	3
4	VCS					」	ゥ	ワ	d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN		、	エ	ン	e	n	v		E	N	V	5
6		BS				・	オ	ゝ	f	o	w		F	O	W	6
7						ヲ	ヤ	。°	g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl		ッ	ユ		h	q	y		H	Q	Y	8
9			As				ヨ	ゝ	i	r	z		I	R	Z	9
A					[]		:									
B	VT	SFE /F			・	\$	,	#	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ラ
C	FF	DUP			<	*	%	@	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ
D	CR				()	—	’	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ル	
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ
F			BEL		!	^	?	”	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ

(注 1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注 2) DUP、FM は各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

(注 3) 実際の出力との対応は、PC 等のコード表を参照してください。

10.3 PrintWalker/EM のご紹介

PrintWalker/EMは、プリンタの印刷情報などの統計情報をSystemwalkerDesktopシリーズに通知する機能、「プリンタの状態」や「消耗品使用状況」を管理する機能を持つソフトウェア製品です。

本ソフトウェアには、次の特長があります。

(1) プリンタ状態監視機能

プリンタの一覧画面より、監視対象プリンタ装置の状態（ステータス）の確認ができます。

表示するアイコンの種類で状態を表します。また、プロパティ画面でプリンタごとの詳しい情報（ネットワークアドレス、ファームウェア版数等）を確認することができます。



： 正常状態



： 電源OFFまたはネットワーク未接続



： イベント発生



： 消耗品切れ



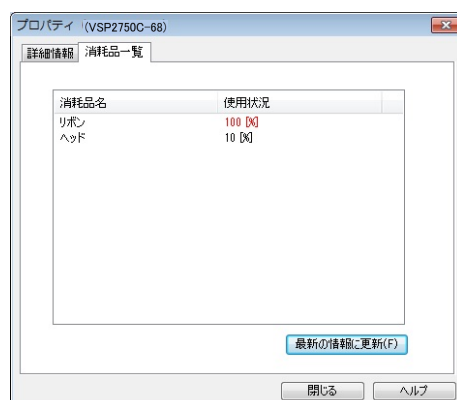
： 消耗品切れおよびイベント発生

(2) 消耗品監視

プリンタの一覧画面より、監視対象プリンタ装置の消耗品の使用状況を確認することが可能です。

また、プロパティ画面で消耗品ごとの詳しい状況を確認することができます。

さらに、指定したタイミングでログに記録することができます。



[VSP2750Cオペレータパネル-PrintWalker/EM状態表示 対応表]

エラーコード	プリンタ装置オペレータパネル表示	PrintWalker/EM 状態表示
01-01	ER01-01: ヨウシキ`レ	用紙なし(##用紙)
07-01	ER07-01: フ`ロク`ラム	プリンタ稼働中
09-01	ER09-01: カバ`ー	カバーオープン
09-04	ER09-04: カバ`ー	カバーオープン(プリンタ稼働中)
10-01	ER10-01: ヨウシツ`マリ	用紙詰まり(用紙ジャム)
12-06	ER12-06: オートロート`	用紙詰まり(吸入ジャム)
13-03	ER13-03: テサシシ`ヨキョ	用紙詰まり(用紙抜き取り待ち)
27-01	ER27-01: シ`ヨウイソウチ	プリンタ稼働中
31-01	ER31-01: ヨウシキ`レ	用紙なし(用紙ジャム)
32-01	ER32-01: POC イシ`ヨウ	POC異常
34-01	ER34-01: セレクトミス	セレクトミス
34-02	ER34-02: セレクトミス	セレクトミス
34-03	ER34-03: セレクトミス	セレクトミス
40-0X	ER40-0X: メモリエラー	なし
41-02	ER41-02: メモリエラー	なし
42-09	ER42-09: PCB XXXX	なし
43-XX	ER43-XX: LAN XXXX	なし
45-01	ER45-01: FLASH エラー	なし
47-0X	ER47-0X: ソケットエラー	なし
48-0X	ER48-0X: システムエラー	なし
49-XX	ER49-XX: PCF XXXX	なし
81-01	ER81-01: ROM/RAM	CE-CALL (81-01/ ROM/RAM エラー)
81-02	ER81-02: システムデ`ータ	CE-CALL (81-01/ システムデータ形式エラー)
81-03	ER81-03: サムチェック	CE-CALL (81-03/ サムチェックエラー)
82-09	ER82-09: CSF モータ	CE-CALL (82-09/CSF モータ ドライバアラーム)
82-0C	ER82-0C: LF モータ	CE-CALL (82-0C/LF モータ ドライバアラーム)
82-0F	ER82-0F: リボ`ンモータ	CE-CALL (82-0C/リボン モータドライバアラーム)
83-01	ER83-01: ファンテイシ	CE-CALL (83-01/ファン テイシエラー)
84-01	ER84-01: デ`ンゲ`ン	CE-CALL (84-01/低電圧 エラー)
84-02	ER84-02: デ`ンゲ`ン	CE-CALL (84-02/過負荷 エラー)
84-03	ER84-03: デ`ンゲ`ン	CE-CALL (84-03/過電圧 エラー)

[VSP2750Cオペレータパネル-PrintWalker/EM状態表示 対応表](続き)

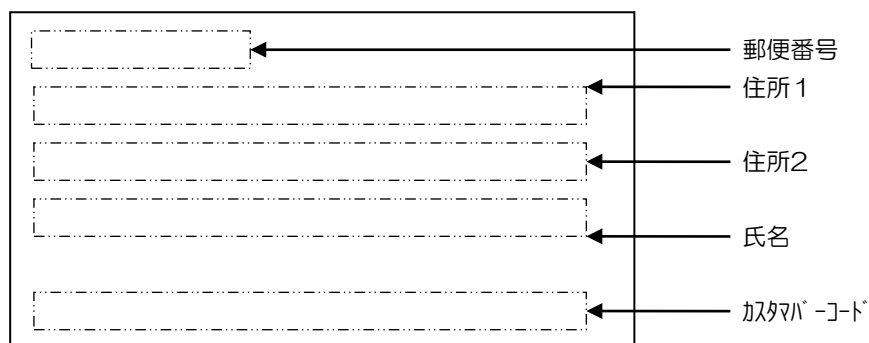
エラーコード	プリンタ装置オペレータパネル表示	PrintWalker/EM 状態表示
85-01	ER85-01 : LES アラーム	CE-CALL (85-01/ LES アラーム)
85-02	ER85-02 : SP アラーム	CE-CALL (85-02/SP 脱調 アラーム)
85-03	ER85-03 : SP モータ	CE-CALL (85-03/ SP モータ ドライバアラーム)
87-OX	ER87-OX : メカムアウトウ	なし
88-01	ER88-01 : ファイアチェック	CE-CALL (88-01/ ハンマファイアチェック)
89-01	ER89-01 : ハ° ターン	なし
8B-01	ER8B-01 : APTC エラー	CE-CALL (8B-01/APTC エラー)
8B-02	ER8B-02 : HCPP エラー	CE-CALL (8B-02/HCPP エラー)
8B-03	ER8B-03 : シャコウホセイ	CE-CALL (8B-03/斜行補正 機構エラー)
8B-04	ER8B-04 : APTC エラー	CE-CALL (8B-04/APTC ホームポジションエラー)
8E-01	ER8E-01 : センスエラー	なし
8E-02	ER8E-02 : センスエラー	なし
8E-03	ER8E-03 : ニフ ルエラー	なし

10.4 カスタマバーコードの印刷条件

新品インクリボンを使用した場合の、読み取り可能なカスタムバーコード印刷量の目安は、以下のとおりです。

(1) 印刷条件

- ・印刷レイアウト



・印刷サンプル

〒273-0102
千葉県 鎌ヶ谷市 右京塚 東3丁目-20-5
郵便A&bコーポB604号
郵政 太郎 様

- 15×11インチ用紙のレイアウト

[illegible]

1シート当り
縦6個×横4個＝24個の
住所、加太バーコード印刷

(2) インクリボン1本当りの印刷量(目安)

(1) 項の印刷条件で印刷した場合、インクリボン1本当りの印刷シート数および住所とカスタマバーコードの印刷量の目安は、以下のとおりです。

用紙	印刷シート数	住所／コード印刷数
1 P用紙	550	13,200
ラベル紙	550	13,200
複写用紙	550	13,200

(注) 1 P用紙は、連帳(15×11)の45Kgです。

ラベル紙はMT 15-T 小林クリエイトです。

複写紙はY15XT11-5P 両側点糊 小林クリエイトです。

(3) 注意事項

- ・ カスタマバーコード印刷には、オプションの拡張出力機構が必須です。
- ・ カスタマバーコードの印刷物は、事前に郵便局での読み取りテストを受けてください。
- ・ インクリボンは新しいものを使用してください。
- ・ 複写用紙の場合、読み取りは印刷用紙の最上部の1枚目のみ可能です。
2枚目以降の読み取りは保証できません。

10.5 定期交換部品/24 時間運用について

10.5.1 定期交換部品について

本製品には、その性能/機能を維持するために適時交換が必要な定期交換部品が含まれます。
安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。定期交換部品の種類および交換周期は下表を参照してください。

定期交換部品	交換目安	表示メッセージ
印字ヘッド	通常：5 億打 高複写：3 億打	電源投入後最初のオンライン状態で 「スタート」ランプが約 10 秒間点滅
CSF ローラ KIT	10 万枚給紙	なし

10.5.2 24 時間運用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。
24 時間以上の連続運用を行うと、交換時期の目安となる期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

安 全 デ ー タ シ ー ト

会社名 : 富士通株式会社
問い合わせ先
会社名 : 富士通ワーク株式会社
住所 : 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中二丁目 1 2 番 5 号
担当部門 : 営業推進統括部 技術部
電話番号 : 0 1 2 0 - 5 0 5 - 2 7 9

作成・改訂 : 2 0 1 8 年 8 月 1 7 日

整理番号 TR18-M009

【製品名】 リボンカセット SDM-12 (リボン・リボンカートリッジ・リボンカセット)

1. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類

可燃性・引火性ガス

可燃性・引火性エアゾール

支燃性・酸化性ガス

高压ガス

引火性液体

可燃性固体

自己反応性化学品

自然発火性液体

自然発火性固体

自己発熱性化学品

水反応可燃性化学品

酸化性液体

酸化性固体

有機過酸化物

金属腐食性物質

人健康有害性

急性毒性（経口）

急性毒性（経皮）

急性毒性（吸入：気体）

急性毒性（吸入：蒸気）

急性毒性（吸入：粉じん）

急性毒性（吸入：ミスト）

皮膚腐食性・刺激性

眼に対する重篤な損傷・眼

刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

分類対象外

分類対象外

分類対象外

分類対象外

分類対象外

区分外

分類対象外

分類対象外

区分外

分類対象外

分類対象外

分類対象外

区分外

分類対象外

分類対象外

分類できない

分類できない

分類できない

分類対象外

分類できない

分類対象外

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

環境有害性	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水性環境急性有害性	分類できない
	水性環境慢性有害性	分類できない
GHSラベル要素	オゾン層への有害性	分類できない
	絵表示又はシンボル	: 該当なし
	注意喚起語	: 該当なし
	危険有害性情報	: 該当なし
	注意書き	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

2. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名 又は 一般名	混合物 CAS No.
インク	
高級脂肪酸	1 1 2 - 8 0 - 1
界面活性剤	2 6 2 6 6 - 5 8 - 0
ピグメントイエロー74	6 3 5 8 - 3 1 - 2
ピグメントブルー15	1 4 7 - 1 4 - 8
ピグメントレッド 48:2	7 0 2 3 - 6 1 - 2
ピグメントホワイト 21	7 7 2 7 - 4 3 - 7
ソルベントブラック 7	8 0 0 5 - 0 2 - 5
ピグメントブラック 1	1 3 0 0 7 - 8 6 - 8
その他、化審法規制対象外物質	
基布	
ポリアミド-6, 6	3 2 1 3 1 - 1 7 - 2
成形部品	
ABS	9 0 0 3 - 5 6 - 9
POM	9 0 0 2 - 8 1 - 7

国連分類及び国連番号：国連の定義による危険物に該当しない。

PRT法の特定対象物は含まない。

3. 応急措置

必要な応急措置の説明

吸入した場合	: 鼻をかみ、うがいをする。
皮膚に付着した場合	: 石鹸などを用いて良く洗い流す。
眼に入った場合	: 直ちに流水で洗眼後、医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 口の中をよく洗浄した後、医師の手当を受ける。

最も重要な急性症状および遅発性症状

情報なし

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

情報なし

4. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水、乾燥砂。
使ってはならない消火剤 : 特になし。
消火方法 : 大量の水、消火剤を使用して消火する。

5. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 :
漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
多量の場合、作業の際には必要により適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 :
多量の場合には流路を土壌などで囲って流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法 及び 機材 :
少量の場合、紙や布でふき取り焼却する。
多量の場合、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り、焼却する。

6. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策（局所排気、全体換気等）: 特に必要なし。
安全取扱注意事項 : 常温、常湿、結露なき状態で使用する。
接触回避 : 知見なし
衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 高温、火気、多湿、水漏れ、直射日光、結露を避け、常温常湿の屋内倉庫にて保管する。また、食品及び飼料から離して保管する。

7. ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

- 管理濃度 : データ無し
許容濃度 : データ無し
設備対策 : 設定されていない

保護具

- 呼吸用保護具 : 特に必要なし。
手の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて保護手袋を着用。
眼の保護具 : 特に必要なし。
皮膚及び身体の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて長袖作業衣を着用。

8. 物理的及び化学的性質

- 外観（物理的状态、形状、色等）: 黒色インク含浸物の帯状リボンをカセット筐体に収納したもの。

臭い	: わずかな臭気
臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: 180℃以上
引火点	: 190℃以上
燃焼又は爆発範囲の上限下限	: データなし
蒸気圧	: 混合物として知見なし
蒸気密度	: 混合物として知見なし
比重（相対密度）	: 0.98
溶解度 水	: 不溶
n-オクタノール／水分配係数	: 知見なし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

9. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし。常温で安定。
化学的安定性	: 通常取り扱いにおいて安定
危険有害反応可能性	: 火気により引火の危険有り
避けるべき条件	: 知見なし
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし
粉塵爆発	: なし

10. 有害性情報

急性毒性（50%致死量等を含む）	: データなし
皮膚腐食性 及び 皮膚刺激性	: なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
ガン原性	: 本品の構成成分はIARCモノグラムにリストアップされていない。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: データなし
呼吸性呼吸器有害性	: データなし

11. 環境影響情報

生態毒性	: 混合物としてのデータなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

魚毒性	: データなし
水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし

12. 廃棄上の注意

適切な設備で廃棄または、焼却する。むやみに環境に放出してはならない。

13. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
国連輸送名	: 該当しない
輸送時の危険クラス	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制	該当法令なし

- ・運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・輸送時は高温、多湿及び低温、結露を避けるようにする。また、食品及び飼料と一緒に輸送を避けるようにする。

14. 適用法令

労働安全衛生法 第57条の2 第1項:

銅及びその化合物（政令番号379）が該当。

化審法 : 不純物としてのジフェニルアミンが既存化学物質（官報整理番号3-133）に該当。

輸出貿易管理令 別表第1の1～15の項:

非該当

不純物としてのジフェニルアミンが物質的に該当（区分内番号; 1(4)-カ）しますが、該当原料が経済産業省よりジフェニルアミンの分離が容易でないことより非該当の通知を受領済み。

その他の法令には規制されない。

15. その他の情報

- ※ 記載内容は情報提供であって保証するものではありません。
- ※ 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ、知見に基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
- ※ 全ての化学製品は未知の有害性があり得る上に、記載の注意事項も通常取り扱いを前提にしたもので、ご使用に当たっては、用途・用法等実情に即した細心の安全対策を使用者自らの責任講じた上でご利用下さい。

参考文献等

「JIS Z 7251:2014」

「JIS Z 7253:2012」

各原料の「SDS」

安 全 デ ー タ シ ー ト

会社名 : 富士通株式会社
問い合わせ先
会社名 : 富士通ワーク株式会社
住所 : 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中二丁目 1 2 番 5 号
担当部門 : 営業推進統括部 技術部
電話番号 : 0 1 2 0 - 5 0 5 - 2 7 9

作成・改訂 : 2 0 1 8 年 8 月 1 7 日

整理番号 TR18-M010

【製品名】 サブカセットSDM-12 (リボン・リボンカートリッジ・リボンカセット)

1. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
人健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない

環境有害性	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水性環境急性有害性	分類できない
	水性環境慢性有害性	分類できない
GHSラベル要素	オゾン層への有害性	分類できない
	絵表示又はシンボル	: 該当なし
	注意喚起語	: 該当なし
	危険有害性情報	: 該当なし
	注意書き	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

2. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名 又は 一般名	混合物 CAS No.
インク	
高級脂肪酸	1 1 2 - 8 0 - 1
界面活性剤	2 6 2 6 6 - 5 8 - 0
ピグメントイエロー74	6 3 5 8 - 3 1 - 2
ピグメントブルー15	1 4 7 - 1 4 - 8
ピグメントレッド 48:2	7 0 2 3 - 6 1 - 2
ピグメントホワイト 21	7 7 2 7 - 4 3 - 7
ソルベントブラック 7	8 0 0 5 - 0 2 - 5
ピグメントブラック 1	1 3 0 0 7 - 8 6 - 8
その他、化審法規制対象外物質	
基布	
ポリアミドー6, 6	3 2 1 3 1 - 1 7 - 2
成形部品	
ABS	9 0 0 3 - 5 6 - 9
紙	9 0 0 4 - 3 4 - 6

国連分類及び国連番号：国連の定義による危険物に該当しない。
P R T R法の特定対象物は含まない。

3. 応急措置

必要な応急措置の説明

吸入した場合	: 鼻をかみ、うがいをする。
皮膚に付着した場合	: 石鹸などを用いて良く洗い流す。
眼に入った場合	: 直ちに流水で洗眼後、医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 口の中をよく洗浄した後、医師の手当を受ける。

最も重要な急性症状および遅発性症状

情報なし

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

情報なし

4. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水、乾燥砂。
使ってはならない消火剤 : 特になし。
消火方法 : 大量の水、消火剤を使用して消火する。

5. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 :
漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
多量の場合、作業の際には必要により適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 :
多量の場合には流路を土壌などで囲って流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法 及び 機材 :
少量の場合、紙や布でふき取り焼却する。
多量の場合、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り、焼却する。

6. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策（局所排気、全体換気等）: 特に必要なし。
安全取扱注意事項 : 常温、常湿、結露なき状態で使用する。
接触回避 : 知見なし
衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 高温、火気、多湿、水漏れ、直射日光、結露を避け、常温常湿の屋内倉庫にて保管する。また、食品及び飼料から離して保管する。

7. ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

- 管理濃度 : データ無し
許容濃度 : データ無し
設備対策 : 設定されていない

保護具

- 呼吸用保護具 : 特に必要なし。
手の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて保護手袋を着用。
眼の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて保護眼鏡を着用。
皮膚及び身体の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて長袖作業衣を着用。

8. 物理的及び化学的性質

- 外観（物理的状态、形状、色等）: 黒色インク含浸物の帯状リボンをカセット筐体に収納したもの

臭い	: わずかな臭気
臭いの閾値	: データなし
p H	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: 180℃以上
引火点	: 190℃以上
燃焼又は爆発範囲の上限下限	: データなし
蒸気圧	: 混合物として知見なし
蒸気密度	: 混合物として知見なし
比 重（相対密度）	: 0.98
溶解度 水	: 不溶
n-オクタノール／水分配係数	: 知見なし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

9. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし。常温で安定。
化学的安定性	: 通常取り扱いにおいて安定
危険有害反応可能性	: 火気により引火の危険有り
避けるべき条件	: 知見なし
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし
粉塵爆発	: なし

10. 有害性情報

急性毒性（50%致死量等を含む）	: データなし
皮膚腐食性 及び 皮膚刺激性	: なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
ガン原性	: 本品の構成成分はIARCモノグラムにリストアップされていない。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: データなし
呼吸性呼吸器有害性	: データなし

11. 環境影響情報

生態毒性	: 混合物としてのデータなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

魚毒性	: データなし
水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし

12. 廃棄上の注意

適切な設備で廃棄または、焼却する。むやみに環境に放出してはならない。

13. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
国連輸送名	: 該当しない
輸送時の危険クラス	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制	該当法令なし

- ・運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・輸送時は高温、多湿及び低温、結露を避けるようにする。また、食品及び飼料と一緒に輸送を避けるようにする。

14. 適用法令

労働安全衛生法 第57条の2 第1項:

銅及びその化合物（政令番号379）が該当。

化審法 : 不純物としてのジフェニルアミンが既存化学物質（官報整理番号3-133）に該当。

輸出貿易管理令 別表第1の1～15の項:

非該当

不純物としてのジフェニルアミンが物質的に該当（区分内番号; 1(4)-カ）しますが、該当原料が経済産業省よりジフェニルアミンの分離が容易でないことより非該当の通知を受領済み。

その他の法令には規制されない。

15. その他の情報

- ※ 記載内容は情報提供であって保証するものではありません。
- ※ 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ、知見に基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
- ※ 全ての化学製品は未知の有害性があり得る上に、記載の注意事項も通常取り扱いを前提にしたもので、ご使用に当たっては、用途・用法等実情に即した細心の安全対策を使用者自らの責任講じた上でご利用下さい。

参考文献等

「JIS Z 7251:2014」

「JIS Z 7253:2012」

各原料の「SDS」

FUJITSU Printer
VSP2750C プリンタ装置
取扱説明書
P3XP-E022-01Z0

2022 年 2 月 1 版

Copyright FUJITSU LIMITED 2022

- 本マニュアルを無断で他に転載しないようにお願いします。
- 本マニュアルは、改善のため予告なしに変更されることがあります。
- 本マニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。

FUJITSU